

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2018/12/31	ME86-18	-	Light Vehicle Leasing Market in Italy, Forecast to 2022	イタリアにおけるフリートリース市場 (~2022年)	本調査では、イタリアにおけるフリートリース市場について、乗用車および小型トラック向けフリートリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の市況に基づいてイタリアのリース市場の成長性を分析し、フリートリース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、イタリアにおけるリース市場の分類や車両リースサプライヤー比較分析、2018年から2022年までの市場規模、パワーレイン別、販売チャネル別、プレミアム/大衆車セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	https://store.frost.com/wip/ME86
2018/12/31	ME7F-18	-	Light Vehicle Leasing Market in Portugal, Forecast to 2022	ポルトガルにおけるフリートリース市場 (~2022年)	本調査では、ポルトガルにおけるフリートリース市場について、乗用車および小型トラック向けフリートリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の市況に基づいてポルトガルのリース市場の成長性を分析し、フリートリース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、ポルトガルにおけるリース市場の分類や車両リースサプライヤー比較分析、2018年から2022年までの市場規模、パワーレイン別、販売チャネル別、プレミアム/大衆車セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	https://store.frost.com/wip/ME7F
2018/12/31	ME87-18	-	Light Vehicle Leasing Market in Spain, Forecast to 2022	スペインにおけるフリートリース市場 (~2022年)	本調査では、スペインにおけるフリートリース市場について、乗用車および小型トラック向けフリートリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の市況に基づいてスペインのリース市場の成長性を分析し、フリートリース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、スペインにおけるリース市場の分類や車両リースサプライヤー比較分析、2018年から2022年までの市場規模、パワーレイン別、販売チャネル別、プレミアム/大衆車セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	https://store.frost.com/wip/ME87
2018/12/31	ME29-18	69	Strategic Analysis of the Pakistan Automotive Market, Forecast to 2025	パキスタンにおける自動車市場の見通し (~2025年)	先進国経済が横ばいとなる中、パキスタンは1,000人当たりの自動車普及率が約13台と非常に低い一方、40.5%と急速に都市化が進んでおり、非常に大きな潜在成長性を持つ市場として自動車OEMが市場拡大のために参入を検討しています。本調査はパキスタンにおける乗用車市場の概要についてまとめたものです。具体的な内容としては、生産面での同国市場特徴と自動車製造や組立市場において市場をけん引するOEMの特定、将来の販売・生産市場規模、カーシェアやライドシェアなどの新モビリティサービスの成長性、今後数年間のこれらのサービス関連の規制の変化と自動車産業への影響、同市場における量販販フロント・モデルおよびセグメントなどについてまとめています。調査対象地域はパキスタン、調査対象期間は2017年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/ME29
2018/12/31	PA4B-18	95	Asian Innovations in Logistics, Forecast to 2030	アジアの物流革新 (~2030年)	物流業界ではAPAC地域を中心に多くの革新が起こっています。同地域では、自走行トラックからコンタクト・ロジスティクス (3PL) の自動化に至るまでサプライチェーンが成熟しており、地場のスタートアップ企業が活動に取り組んでいます。本調査ではこれらの市場の変革に関し、様々な角度から分析を提供しています。具体的な内容としては、デジタル貨物仲介、AI、自動走行フリート、ブロックチェーンといった各技術の実証データやタイムライン別の影響度、恩恵を受ける主要市場参入企業などについてまとめています。調査対象地域はAPAC (アジア太平洋)、調査対象期間は2030年までです。	https://store.frost.com/wip/PA4B
2018/12/31	K2B7-18	126	Global Electric Bus Market Opportunity Analysis, 2017-2025	グローバルにおける電動バス市場機会 (2017~2025年)	排ガス規制の強化やバッテリー価格の下落、EV購入補助金がグローバルにおける電動バス市場の成長を加速させます。本調査では、グローバルにおける電動バス市場について分析を実施しています。具体的な内容としては、中型・大型バスの市場環境や電動パワーレインの導入に影響を与える要因 (技術、地域における規制・インセンティブ、各国の政策目標等)、バッテリー、パワーレインアーキテクチャ、モーター、パワーエレクトロニクス、充電設備における技術発展とそれらが下流サービス市場に与える影響、グローバル市場の見通し、OEM各社の製品投入・地域展開のロードマップについてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2017年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/K2B7
2018/12/31	K252-18	166	Global Digital Freight Brokerage Market Opportunities, Forecast to 2025	グローバルにおけるデジタル貨物仲介市場機会 (~2025年)	空荷走行距離はグローバルにおける商用トラックの総移動の30~40%を占めており、この問題は燃料の無駄遣いや非生産的な排出ガス、ドライバーの無駄な時間や運行費用の上昇、不要な道路渋滞につながっています。この解決策として多くの技術系スタートアップ企業が道路貨物仲介事業に焦点を当て、ベンチャーキャピタルから資金を調達しています。本調査では、グローバルの貨物仲介市場に影響を与える主要因について分析しています。具体的な内容としては、小~大型トラック貨物仲介市場の概要 (主要市場動向、ビジネスモデル、技術動向、普及率)、デジタル貨物仲介サービスがトラック運送業に与える影響、競合分析、製品ポートフォリオ分析、各デジタル貨物仲介サービスの市場規模・シェア、OEMや仲介業者への結論と提言などについてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2017年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/K252
2018/12/28	MDB5-18	96	Truck-as-a-Service Market, Forecast to 2025	トラック・アズ・ア・サービス市場見通し (~2025年)	トラック輸送業界における技術の融合が、さまざまな利害関係者がサービスおよびソリューションベースの収益モデルを構築するためのプラットフォームを提供しています。商用トラックはテレマティクス機器と急速に融合しながら、単なる追跡サービスを超えて、故障予知や資産管理、ドライバー行動管理に至るまで様々なサービスが可能になりつつあります。本調査ではトラック・アズ・ア・サービス市場予測について分析を実施しています。具体的な内容としては、トラック市場で新たに創出される主な収益機会、製品からサービスへの移行を促進する要因、主要トラックOEMの将来的な戦略の方向性、2025年におけるデジタル貨物輸送仲介およびトラックテレマティクスサービスの潜在的収益、2025年におけるトラック業界のデジタル小売の潜在的収益およびビジネス分析、新製品に関して業界の利害関係者が取り組むべきことについてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2019年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/MDB5
2018/12/28	K25D-18	125	European and North American ADAS L1 and L2 Market, 2018	欧米におけるレベル1・2先進運転支援システム (ADAS) 市場 (2018年)	本調査では、欧米における主要OEMやサプライヤーのレベル1・2先進運転支援システム (ADAS) 市場の戦略についてまとめています。具体的な内容としては、車線逸脱警告 (LDW)、アダプティブクルーズコントロール (ACC)、ブラインドスポットモニター (BSD)、ナイトビジョン (NV)、前方車接近警報 (FCW)、駐車支援システム (PA) 等のレベル1・レベル2のADASにおける市場成長促進要因と阻害要因、各技術の市場規模、競合分析、製品ラインナップとその性能、OEM・サプライヤーが市場参入する上での戦略的提言などをまとめています。調査対象地域は欧米、調査対象期間は2018年です。	https://store.frost.com/wip/K25D

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2018/12/28	P9A1-18	126	Strategic Analysis of Thailand's Commercial Vehicle Industry, Forecast to 2022	タイにおける商用車市場分析見通し (~2022年)	タイの商用車市場は2014年から2016年にかけて縮小傾向にありましたが、2017年に市場はプラス成長に転じました。今後2022年にかけてタイの商用車市場は、家計債務の高さ、農産物価格の下落、モータリゼーション率の高さといった課題にもかかわらず、プラスの成長が見込まれています。本調査は、2017年から2022年までのタイにおける商用車市場について分析しています。具体的な内容としては、商用車市場の概要、市場ネットワークとディーラー、規制環境、商用車市場総規模、セグメント別市場シェア、競合他社分析、主要産業部門の見通し、市場成長促進要因と阻害要因等の外部課題、商用車業界とOEMのプロファイル、市場成長機会、将来見通しなどをまとめています。調査対象地域はタイ、調査対象期間は2013年から2022年までです。	https://store.frost.com/wip/P9A1
2018/12/27	PA2F-18	69	Global Farm Equipment Telematics Market, Forecast to 2023	グローバルにおける農機向けテレマティクス市場 (~2023年)	本レポートはグローバルにおける農機向けテレマティクス市場の見通しについて分析を提供しています。具体的な内容としては、農機向けテレマティクス市場の概要と市場に影響を与える主要な要因、同市場の市場規模と潜在成長性、農機向けテレマティクスの各セグメントにおける関連技術などについてまとめています。テラ・アンド・カンパニーやコボタ、CNHインダストリアルといった農機メーカーは、今後オープンプラットフォーム技術や農業のデジタル化に注力すると見られます。またテラ1サプライヤーや非伝統的な企業が同市場に参入し競争が激化するとみられる一方、農機リースやレンタル企業の増加に伴い、提携による車載テレマティクスの導入を検討していくでしょう。調査対象地域はグローバル (北米、欧州、アジア、アフリカ、その他)、調査対象期間は2016年から2023年までです。	https://store.frost.com/wip/PA2F
2018/12/27	PA13-18	81	ADAS Market for Passenger Cars in China, 2017-2025	中国における乗用車向け先進運転支援システム (ADAS) 市場見通し (2017~2025年)	中国における先進運転支援システム (ADAS) 市場は、2017年時点の普及率は10%に過ぎませんが、2025年にかけて年平均20.6%と急激に成長すると予測されます。同国の自動車安全テスト (C-NCAP) の評価項目に自動緊急ブレーキ (AEB) が追加されたことにより、中国におけるADAS製品の普及と需要が長期的に加速すると見られます。本調査では、中国における乗用車向け先進運転支援システム (ADAS) 市場について分析を実施しています。具体的な内容としては、ADAS市場の成長促進要因と阻害要因、SWOT分析、市場規模と市場潜在性、競合分析 (マーケットシェア・主要企業プロファイル)、中国市場における成長のための戦略的提言などについてまとめています。調査対象地域は中国、調査対象期間は2017年から2025年です。	https://store.frost.com/wip/PA13
2018/12/27	9AB2-77	67	Passenger Vehicle Growth Perspectives in Latin America, Forecast to 2023	中南米における乗用車市場成長見通し (~2023年)	中南米の乗用車市場は、GDP成長率の低下、現地通貨の下落、一次産品価格の下落、インフレ率の上昇、購買力平価の低下等の要因から、2014年から2016年にかけて縮小傾向にありました。しかしながら、経済の安定化に伴って、自動車販売は今後回復すると予測されています。本調査では、地域のマクロ経済および政治情勢とメーカー各社の戦略に焦点を当て、中南米における乗用車市場についてまとめています。具体的な内容としては、中南米各国市場の地域情勢とそれに伴う市場の発展分析、各国における自動車業界の動向、乗用車サブセグメントにおける市場成長促進要因・阻害要因についてまとめています。調査対象地域は中南米 (アルゼンチン、ブラジル、チリ、コロンビア、メキシコ、ペルー)、調査対象期間は2013年から2023年までです。	https://store.frost.com/wip/9AB2-00-77
2018/12/27	K314-18	136	Replacement Demand Analysis for Class 1-3 HVAC Components in North America, Forecast to 2024	北米におけるクラス1~3向けHVACコンポーネントのアフターマーケット見通し (~2024年)	北米の自動車用HVACコンポーネントのアフターマーケットは、今後数年間出荷台数が緩やかに増加すると予想されます。本レポートでは北米のクラス1~3向けHVACコンポーネントの2024年までの交換需要について予測を提供しています。具体的な内容としては、HVACの製品タイプ別アフターマーケット出荷台数と売上、平均メーカー出荷価格、販売チャネル分析、主要参入企業別の市場シェアについてまとめています。調査対象地域は北米、調査対象期間は2018年から2024年までです。	https://store.frost.com/wip/K314
2018/12/26	ME6D-18	50	Connected Truck Telematics Market in UK and Ireland, Forecast to 2019	英国・アイルランドにおけるコネクテッドトラックおよびテレマティクス市場 (~2019年)	英国とアイルランドはともに、欧州最大かつ最も成熟した商用車テレマティクス市場を構成しており、それらは多数のグローバルおよびローカルテレマティクス企業によって提供されています。本調査では英国・アイルランドにおけるコネクテッドトラックおよびテレマティクス市場について分析を実施しています。具体的な内容としては、英国とアイルランドのコネクテッドトラックやテレマティクス市場規模と現在および将来シナリオ、現在および将来の主要技術、主要市場参入企業、利害関係者に利益をもたらすビジネスモデル、市場成長に影響を与える主要動向、英国とアイルランドの商用車テレマティクス市場の成長の可能性についてまとめています。調査対象地域は英国とアイルランド、調査対象期間は2019年までです。	https://store.frost.com/wip/ME6D
2018/12/26	K320-13	124	Passenger Rail Connectivity Market in Europe and North America, Forecast to 2025	欧米における旅客鉄道内通信ネットワーク市場見通し (~2025年)	旅客鉄道内通信ネットワークにおいて、西欧は最大市場であり、北米と東欧がそれに続きます。鉄道内通信ネットワーク市場は依然として新興市場であり、鉄道路線の大部分は未接続です。旅客鉄道内通信ネットワークには、モバイルネットワーク、移動体通信用グローバルシステム (GSM-R)、車載Wi-Fi、欧州列車制御システム (ETCS II) などの通信ベースの列車制御 (CBTC) 等が含まれます。本レポートは欧米における旅客鉄道内通信ネットワーク市場について調査しています。本レポートは、航空宇宙、防衛、自動車、およびセキュリティ業界関連の技術企業にとって、旅客鉄道通信ネットワーク市場における市場機会を理解し、自社の製品ポートフォリオを拡大する上で役立つことを目的としています。具体的な内容としては、通信デジタルリユース業界における既存参入企業・スタートアップについての詳細、サービスプロバイダーの比較分析、主要市場参入企業の競合ベンチマーク、市場成長促進要因・阻害要因、市場における課題とその対処、市場シェアを獲得するための戦略的アプローチ、全セグメントの収益予測などをまとめています。対象地域は欧米、対象期間は2017年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/K320
2018/12/26	K2B6-18	123	Analysis of the Drone Delivery Landscape and the Evolving Business Opportunities, 2018	ドローン配送の見通しと事業機会 (2018年)	本調査では、次世代のドローン配送とラストマイルへの応用についての分析や2025年までの発展について予測を実施しています。具体的な内容としては、ドローン配送の発展と今日における必要性、ドローン配送を支持するマクロ経済動向、技術的な課題と対処、ドローンの種類 (トコプター、クワッドコプター、ヘキコプターおよびオクタコプター、固定翼およびトランジショナルドローン等)、想定されるビジネスモデルと収益、各国におけるドローンの商用利用に対する規制動向についてまとめています。本調査で対象とする主要参入企業は、Flirtey、Flytrex、Matterport、Alphabet、Amazon Prime Air、DHL、Drone Delivery Canada、Elroy Air、Fedex、SF Holding、Swiss Post、UPS、Volans-i、Walmart、Ziplineです。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2017年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/K2B6
2018/12/26	K32B-18	69	Key Insights into the Nordic Passenger Vehicle Market, Forecast to 2025	北欧における乗用車市場の主要動向 (~2025年)	本調査では、北欧諸国の乗用車の販売、生産、輸入動向について分析を実施しています。具体的な内容としては、自動車メーカー各社の販売台数を通じた現在・将来動向分析、各社の生産戦略分析、国別販売実績を通じた将来の生産動向、乗用車・小型商用車 (LV) の販売台数予測、カーリースの動向分析、カーリースと現金・クレジット購入の比較を通じたカーリースの普及見通し、北欧諸国におけるEV市場の概要、各国の最量販モデル・ブランドと将来の市場見通し、EVのセグメント別消費者嗜好や市場シェア分析、EV関連インフラの普及動向、各国のEV関連の政策動向についてまとめています。調査対象地域は北欧地域 (デンマーク、ルウェー、スウェーデン、フィンランド、アイスランド)、調査対象期間は2011年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/K32B

FROST & SULLIVAN							フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)	
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL		
2018/12/26	K2D0-18	114	Strategic Analysis of the Canadian Automotive Aftermarket, Forecast to 2025	カナダにおける自動車アフターマーケット見通し (~2025年)	本調査では、カナダにおけるクラス1~3の自動車向けアフターマーケットについての分析を実施しています。具体的な内容としては、自動車保有台数・新車および中古車販売台数、自動車アフターマーケット交換部品売上分析、オンライン小売・テレマティクス・電気自動車・自動運転車などの新規ビジネスモデルや技術によって創出される成長機会や課題についての考察、自動車アフターマーケットの主要参入企業プロファイリングについてまとめています。また、これらの分析を通して、新規ビジネスモデルや技術がカナダの自動車アフターマーケットのバリューチェーンをどのように破壊・変革させるか、参入企業に与える影響についての分析も提供しています。調査対象地域はカナダ、調査対象期間は2015年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/K2D0		
2018/12/26	K2B5-18	110	North American Commercial Vehicles Aftermarket Overview, 2018	北米における商用車向けアフターマーケット概要 (2018年)	本調査では、北米地域における中・大型 (クラス4~8) 商用車向けアフターマーケットの分析と将来の市場見通し、バリューチェーンにおける様々な参入企業に与える影響について予測を実施しています。具体的な内容としては、商用車向けアフターマーケットにおける利害関係者の戦略、商用車向けアフターマーケットの事業機会に影響を与える主要因とそれぞれのサブ要因、トラック運送業に影響を与える動向とそれらのアフターマーケットへの影響、OEM各社のアフターマーケット戦略の変化、各利害関係者から見た商用車向けアフターマーケットの変化に対する評価などについてまとめています。調査対象地域は北米 (米国、カナダ)、調査対象期間は2018年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/K2B5		
2018/12/20	ME52-18	64	Innovative Business Models in Automotive Finance and Insurance, Forecast to 2025	オートファイナンス・自動車保険業界における革新的ビジネスモデル (~2025年)	コネクテッドビリティやすぐに得られる喜びがビジネスを変化させており、金融・保険業界も例外ではありません。本調査では、オートファイナンス・自動車保険業界における革新的ビジネスモデルについて分析を提供しています。具体的な内容としては、オートファイナンス・重量型保険 (UBI) 市場規模、金融・保険業界における主要動向とそれらによる市場参入企業のビジネスモデルの変化、オートファイナンスの新たなトレンドを仕掛ける企業とその特徴、主要利害関係者と事業成功のための提携、2017年から2025年にかけての市場成長機会などについてまとめています。調査対象地域は欧米、調査対象期間は2017年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/ME52		
2018/12/20	ME55-18	59	Strategic Overview of Automotive Aftermarket in Russia, Forecast to 2024	ロシアにおける自動車アフターマーケットの見通し (~2025年)	本調査では、ロシアにおけるクラス1~3の自動車アフターマーケットの分析と予測を実施しています。具体的な内容としては、自動車保有台数と平均使用年数に基づく自動車部品・サービスの主な需要要因、自動車保有台数・交換率・価格データのトップダウン分析に基づいた総市場機会予測、ロシアにおける部品ディストリビューター・サービスプロバイダー、事業環境、アフターマーケット業界に影響を与える政策・規制などについてまとめています。調査対象地域はロシア、調査対象期間は2015年から2024年までです。	https://store.frost.com/wip/ME55		
2018/12/18	MCEE-13	122	Strategic Analysis of the Indian Western Dedicated Rail Freight Corridor and Its Impact on Indian Logistics, 2017-2041	インド西部貨物専用回廊の分析および物流への影響 (2017~2041年)	インド西部貨物専用回廊 (WDFC) の建設により、同国は貨物輸送能力や効率性を生かした新たな成長機会が見込まれます。インドでは生鮮食品をトラックでエンドユーザーに配送する需要が高まっており、コールドチェーン物流はこの回廊の恩恵を受けるでしょう。本レポートはインド西部貨物専用回廊の分析および物流への影響についてまとめています。具体的な内容としては、貨物専用回廊の概要と本プロジェクトにおける主要な利害関係者、インドにおけるコールドチェーン市場の構成要素と事業セグメント、同サービス市場の成長促進要因と課題、コールドチェーン市場の発展のための政策スキームや規制、WDFCの開通により期待される市場の変化、コールドチェーン市場の発展による物流業界や環境への影響などについてまとめています。調査対象地域はインド (デリー・ムンバイ間貨物専用回廊)、調査対象期間は2017年から2041年までです。	https://store.frost.com/wip/MCEE		
2018/12/18	9AB2-18_106	66	Chinese Automotive Aftermarket, Forecast to 2025	中国における自動車アフターマーケットの見通し (~2025年)	本調査では、中国の自動車アフターマーケットの発展の見通しと、自動車部品、オンライン修理・メンテナンス、中古車を含む中国の自動車アフターマーケットの現在シナリオについてまとめています。具体的な内容としては、自動車部品、オンライン修理・メンテナンス、修理・メンテナンスの各市場概要、自動車保有台数がアフターマーケットに与える影響、アフターマーケットの2018年~2025年までの市場規模予測、アフターマーケットに影響を与える政策・規制の分析、オンライン修理・メンテナンス・部品市場における自動車イコマースプラットフォームの競争力分析についてまとめています。調査対象地域は中国、調査対象期間は2010年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/9AB2-00-76		
2018/12/13	9AB2-18_105	71	Company Profile of DiDi, 2018	DiDi (滴滴出行) 社プロフィール (2018年)	このレポートでは、タクシー配車サービスと個人所有車の配車サービスで中国市場のシェア80%以上を抱えるDiDi (滴滴出行) 社について、同社の成功要因を中心に分析を実施しています。具体的な内容としては、DiDi社のビジネスセグメントの概要、DiDi社の付加価値サービスやモビリティサービスの収益モデルに関する考察、DiDi社の戦略的提携とグローバル事業への影響分析、自動車産業における自動運転・コネクテッドカーAIに対するDiDi社の役割、DiDi社の戦略的投資の分析・評価などについてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2018年です。	https://store.frost.com/wip/9AB2-00-D3		
2018/12/11	9AB2-18_104	64	Car Sharing Market in Poland, Forecast to 2020	ポーランドにおけるカーシェアリング市場 (~2020年)	ポーランドのカーシェアリング市場は2017年に急成長し、さらに3社がカーシェアリングサービスの提供を開始した結果、カーシェアリング会員数と車両台数ともに13倍に増加しました。本調査ではポーランドにおけるカーシェアリング市場について予測を提供しています。具体的な内容としては、カーシェアリング市場の2020年までの成長見通し、カーシェアリングサービスの成長に影響を与える主な課題、ポーランドでのカーシェアリングサービスの発展にとって重要な地域、EVカーシェアリングの可能性、ポーランドのカーシェアリング市場と欧州市場との比較についてまとめています。調査対象地域はポーランド、調査対象期間は2015年から2020年までです。	https://store.frost.com/wip/9AB2-00-79		
2018/12/7	K2C8-18	86	Analysis of Mergers & Acquisitions in the Global Automotive Industry, Forecast to 2025	グローバル自動車産業におけるM&Aの分析と見通し (~2025年)	自動運転、コネクテッドカー、シェアリング、電動化 (CASE) の技術的進歩は、従来のビジネスモデルを崩壊させています。M&Aは、イノベーション、知的財産、そして事業の収益性と持続可能性において重要な人材を確保するため、自動車関連企業と非自動車関連企業の両方で活用されています。本調査ではグローバル自動車産業におけるM&Aの分析と見通しを実施しています。具体的な内容としては、過去5年間の主なディールの内容とそれが収益性に与える影響、自動車業界でM&Aを推進する新技術やビジネスモデル、市場参入企業におけるM&Aの焦点分野、M&Aの主要な国と地域、M&Aにより形成される将来の自動車業界などについてまとめています。調査対象地域はグローバル (北米、欧州)、調査対象期間は2018年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/K2C8		

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)					
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL	
2018/12/7	ME26-18	87	Strategic Insight into the Global P2P Carsharing Market, 2018	グローバルにおけるP2Pカーシェアリング市場分析 (2018年)	ピアツーピア (P2P) カーシェアリングは、今日のシェアモビリティに対する最も革新的なアプローチの1つです。環境問題への関心の高まりと車両所有の変化により、P2Pモデルはモビリティに全く新しい視点をもたらしています。本調査ではグローバルにおけるP2Pカーシェアリング市場について分析を実施しています。具体的な内容としては、2018年におけるグローバルのP2Pカーシェアリング市場の概要と主要な市場参入企業、主要技術動向、市場成長促進要因と阻害要因、市場が直面する主な課題、OEMおよびその他のモビリティサービスの見直し、P2Pカーシェアリングの大幅な成長が見込まれる国と地域、2030年までの市場見通しについてまとめています。調査対象地域はグローバル (欧州、北米、APAC、中国、アルゼンチン、南アフリカ)、調査対象期間は2019年から2030年までです。	https://store.frost.com/wip/ME26	
2018/12/6	9AB2-18_103	91	Malaysian Biodiesel Mandate	マレーシアにおけるバイオディーゼル政策	バイオディーゼルはマレーシアで生産されるバイオディーゼルの主成分ですが、持続的成長のためには2021年からマレーシア産バイオディーゼルの輸入を規制するEUの再生可能エネルギー指令 (RED) のような課題と成長阻害要因を克服しなければなりません。本調査はマレーシアにおけるバイオディーゼル政策についての分析です。具体的な内容としては、再生可能資源を用いた代替燃料の導入に対するマレーシア政府の取り組み、バイオディーゼル政策に対する業界の反応、政策の市場導入による影響と受益者、最新の政策状況や政策に対する暫定的な解決策についてまとめています。調査対象地域はマレーシア、調査対象期間は2018年から2020年までです。	https://store.frost.com/wip/9AB2-00-D0	
2018/12/5	MDBE-18	63	Strategic Overview of the Automotive Aftermarket in Poland, Forecast to 2024	ポーランドにおける自動車アフターマーケットの見通し (~2024年)	低い処分所得、輸入関税の引き下げ、および排出規制の欠如は、ポーランドにおける輸入中古車の普及率の上昇をもたらしました。中古車の輸入量は新車販売の2倍であり、この割合は2004年以来安定しています。本調査ではポーランドにおける自動車アフターマーケットの2024年までの見通しについて分析を実施しています。具体的な内容としては、ポーランドの自動車アフターマーケットの中長期的な見通しと市場の構造、主要参入企業、将来の成長機会が最も大きい製品およびサービス、競争環境の今後の変化についてまとめています。調査対象地域はポーランド、調査対象期間は2018年から2024年までです。	https://store.frost.com/wip/MDBE	
2018/12/4	PA21-18	76	South African Electric Vehicles Market, Forecast to 2022	南アフリカにおけるEV市場見通し (~2022年)	南アフリカにおけるEV市場はまだまだ黎明期ですが、今後5年間でゆっくりと着実に市場が成長するとみられます。本調査では南アフリカにおけるEV市場の見通しについてまとめています。具体的な内容としては、EV市場の概要と短~長期的な将来シナリオ、現在の市場規模と2022年にかけての市場成長予測、同市場における主要参入企業と市場シェア、規制やマクロ経済動向が市場成長に与える影響、市場の潜在成長性などについてまとめています。調査対象地域は南アフリカ、調査対象期間は2014年から2022年までです。	https://store.frost.com/wip/PA21	
2018/11/29	ME36-18	102	Future of Mass Market and Premium Performance Vehicles, 2025	大眾車とラグジュアリーパフォーマンス車の将来 (~2025年)	パフォーマンス車は特にスピードと加速性能を重視して設計・製造される車両で、一般的に高度な技術のテストベッドとして使用され、すべての主要な自動車分野に関わっています。本調査では大眾車とラグジュアリーパフォーマンス車の将来について分析しています。具体的な内容としては、大眾車、ラグジュアリーカー、スーパーラグジュアリー市場における、各ブランドの位置付けと競合市場分析、電動パフォーマンスカーブランドが与える将来のパフォーマンスカーへの影響、パフォーマンス車の将来に影響を及ぼす技術、自動運転やモビリティサービスといった将来の技術が、パフォーマンスカーに与える影響、予想される小売業の変化とパフォーマンスカーが普及している主要市場についてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2018年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/ME36	
2018/11/28	9B16-18_007	47	Indonesia Quarterly Regional Regulations and Market Growth Indicators Analysis, Q2 2018	インドネシアにおける規制と市場成長指数分析 (2018年第2四半期)	本調査ではインドネシアにおける2018年第2四半期の規制と市場成長指数について分析を実施しています。具体的な内容としては、当該四半期におけるインドネシアの自動車総市場規模、各国の主要セグメントとサブセグメントの台数と市場シェア、各セグメントにおけるメーカー別シェアと市場における勝者と敗者、主要メーカー動向、主要法規制動向、新規モデル投入動向、市場成長促進要因と阻害要因についてまとめています。調査対象地域はインドネシア、調査対象期間は2018年第2四半期です。	https://store.frost.com/wip/9B16-00-05	
2018/11/28	9B16-18_006	46	Vietnam Quarterly Regional Regulations and Market Growth Indicators Analysis, Q2 2018	ベトナムにおける規制と市場成長指数分析 (2018年第2四半期)	本調査ではベトナムにおける2018年第2四半期の規制と市場成長指数について分析を実施しています。具体的な内容としては、当該四半期におけるベトナムの自動車総市場規模、各国の主要セグメントとサブセグメントの台数と市場シェア、各セグメントにおけるメーカー別シェアと市場における勝者と敗者、主要メーカー動向、主要法規制動向、新規モデル投入動向、市場成長促進要因と阻害要因についてまとめています。調査対象地域はベトナム、調査対象期間は2018年第2四半期です。	https://store.frost.com/wip/9B16-00-06	
2018/11/28	9B16-18_005	46	The Philippines' Quarterly Regional Regulations and Market Growth Indicators Analysis, Q2 2018	フィリピンにおける規制と市場成長指数分析 (2018年第2四半期)	本調査ではフィリピンにおける2018年第2四半期の規制と市場成長指数について分析を実施しています。具体的な内容としては、当該四半期におけるフィリピンの自動車総市場規模、各国の主要セグメントとサブセグメントの台数と市場シェア、各セグメントにおけるメーカー別シェアと市場における勝者と敗者、主要メーカー動向、主要法規制動向、新規モデル投入動向、市場成長促進要因と阻害要因についてまとめています。調査対象地域はフィリピン、調査対象期間は2018年第2四半期です。	https://store.frost.com/wip/9B16-00-07	
2018/11/23	9B16-18_004	46	Cambodia, Laos, and Myanmar Quarterly Regional Regulations and Market Growth Indicators Analysis, Q2 2018	カンボジア、ラオス、ミャンマーにおける規制と市場成長指数分析 (2018年第2四半期)	本調査ではカンボジア、ラオス、ミャンマーにおける2018年第2四半期の規制と市場成長指数について分析を実施しています。具体的な内容としては、当該四半期におけるカンボジア、ラオス、ミャンマーの自動車総市場規模、各国の主要セグメントとサブセグメントの台数と市場シェア、各セグメントにおけるメーカー別シェアと市場における勝者と敗者、主要メーカー動向、主要法規制動向、新規モデル投入動向についてまとめています。調査対象地域はカンボジア、ラオス、ミャンマー、調査対象期間は2018年第2四半期です。	https://store.frost.com/wip/9B16-00-04	

FROST & SULLIVAN							フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)						
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL							
2018/11/22	K300-18	78	Electric and Autonomous Vehicle Incentives in the US, Forecast to 2025	米国における電動および自動運転車向けインセンティブ (~2025年)	本調査では米国における電動および自動運転車向けインセンティブについてまとめています。具体的な内容としては、インセンティブの構造と必要性、OEM/サプライヤー/サービスプロバイダーにとってインセンティブがEV販売やEV普及率へ与える影響、EV販売や普及を促進するに役立つインセンティブフォーマット、市場成長を維持するために政府が取り進むべきEVインセンティブプログラムの改善案や財政的購入インセンティブの期間に関する考察、OEM/サプライヤー/顧客が自動運転コネクテッドカー技術を開発/選択するために必要なインセンティブの発展などについてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2018年から2023年までです。	https://store.frost.com/wip/K300							
2018/11/21	K2EC-18	58	Growth Opportunities of Telematics in North American School Bus Fleets, Forecast to 2025	北米のスクールバス事業者向けテレマティクスの成長機会 (~2025年)	本調査では北米のスクールバス事業者向けテレマティクスの成長機会について分析を実施しています。具体的な内容としては、北米のスクールバステレマティクス市場の現状と、短~長期のスクールバステレマティクス市場の将来見通し、2017年から2025年までのスクールバスのテレマティクス市場規模、主要な市場参入企業、OEMとテレマティクスサービスプロバイダーの間と、利害関係者に利益をもたらす将来的なビジネスモデルと製品、北米のスクールバステレマティクスの事業環境、ソフトウェアソリューションと付加価値サービスの重要度と影響、スクールバス向けテレマティクス市場の各種動向と取り組むべき課題についてまとめています。調査対象地域は北米(米国、カナダ) 調査対象期間は2018年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/K2EC							
2018/11/19	PA0F-13	133	Disruptive Innovations in European Logistics Industry, Forecast to 2025	欧州の物流業界における破壊的革新 (~2025年)	欧州では内需の増加、良好な雇用状況、消費者信頼感指数の高さから、依然として経済環境は好調です。しかし、逼迫した貿易状況、エネルギー価格の上昇、不安定な政治環境が企業信頼感指数に悪影響を与えると予想されます。本調査では欧州の物流業界における破壊的革新について分析を実施しています。具体的な内容としては、欧州の物流業界を変える主要なマクロ経済動向と、将来市場を形成する主要な破壊的動向、貨物輸送、倉庫保管、物流、サプライチェーンソリューションを変革する主要なデジタル技術、サービスプロバイダーにとって新たな事業機会を提供する新興ビジネスモデルによる破壊的デジタル技術、デジタル化戦略オプション、デジタル技術の普及率見通しについてまとめています。調査対象地域は欧州、調査対象期間は2018年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/PA0F							
2018/11/16	ME21-18	47	Prognostics and Its Implication in NA and EU Commercial Vehicle Telematics, Forecast to 2025	欧米における商用車テレマティクスの予測と影響 (~2025年)	IoTとインダストリー4.0は、欧米を中心にグローバルなトラック業界を急速に変革しつつあるメカトレンドです。道路安全問題の削減からフリート診断能力の向上に至るまで、この動向はトラック輸送をより効率的にしています。本調査では欧米における商用車テレマティクスの予測と影響についてまとめています。具体的な内容としては、商用車業界が故障予知技術を採用する際に直面する課題、故障予知技術の効果とOEMやティア1サプライヤー、テレマティクスプロバイダーなど利害関係者における導入例、欧米におけるテレマティクスベース故障予知ソリューションの普及率と2025年までの市場成長見通し、故障予知技術企業にとっての成長機会と戦略的必須要件についてまとめています。調査対象地域は北米と欧州、調査対象期間は2019年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/ME21							
2018/11/16	PA0C-18	56	Chinese Passenger Vehicle OEMs' Global Expansion Strategies, Forecast to 2025	中国乗用車メーカーのグローバル拡大戦略 (~2025年)	中国の自動車産業は堅調な成長を目指しており、政府は一带一路の更なる協力を通じて、乗用車の販売環境を支援し生産活動を強化することが期待されています。本調査では中国乗用車メーカーのグローバル拡大戦略について分析を実施しています。具体的な内容としては、上海汽車、奇瑞汽車、江淮汽車、東風汽車、長城汽車、長安汽車などの中国乗用車OEMがマーケットリーダーになった要因と各社の主な輸出戦略、中華系OEMにとっての輸出市場の重要性と海外の消費者嗜好に合致させるための事業展開、市場適合性の変化とその影響、OEM各社にとっての主な成功要因と将来市場の見通しなどについてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2018年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/PA0C							
2018/11/16	9B16-18_003	46	Singapore Quarterly Regional Regulations and Market Growth Indicators Analysis, Q2 2018	シンガポールにおける規制と市場成長指数分析 (2018年第2四半期)	本調査ではシンガポールにおける2018年第2四半期の規制と市場成長指数について分析を実施しています。具体的な内容としては、当該四半期におけるシンガポールの自動車総市場規模、各国の主要セグメントとサブセグメントの台数と市場シェア、各セグメントにおけるメーカー別シェアと市場における勝者と敗者、主要メーカー動向、主要法規制動向、新規モデル投入動向、市場成長促進要因と阻害要因についてまとめています。調査対象地域はシンガポール、調査対象期間は2018年第2四半期です。	https://store.frost.com/wip/9B16-00-01							
2018/11/16	9B16-18_002	39	Thailand Quarterly Regional Regulations and Market Growth Indicators Analysis, Q2 2018	タイにおける規制と市場成長指数分析 (2018年第2四半期)	本調査ではタイにおける2018年第2四半期の規制と市場成長指数について分析を実施しています。具体的な内容としては、当該四半期におけるタイの自動車総市場規模、各国の主要セグメントとサブセグメントの台数と市場シェア、各セグメントにおけるメーカー別シェアと市場における勝者と敗者、主要メーカー動向、主要法規制動向、新規モデル投入動向、市場成長促進要因と阻害要因についてまとめています。調査対象地域はタイ、調査対象期間は2018年第2四半期です。	https://store.frost.com/wip/9B16-00-02							
2018/11/16	9B16-18_001	48	Malaysia Quarterly Regional Regulations and Market Growth Indicators Analysis, Q2 2018	マレーシアにおける規制と市場成長指数分析 (2018年第2四半期)	本調査ではマレーシアにおける2018年第2四半期の規制と市場成長指数について分析を実施しています。具体的な内容としては、当該四半期におけるマレーシアの自動車総市場規模、各国の主要セグメントとサブセグメントの台数と市場シェア、各セグメントにおけるメーカー別シェアと市場における勝者と敗者、主要メーカー動向、主要法規制動向、新規モデル投入動向、市場成長促進要因と阻害要因についてまとめています。調査対象地域はマレーシア、調査対象期間は2018年第2四半期です。	https://store.frost.com/wip/9B16-00-03							
2018/11/15	9AB2-18_102	64	The Philippine Auto Leasing and Car Rental Market, Forecast to 2022	フィリピンにおける自動車リースおよびレンタカー市場 (~2022年)	フィリピン市場はリース・レンタル専業会社だけでなく、銀行やOEM傘下の金融・リース会社が参入しており、非常に複雑な構造をしています。本調査ではフィリピンにおける自動車リースおよびレンタカー市場について分析を実施しています。具体的な内容としては、フィリピンの自動車リース市場およびレンタカー市場の現状、動向、発展、主要参入企業とそのプロフィール、競合他社数や分業、市場シェアといった業界の競合状況、自動車リースおよびレンタカー市場における市場参入企業の提供サービス、市場に影響を及ぼす重要な課題と成長促進要因と阻害要因、今後のフリート台数規模見通しについてまとめています。調査対象地域はフィリピン、調査対象期間は2018年から2022年までです。	https://store.frost.com/wip/9AB2-00-C6							

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート 番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2018/11/14	9AB2-18_101	54	Key US Automotive Lightweighting Insights, Forecast to 2030	米国における自動車軽量化の動向 (~2030年)	本調査では、米国における自動車軽量化の動向に焦点を当て、先進軽量化素材、特にマグネシウムとアルミニウムが短~長期的に自動車業界に与える影響や、カーボンやガラス、繊維強化プラスチック等の他素材を使用した軽量化戦略との比較についてまとめています。具体的な内容としては、現在および将来の最も一般的な軽量化素材と自動車業界における動向、OEMやサプライヤーにおける大衆車市場向け先進軽量化素材の導入時期、先進軽量化素材の開発において市場をけん引するグローバルOEMや地域、OEMが車両軽量化に向けた初期技術や素材応用で計画中のコンポーネントやAssy、軽量化推進の背景とその背後にある複雑な関係性などについてまとめています。調査対象地域は米国、調査対象期間は2018年から2030年までです。	https://store.frost.com/wip/9AB2-00-D6
2018/11/1	K241-18	42	Powering Monetizing Opportunities in Global Automotive Retail, Forecast to 2030	グローバルにおける自動車小売の収益機会強化 (~2030年)	将来の自動車業界は、提携サービスパートナーを通じてパーソナライズされた車内体験を提供することに重点を置きながら、メーカーが自動車販売や定期点検以外の収益確保を検討することが重要になっています。フィンテックは業界全体の取引から体験中心型への移行を可能し、従来型の事業環境がデジタル変革を取り入れる上で重要な役割を果たします。本調査では、グローバルにおける自動車小売の収益機会強化についてまとめています。具体的な内容としては、デジタル小売の取り組みにおけるベストプラクティスとそれらのオンライン/オフラインカスタマージャーニーの橋渡し、車両購入の各段階におけるデジタル化可能な主要な顧客との接点、自動車小売においてブロックチェーンとフィンテックが果たす役割、進化する車両所有モデルおよび利害関係者にもたらす影響、自動車ファイナンスや小売における成長機会と小売業者における顧客体験についてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2017年から2030年までです。	https://store.frost.com/wip/K241
2018/10/26	K2FF-18	91	Global Commercial Vehicle Electrification Potential and Trends, Forecast to 2025	グローバルにおける商用車の電動化の可能性と動向見通し (~2025年)	北米、欧州、中国では温室効果ガス排出規制が強化されています。一般市民の気候変動への懸念は、特に自動車産業が二酸化炭素排出量の削減を促進しています。本調査ではグローバルにおける商用車の電動化の可能性と動向について分析を実施しています。具体的な内容としては、中国、北米、欧州などの主要地域における電気トラック市場の市場動向、2025年までの電気自動車市場普及率、市場成長促進要因と課題、トラック向けパワートレイン・アーキテクチャーなどの電気トラック駆動系の下流への影響、OEMからサプライヤーに至るまでの電気トラックソリューション、電動パワートレイン部品の技術的進歩についてまとめています。調査対象地域はグローバル (中国、北米、欧州)、調査対象期間は2018年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/K2FF
2018/10/26	ME51-18	48	Light Vehicle Leasing Market in Germany, Forecast to 2022	ドイツにおけるリース市場 (~2022年)	本調査では、ドイツにおけるリース市場について、乗用車および小型トラック向けリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の状況に基づいてドイツのリース市場の成長性を分析し、リース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、ドイツにおけるリース市場の分類や車両リースサプライヤー比較分析、2018年から2022年までの市場規模、パワーレイン別、販売チャネル別、プレミアム/大衆車セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	https://store.frost.com/wip/ME51
2018/10/26	ME5D-18	45	Light Vehicle Leasing Market in Finland, Forecast to 2022	フィンランドにおけるリース市場 (~2022年)	本調査では、フィンランドにおけるリース市場について、乗用車および小型トラック向けリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の状況に基づいてフィンランドのリース市場の成長性を分析し、リース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、フィンランドにおけるリース市場の分類や車両リースサプライヤー比較分析、2018年から2022年までの市場規模、パワーレイン別、販売チャネル別、プレミアム/大衆車セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	https://store.frost.com/wip/ME5D
2018/10/26	ME5E-18	48	Light Vehicle Leasing Market in Sweden, Forecast to 2022	スウェーデンにおけるリース市場 (~2022年)	本調査では、スウェーデンにおけるリース市場について、乗用車および小型トラック向けリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の状況に基づいてスウェーデンのリース市場の成長性を分析し、リース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、スウェーデンにおけるリース市場の分類や車両リースサプライヤー比較分析、2018年から2022年までの市場規模、パワーレイン別、販売チャネル別、プレミアム/大衆車セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	https://store.frost.com/wip/ME5E
2018/10/26	ME5F-18	45	Light Vehicle Leasing Market in Norway, Forecast to 2022	ノルウェーにおけるリース市場 (~2022年)	本調査では、ノルウェーにおけるリース市場について、乗用車および小型トラック向けリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の状況に基づいてノルウェーのリース市場の成長性を分析し、リース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、ノルウェーにおけるリース市場の分類や車両リースサプライヤー比較分析、2018年から2022年までの市場規模、パワーレイン別、販売チャネル別、プレミアム/大衆車セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	https://store.frost.com/wip/ME5F
2018/10/26	ME60-18	45	Light Vehicle Leasing Market in South Africa, Forecast to 2022	南アフリカにおけるリース市場 (~2022年)	本調査では、南アフリカにおけるリース市場について、乗用車および小型トラック向けリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の状況に基づいて南アフリカのリース市場の成長性を分析し、リース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、南アフリカにおけるリース市場の分類や車両リースサプライヤー比較分析、2018年から2022年までの市場規模、パワーレイン別、販売チャネル別、プレミアム/大衆車セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	https://store.frost.com/wip/ME60
2018/10/25	9AB2-18_100	59	Impact of Brexit on the UK Automotive Industry and Mitigation Strategies	ブレグジットが英国自動車産業に及ぼす影響と緩和戦略	2016年のブレグジット投票は多くの人々に、世界経済における英国の景気減速の始まりと捉えられています。本調査ではブレグジットが英国の自動車産業に及ぼす影響と緩和戦略について分析を実施しています。具体的な内容としては、来年にブレグジットが及ぼす可能性のあるシナリオ、英国の自動車業界に大きな影響を与える重要な要因、新しいブレグジット条項と英国の自動車業界が受ける影響、ブレグジットの結果として創り出される新たな市場機会と自動車市場参入企業への対応、OEM、サプライヤー、その他の企業が競争力を維持するために採用する戦略についてまとめています。調査対象地域は英国と欧州、調査対象年は2017年です。	https://store.frost.com/wip/9AB2-00-D7

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)					
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL	
2018/10/22	9AB2-18_99	77	Company Profile of Go-Jek, 2018	Go-Jek社プロフィール (2018年)	このレポートでは、現在インドネシアでの配車サービスやその他のサービスのリーダーであるGo-Jek社についてまとめています。具体的な内容としては、Go-Jek社の現在のビジネス環境、現在提供中のサービス、各事業領域における競合企業、市場ポジショニングと戦略、主な成功要因、同社に対する主要出資企業と財政状況、投資家にもたらすメリット、国内外における将来の市場機会についてまとめています。調査対象地域はインドネシアで、調査基準年は2017年です。	https://store.frost.com/wip/9AB2-00-D1	
2018/10/17	P929-13	120	Growth Opportunities in the Global Mainline Electric Multiple Units (MEMUs) Market, Forecast to 2024	グローバルにおける幹線電車 (MEMUs) 市場の成長機会 (～2024年)	交通量の急激な増加と顧客需要の変化に伴い、世界中の都市が最も経済的で燃費の良い移動形態を模索する中で、鉄道という選択肢が好まれるようになってきました。本調査ではグローバルにおける幹線電車 (MEMU) 市場における成長機会について分析を実施しています。具体的な内容としては、グローバルのMEMU市場において現在提供中のサービス、主要な鉄道ユニットのタイプ、市場における鉄道車両メーカーの競争要因と価格設定、各地域セグメントにおける課題、調査対象期間で最もMEMU市場拡大が期待される地域についてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2018年から2024年までです。	https://store.frost.com/wip/P929	
2018/10/16	ME01-18	87	The Impact of EVs and PHEVs on the European Automotive Aftermarket, Forecast to 2025	欧州におけるEVおよびPHEVのアフターマーケットへの影響 (～2025年)	本調査では、欧州におけるEVおよびPHEVのアフターマーケットの予測について分析を実施しています。具体的な内容としてはEVによるアフターマーケット関連企業への金銭的損失、EVの普及により最も影響を受ける部品、フリートにおけるEVの普及率と産業界に与える影響、アフターサービス拠点のEV普及に対する対応についてまとめています。調査対象地域は欧州、調査対象期間は2017年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/ME01	
2018/10/10	9AB2-18_98	41	Automotive Industrial Internet of Things (IIoT) Growth Insights	自動車産業におけるIIoT (IIoT) 成長見通し	インダストリアルIIoT (IIoT) の活用により、自動車製造業の生産と将来の可能性は変化がもたらされるでしょう。本調査では自動車産業におけるIIoT (IIoT) 成長見通しについて分析を実施しています。具体的な内容としては、インダストリー4.0の事例と現在の自動車産業における状況、自動車のIIoTと主要なエコシステム参入企業のコアとなる社、自動車製造のさまざまなプロセスとIIoT事例の適合、IIoTコンセプトを導入する主要OEM、自動車産業における主要なIIoTベンダー、自動車IIoTの現在および将来の重点分野についてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2018年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/9AB2-00-C5	
2018/10/4	PA39-13	81	One Belt, One Road—Implications for Connectivity and Regional Trade, Forecast to 2030	一帯一路：連結性と地域貿易見通し (～2030年)	ユーラシア地域の多くの国では、シームレスな連結性とインフラストラクチャーの不足が、貿易と物流にとって大きな課題となっています。中国の一帯一路イニシアチブは、東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東、東アフリカおよび欧州諸国の輸送インフラを相互接続することによって連結性を改善することが期待されています。本調査では一帯一路イニシアチブにおける連結性と地域貿易の見通しについて分析を実施しています。具体的な内容としては、一帯一路がもたらす貿易上のメリット、輸送インフラの発達による企業のサプライチェーン戦略を再構築の必要性、輸送インフラへの多額の投資による市場機会、6つの経済回廊で扱う主要な製品セグメント、一帯一路の発展を支える東西間の国境を越えた電子商取引の成長についてまとめています。調査対象地域はアジア、欧州、中東、北アフリカ、調査対象期間は2018年から2030年までです。	https://store.frost.com/wip/PA39	
2018/9/28	K2A9-18	79	Strategic Automotive Profile of BYD, 2017-2025	BYDの自動車戦略 (2017～2025年)	自動車業界の世界的な動向として、バイオディーゼル、圧縮天然ガス、液化石油ガス、水素燃料電池などの代替燃料技術の開発が挙げられます。中国ではこれらのうち、電気自動車の開発に最も注力しており、BYDは電気自動車技術を核として開発に取り組んでいます。本調査では、2017年から2025年にかけてのBYDの自動車戦略の概要について分析を実施しています。具体的な内容としては、BYD独自の電気自動車市場の競争戦略、BYDの電気自動車の研究開発戦略、BYDの国内外のサプライチェーン、BYDの2017年から2025年までの販売予測、BYDの自動運転技術の開発動向についてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2017年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/K2A9	
2018/9/19	PA31-18	71	Australian Automotive Aftermarket Trends, 2018	豪州の自動車アフターマーケット (2018年)	豪州の自動車アフターマーケットは堅調な成長を続けています。また豪州国内では、主要なOES (Original Equipment Suppliers) による自動車アフターマーケット関連企業のM&Aが進んでおり、その存在感を増しています。本調査では、豪州の自動車アフターマーケットの動向について分析を実施しています。具体的な内容としては、2018年の豪州自動車アフターマーケットの規模とその方向性に影響を及ぼしている主な要因、2025年までに予想される自動車業界の変化、2017年の豪州自動車アフターマーケットの概要、2017年から2025年までのオンライン小売業の変化、2017年から2025年までの豪州自動車アフターマーケットの見通しについてまとめています。調査対象地域は豪州、調査対象期間は2017年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/PA31	
2018/9/12	MD4B-18	91	Global Automotive Cybersecurity Market, Forecast to 2025	グローバルにおける自動車サイバーセキュリティ市場の見通し (～2025年)	自動車が多様な機器につながる (コネクテッド) ことにより、利便性と同時にサイバー攻撃によるリスクも向上します。これにより、コネクテッドカーの普及に伴う堅牢なサイバーセキュリティリソースの必要性が高まってきました。本調査では、グローバルの自動車サイバーセキュリティ市場の見通しについて分析を実施しています。具体的な内容としては、自動車サイバーセキュリティに関する取り組み (2017～2025年)、自動車業界の様々なサイバーセキュリティのビジネスモデル、市場統合状況、地域別の規制と市場への影響、自動車への現在および将来の潜在的な脅威、乗用車および商用車のサイバーセキュリティの需要分析についてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2017年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/MD4B	
2018/9/11	MDD5-18	119	Strategic Analysis of the Renault-Nissan-Mitsubishi Alliance	ルノー・日産・三菱アライアンスの戦略的分析	2017年にルノー・日産・三菱アライアンスの乗用車 (LCV含む) 販売台数は1,060万台に達したと見られ、世界最大の自動車販売台数を誇る自動車グループとなりました。この結果は個々のアイデンティティを保持しつつ、アライアンスのシナジーが最大になるよう注力することにより実現されたと考えられます。本調査では、ルノー・日産・三菱アライアンスの戦略について分析を実施しています。具体的な内容としては、アライアンスの構造とブランドシナジー、アライアンスと競合他社の比較、技術開発や生産などのあらゆる分野における各ブランドの役割、アライアンスの将来戦略、アライアンスのパートナーシップについてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2014年から2023年までです。	https://store.frost.com/wip/MDD5	

FROST & SULLIVAN							フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)	
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL		
2018/9/7	PA1C-13	71	Saudi Arabia Logistics Industry— Growth Insights, Forecast to 2024	サウジアラビア物流市場見通し (～2024年)	サウジアラビアの物流市場は、増加する顧客側の需要や産業の変化、貿易の拡大に対応しながら急速に進化しています。政府による経済の多角化に関する取り組みは、小売、電子商取引、ヘルスケア、その他の非石油関連産業などのセクターでの事業機会を創出しています。本調査は、経済と貿易、貨物輸送とサウジアラビアの物流と倉庫業に関する主要な開発と動向を調査、分析し、提供しています。具体的には、サウジアラビアの経済と貿易を促進する主要な要因の概要の提供、輸送経済および物流セクターの役割の分析、効率性向上と物流コスト削減のための政府の実施策の特定、デジタル技術の進歩の分析、伝統的なサプライチェーンの変化、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査期間は2017年から2024年までです。	https://store.frost.com/wip/PA1C		
2018/9/6	K281-18	88	Impact of EVs and PHEVs on the North American Automotive Aftermarket, Forecast to 2025	北米におけるEVおよびPHEVのアフターマーケットへの影響 (～2025年)	本調査では、北米におけるEVおよびPHEVのアフターマーケットの予測について分析を実施しています。具体的な内容としてはEVによるアフターマーケット関連企業への金銭的損失、EVの普及により最も影響を受ける部品、フリードにおけるEVの普及率と産業界に与える影響、アフターサービス拠点のEV普及に対する対応についてまとめています。調査対象地域は北米、調査対象期間は2017年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/K281		
2018/9/4	MDBA-18	137	Mobility and Other Downstream Services Market, Forecast to 2030	モビリティおよび自動車業界における下流サービス市場見通し (～2030年)	デジタル革新は自動車業界に革命をもたらし、モビリティは個人消費から共同消費に移行しつつあります。自動車OEMはこの動向を取り入れ、シェアモビリティやコネクテッドカー、金融や物流などの様々な分野で新たな収益源を模索しています。また、カーシェアリングや配車サービス、タイミックチャトルなどのシェアモビリティサービスはグローバルに拡大しており、OEMはこれらのサービスを提供するモビリティスタートアップと提携し、独自のモビリティサービスを開始しています。本調査では、自動車産業の下落である自動車・モビリティサービス市場の将来見通しについて分析を提供しています。具体的には、24のサービスについて各市場の規模や2030年までの市場潜在性の推定、自律走行技術などの関連技術動向とその影響の理解、主要参入企業等についてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2017年から2030年までです。	https://store.frost.com/wip/MDBA		
2018/8/30	PA0E-18	80	Application of Big Data Analytics in Construction Industry, Forecast to 2022	建設業界におけるビッグデータ解析の応用 (～2022年)	ビッグデータサービスは、コネクティビティとインターネット利用者の増加、コネクテッドカーの急速な普及、ビッグデータ解析技術革新への投資によって建設業界で浮上しています。一方で、企業は依然としてこれらのソリューションを最大限活用できておらず、信頼性の高いデータソースの欠如、データセキュリティとプライバシーの問題、ビッグデータ関連スキルの欠如などが課題として挙げられます。本調査では、建設業界におけるビッグデータについて、エコシステムの概要や活用による業界の変化や課題、主要参入企業を中心に市場の見直しをまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2017年から2022年までです。	https://store.frost.com/wip/PA0E		
2018/8/30	9AB2-18_97	100	Future of Vehicle Subscription— Business Models and Opportunities in North America and Europe, 2025	欧米における将来の自動車サブスクリプション：ビジネスモデルと成長機会 (～2025年)	フロスト&サリバンは自動車サブスクリプションを新しいモビリティサービスとして位置付けています。自動車サブスクリプションはマイクロリースともいえるもので、通常月単位で車両所有権を得られますが、リースやカーシェアリングとは異なり今まで空白だった市場を埋めることが出来るかも知れません。本調査では、欧米における自動車サブスクリプションのビジネスモデルと成長機会について将来見通しを提供しています。具体的な内容としては、自動車サブスクリプション関連企業、車両タイプ（新車、中古車など）、ターゲット顧客とビジネスモデル、OEMとディーラーなどの提携、自動車サブスクリプションサービスの成功のための必須要件などについてまとめています。調査対象地域は欧米、調査対象期間は2016年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/9AB2-00-BC		
2018/8/27	K2E5-18	79	United States Automotive Technicians' Choice, 2017	米国における自動車整備士に対する調査：自動車整備用ツール (2017年)	今年9回目となる本調査では、米国における自動車整備用ツール（手動工具、電動工具、携帯用診断ツール、空気圧/空気工具、工具収納機器）の購買パターンを追跡しています。調査実施時期は2017年7月、調査対象者は自動車整備士476名です。回答者は週32時間以上勤務し毎週実際に車両整備を行っていることを必須条件としており、全米の自動車修理工場の代表者達です。店舗の種類は新車ディーラーの整備部門、フランチャイズの自動車修理工場や独立型の自動車修理工場です。本調査では、購入要因やブランド属性および主要ブランドの情報についてまとめています。	#N/A		
2018/8/22	MD31-18	123	Global Strategic Analysis of Usage-based Insurance Market for Passenger Vehicles, Forecast to 2025	グローバルにおける乗用車向け従量型保険 (UBI) 市場見通し (～2022年)	本調査ではグローバルにおける乗用車向け従量型保険 (UBI) 市場の分析と見直しを提供しています。具体的な内容としては、現在のUBIソリューションの概要と技術・地域別動向、主要参入企業とワイヤレスキャリアとスマートフォンサービスプロバイダの参入・サービス拡大による市場環境の進化、市場での成功のために必須となる提携などについてまとめています。調査対象地域はグローバル（北米、欧州、南米、インド、中国）、調査対象期間は2017年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/MD31		
2018/8/6	MDE8-18	78	European Carsharing Technologies Market, Forecast to 2022	欧州におけるカーシェア技術市場見通し (～2022年)	カーシェアリング技術は、単純な手動システムから複雑なコンピュータベースのシステムへと進化しています。現在、新車出荷時からアフターマーケット向けに至るまで、幅広い技術プロバイダーがカーシェアリング事業者向けにソリューションを提供しています。本調査では欧州のカーシェア技術市場についての見直しを提供しています。具体的な内容としては、2018年以降のカーシェア技術市場の発展、シェアモビリティ技術プロバイダーの成長に影響を及ぼす主要動向、主な市場参入企業とその競合状況、市場成長促進・阻害要因、今後恩恵を受けるモビリティビジネスモデル、技術プロバイダーにとっての市場機会などについてまとめています。調査対象地域は欧州、調査対象期間は2018年から2022年までです。	https://store.frost.com/wip/MDE8		
2018/8/1	P998-01	11	Indonesia Malaysia and Thailand Car Parc Database, Forecast to 2022	インドネシア、マレーシア、タイ自動車保有台数データベース (～2022年)	アセアンの自動車産業はいくつかの成長要因により、世界最大の自動車市場の1つとして浮上しています。この調査は、2010年から2022年のアセアン主要3ヶ国（インドネシア、マレーシア、タイ）における自動車保有台数の動向に関する調査です。具体的な内容としては、2022年までのアセアンの自動車保有台数に関し、国別、セグメント別に見直しを提供しています。なお、本データベースはExcel形式となっています。	https://store.frost.com/wip/P998		

FROST & SULLIVAN							フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)	
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL		
2018/7/30	MDC5-18	58	Opportunity for Non Traditional Telematics Providers in Truck Telematics Market, 2017	トラックテレマティクス市場における新興テレマティクス事業者の市場機会 (2017年)	2025年までにグローバルで7,310万台のトラックがインターネットに常時接続されると見られており、テレマティクスサービスの普及が進む見通しです。経済発展や規制の厳格化等のマクロ要因とあわせ自律走行トラックの出現、トラックOEMや受託製造業者、通信事業者、地図サプライヤー、タイヤメーカーといった新興テレマティクス事業者のトラックテレマティクスへの関心を高めています。本調査ではこれらの新興テレマティクス事業者の市場機会について分析を実施しています。具体的な内容としては、トラックテレマティクスのエコシステムとその動向、新興事業者の参入戦略やポートフォリオ、新興事業者にとっての市場機会と取るべき施策についてまとめています。調査対象地域は欧米、調査対象期間は2017年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/MDC5		
2018/7/26	9AB2-13_32	59	Technological Advancements in the High Speed Rail Industry—Growth Prospects and Emerging Opportunities, 2017	高速鉄道市場における技術進歩と成長機会 (2017年)	都市化の加速や都市圏・都市間モビリティの需要の増加は、エネルギー効率性の高い輸送サービスのニーズを牽引しています。2025年までに20以上のメガリージョンでスマート統合された輸送手段が形成されると見られ、中でも高速鉄道網は多くの国で都市間輸送のエネルギー効率性の向上や混雑解消に役立っています。本調査は主要国における高速鉄道市場の発展モデルについて分析を実施しています。具体的な内容としては、高速鉄道網の主な目的と機能、課題、開発プロジェクトの経済への影響、プロジェクト設計、投資、実行における注目点などについてまとめています。調査対象地域は日本、中国、韓国、台湾およびスペイン、調査対象期間は2010年から2025年までです。	https://store.frost.com/wip/9AB2-00-96		
2018/7/26	K2C2-18	125	Americas Fleet Managers' Desirability and Willingness to Pay for Fleet Management and Telematics Solutions, 2017	北米・中南米におけるフリートマネジメントサービス (FMS) に対する嗜好性・支払意欲調査 (2017年)	本レポートは、北米・中南米のフリート企業におけるフリートマネジメントサービス (FMS) やテレマティクスサービスに対する現在の認知度、嗜好性、支払意欲のレベルとその変化に関する消費者調査です。具体的には、フリートマネジメントに対する一般的な認知度、求められる機能やサービス、フリートテレマティクスサービスへの認知および支払意欲、ベンダー選定の主な基準と満足度、コネクテッドトラックのニーズなどについて調査し考察を提供しています。本調査は合計210社のフリートマネジメントサービスの意思決定者または主要関係者へのインタビュー結果に基づいており、調査対象地域は北米・中南米 (米国、カナダ、メキシコ、ブラジル)、調査対象期間は2017年です。	https://store.frost.com/wip/K2C2		
2018/7/26	MDB9-18	82	Competitive Benchmarking of Corporate Mobility Solutions of Key OEMs and Leasing Companies in Europe, 2017	欧州における自動車OEM・リース企業の法人向けモビリティサービスの競合分析 (2017年)	世の中は製品からサービスへと移行しつつあり、個人向けカーシェアやライドシェア、ライドヘイリング (タクシー配車) 等の新たなモビリティサービスのビジネスモデルが、法人専用開発され、法人向け出張/移動手段へと統合されつつあります。都市部における自動車やフリート管理サービスは、今後は法人向けカーシェア等のモビリティソリューションに統合されるでしょう。本調査は欧州における法人向けモビリティサービス市場についてまとめ、分析を提供しています。具体的にはサービスタイプの事業者の概要、主要な市場成長促進要因と市場動向などについてまとめ、特に主要OEMやリース企業が提供するサービスや将来の戦略に焦点を当てています。対象とする市場は、自動車リース・レンタカー、従来型/PPF/法人向けカーシェア、ライドヘイリング (タクシー配車)、燃料/モビリティカード、コネクテッドカーです。調査対象地域は欧州、調査対象期間は2017年から2018年までです。	https://store.frost.com/wip/MDB9		
2018/7/24	K254-18	51	Top 5 Auto OEMs and Auto Market Analysis, 2017~2020	自動車OEM主要5社および自動車市場の動向見直し (2017~2020年)	変化する消費者の需要に応えるために、自動車産業は世界的に競争が激化しています。社会的、経済的、技術的変革が世界の乗用車市場の転換をもたらしており、自動車OEMやTier1のビジネスモデルに大きな影響を与えています。このような中で、事業収益性を高めるためには自動車産業の動向の理解が必要不可欠です。本調査では、主要自動車OEM5社と自動車市場について分析を実施しています。具体的な内容としては、グローバル乗用車市場の概要と販売台数予測、主要市場におけるOEM別シェア推移、外的環境の変化、市場成長促進要因、市場成長可能性などについてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2013年から2020年までです。	https://store.frost.com/wip/K254		
2018/7/23	P97E-18	92	Infotainment and Connected Car Outlook for India	インドにおけるインフォテインメントおよびコネクテッドカーの見直し (～2021年)	インドにおける生活水準の向上、可処分所得の高い将来有望な中間層、インターネットの普及は、同国の乗用車向けインフォテインメントシステム市場の主な成長要因です。本調査では、インドにおけるインフォテインメントおよびコネクテッドカー市場の概要について分析を実施しています。具体的な内容としては、インドにおけるインフォテインメントおよびコネクテッドカー市場に影響を及ぼすメガトレンド、インフォテインメントやコネクテッドカーシステムにおける量産および市販向け市場機会、量産向けの現行普及率、新技術動向、量産・市販市場向けサプライヤーなどについてまとめています。調査対象地域はインドで、調査対象期間は2009年から2021年までです。	https://store.frost.com/wip/P97E		
2018/7/20	K1DC-13	102	US Rail Axle Bearings and Seals Market, Forecast to 2024	米国における鉄道用軸受およびシール市場予測 (～2024年)	軸受は鉄道車両の円滑な運行や輸送される商品や人の安全を確保するための重要な部品です。また、低騒音、高負荷容量、長寿命の実現が鉄道用軸受けに期待されています。本調査では、米国の鉄道用軸受とシール市場について分析を実施しています。具体的な内容としては、米国の鉄道用軸受け事業に関し参入企業に要求される標準規格や規制、同市場でのシェア獲得において考慮すべき主要な要因、市場参入メトリック、製品別需要予測、市場の課題と対策などについてまとめています。調査対象地域は米国、調査対象期間は2015年から2024年までです。	https://store.frost.com/wip/K1DC		
2018/7/18	MDBC-18	403	Intelligent Mobility, 2018	インテリジェントモビリティ (2018年)	本レポートは2018年7月にロンドンにて開催されたフロスト&サリバンの2日間にわたるワークショップイベントである「インテリジェントモビリティ」にて発表されたプレゼンテーション資料をまとめたものです。資料には、イベントのホストであるフロスト&サリバン/欧州チームのプレゼンテーションをはじめ、タイムラー、BMW、フォルクスワーゲン、DHL、Ormoove、Otonomo、BlaBlaCarなど多くの他の企業からのプレゼンテーションが含まれています。なお、このワークショップの目的は、新モビリティビジネスモデルと自動車産業のデジタル化の影響を分析することにあります。	https://store.frost.com/wip/MDBC		
2018/7/16	MCF6-18	61	European Consumers' Attitudes towards Diesel, Hybrid and Electric Cars—Key Findings, 2016	欧州におけるディーゼル、ハイブリッド、電気自動車に対する消費者嗜好度 (2016年)	本調査では、欧州におけるディーゼル、ハイブリッド、電気自動車に対する消費者嗜好度について分析を実施しています。具体的な内容としては、車両購入時の判断基準やパワー/レイン機能が車両選択に与える影響、次回新車購入時におけるディーゼルの関心度、ディーゼル車に対する消費者の印象の変化、VWの排出ガス不祥事による消費者の印象への影響、xEV (HEV、PHEV、BEVなど) に対する消費者の認知度、xEVの購入検討理由、xEVの認知度の変化などについてまとめています。調査対象地域は欧州、調査対象期間は2016年です。	https://store.frost.com/wip/MCF6		

FROST & SULLIVAN							フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)	
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL		
2018/7/9	9AB2-18_96	53	Selective Profile of Customer Choices in Vehicle Purchasing by Gender, NA and EU, Forecast to 2020	欧米における自動車購入の性別消費者選好度 (2016年)	自動車OEMは常に顧客が求める機能を提供するべく努めています。性別による新車購入時の選好度の差がOEMの対応を複雑化させています。そのため、性別による新車購入時の選好度を調査することにより、OEMはより顧客の求めている自動車の設計が可能となります。本調査では、欧米における新車購入時の性別による消費者の選好度の違いについて分析を実施しています。具体的な内容としては、性別により重視する新車購入時のパラメータ (デザイン、技術、ブランドなど)、北米と欧州における選好度の違い、顧客が新車に求める技術・機能の優先順位、性別や国毎の新技術に対する適応力の違いなどについてまとめています。調査対象地域は北米および欧州、調査対象期間は2016年から2020年までです。	https://store.frost.com/wip/9AB2-00-C4		
2018/7/9	MDD6-18	123	Competitive Profiling of Key Aftermarket Buying Groups and Distributors in the EU5, 2017	欧州5ヶ国における主要アフターマーケット協同組合およびディストリビューターのプロファイル (2017年)	近年、欧州におけるアフターマーケット部品の流通が急激に拡大しています。欧州には大手OES (純正交換部品サプライヤー) が多く存在しており、自社の企業理念に沿ったアフターマーケット協同組合やディストリビューターを探しています。本調査では、欧州5ヶ国の主要なアフターマーケット協同組合およびディストリビューターのプロファイルをとらえています。具体的な内容としては、自動車アフターマーケットにおける部品流通の概要、欧州5ヶ国における主要な協同組合とディストリビューター、メガトレンドと市場に与える影響、アフターマーケット部品の主要サプライヤー、アフターマーケットの流通構造が地域の社会、政治に与える影響などについてまとめています。調査対象地域は欧州5ヶ国 (英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン)、調査対象期間は2018年から2024年までです。	https://store.frost.com/wip/MDD6		
2018/7/6	9AB2-18_95	53	Assessment of Indonesian Auto Leasing and Car Rental Market	インドネシアにおける自動車リースおよびレンタカー市場の評価分析 (～2022年)	インドネシアは東南アジア最大の自動車リースおよびレンタカー市場です。しかし上位8社の市場シェアは4分の1に過ぎず、市場は依然として細分化されています。そのほかにも課題がいくつか存在していますが、モビリティニーズの拡大、法人向けの認知度の上昇、中間顧客の増加などの要因が、この2つの市場を牽引すると予想されます。本調査では、インドネシアの自動車リースおよびレンタカー市場について評価分析を実施しています。具体的な内容としては、リース・レンタカー市場台数規模や比率などの市場概要、現在および将来動向、セグメント・企業別市場シェア、主要企業プロファイル、市場成長促進・阻害要因、将来の市場見通しについてまとめています。調査対象地域はインドネシア、調査対象期間は2017年から2022年までです。	https://store.frost.com/wip/9AB2-00-C1		
2018/7/4	K282-18	79	Category Management— Replacement Demand Analysis for Class 1-3 Selected Gaskets in North America, 2017-2024	北米カテゴリ別調査：クラス1～3向けガスケット部品のアフターマーケット見直し (2017～2024年)	自動車保有台数の増加や平均車齢の上昇に伴い、北米におけるガスケットのアフターマーケットは、今後数年間で堅調な成長すると見られます。ガスケット市場はすでに成熟段階にあり市場の統合が進むものの、単価上昇により売上高は比較的高い成長を見せる見込みです。本調査では、北米におけるクラス1～3向けガスケットのアフターマーケットについて分析を実施しています。具体的な内容としては、ガスケットの出荷数量や平均価格、流通チャネル別市場シェア、サプライヤー別市場シェアについてまとめています。調査対象地域は北米 (米国、カナダ)、調査対象期間は2014年から2024年までです。	https://store.frost.com/wip/K282		
2018/6/21	MD2F-18	61	Executive Analysis of BMW's Global Powertrain Strategies, Forecast to 2030	BMWのグローバルパワーtrain戦略分析 (～2030年)	次世代の排出ガス目標や変化する顧客の要望に対応するために、パワートレインの変革は必要不可欠です。またパワートレインのみならず、エンジン技術、トランスミッション技術、ハイブリッド・EV技術における戦略も重要といえます。本調査では、BMWのグローバルパワートレイン戦略について分析を実施しています。具体的な内容としては、BMWの将来のディーゼルエンジンとRDE (Real Driving Emission=実路走行排気)試験に対する計画、パワートレインのモジュール化とCO2排出量への影響、電動化ロードマップ、パワートレインと将来エンジン、トランスミッション戦略についてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2017年から2030年までです。	https://store.frost.com/wip/MD2F		
2018/6/20	P9EC-18	125	Smart Farming and Internet of Things (IoT) Applications in ASEAN Countries, Forecast to 2022	アセアンにおけるスマート農業とIoTの応用 (～2022年)	OECDの報告によると、世界的な人口増加に対応するために2050年には食糧生産量を現在に対し70%増加させる必要があり、この問題を解決するために農業や関連企業、政府機関はIoTやスマート農業に目を向けています。本調査では、アセアン諸国のスマート農業とIoTの応用について分析を実施しています。具体的には、農業ロボットとドローン、精密農業、農場管理情報システム、スマート物流・倉庫、スマートグリーンハウス (スマート温室)、家畜モニタリング、廃棄物管理、スマート灌漑技術、デジタル市場、機械モニタリングと予報について、これら農業分野におけるIoTの応用について分析しています。調査対象地域はアセアン (タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナム、シンガポール、ミャンマー、カンボジア、ラオス、ブルネイ)、調査対象期間は2017年から2022年までです。	https://store.frost.com/wip/P9EC		
2018/6/14	MDEE-18	111	2017 European Fleet Managers Desirability and Willingness to Pay for Fleet Management Solutions— France, Germany, the UK, Italy, and Poland	欧州におけるフリートマネジメントサービス (FMS) に対する嗜好性・支払意欲調査 (2017年)	本レポートは、欧州のフリート企業におけるフリートマネジメントサービス (FMS) やテレマティクスサービスに対する現在の認知度、選好度、支払意欲のレベルとその変化に関する消費者調査です。具体的には、フリートマネジメントに対する一般的な認知度、求められる機能やサービス、フリートテレマティクスサービスへの認知および支払意欲、ベンダー選定の主な基準と満足度、コネクテッドトラックのコースなどについて調査結果を提供しています。本調査は合計206社のフリートマネジメントサービスの意思決定者または主要関係者のインタビュー結果に基づいており、調査対象地域は欧州 (ドイツ、フランス、英国、イタリア、ポーランド)、調査対象期間は2017年です。	https://store.frost.com/wip/MDEE		
2018/6/11	P9ED-18	122	ASEAN Automotive Outlook, 2018	アセアン自動車市場の見直し (2018年)	本調査ではアセアン自動車市場の動向を、マレーシア、インドネシア、タイの3つの主要市場に焦点を当てて詳細に分析しています。具体的な内容としては、主要市場動向を含む2018年のアセアン自動車市場の見直し、マレーシア、インドネシア、タイの各市場の2017年合計販売台数、2017年と2018年のセグメント別内訳と主要OEM市場シェア、2017年の主要市場動向とまとめを含みます。調査基準年は2017年とし、2018年の予測を提供しています。	https://store.frost.com/wip/P9ED		
2018/6/8	MD5A-18	101	Strategic Analysis of the Global Demand-Responsive Transit (DRT) Market, Forecast to 2030	世界のデマンド型交通 (DRT) 市場分析 (～2030年)	従来の公共交通機関の形態は何十年も変わっておらず、その本質的な問題もいまだに解決されていません。固定時刻・路線の従来型輸送モデルは人口密集地域では効率的ですが、過疎地域では効率的とは言えません。本調査では、グローバルのデマンド型交通 (DRT) 市場について分析を実施しています。具体的な内容としては、グローバルにおけるDRT市場の主要参入事業者、今後5～10年後の市場発展見直し、従来型ビジネスモデルとの違い、DRTサービス価格モデル、主要テーマと主な市場成長促進要因、関連企業と市場構造、2017年から2030年までの市場成長予測、DRT市場に対し自動運転車、カーシェア、および電気自動車と与える影響、DRT普及に向けたバス市場関連規制の対応についてまとめています。調査対象地域はグローバル (北米、欧州、中南米、アジア、アフリカ)、調査対象期間は2018年から2030年までです。	https://store.frost.com/wip/MD5A		

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)					
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL	
2018/5/31	K289-18	58	India Class 1-3 Brake Friction Components Aftermarket, Forecast to 2024	インドにおけるクラス1~3トラック向けブレーキ部品のアフターマーケット見直し (~2024年)	インドでは車両保有台数の増加に加え、劣悪な道路状況や質の低い燃料の使用による整備需要の高さから、ブレーキ部品のアフターマーケットが今後数年間で拡大することが予想されます。本調査では、インドにおけるクラス1~3トラック向けブレーキ部品のアフターマーケットの見直しを提供しています。具体的な内容としては、アフターマーケットにおけるブレーキ部品のクラス別販売台数および販売金額、各クラスのブレーキ部品の価格推移、インドにおけるブレーキ部品のサプライチェーンの動向と各クラスにおける主要サプライヤーについてとまとめています。調査対象地域はインド、調査対象期間は2018年から2024年までです。	http://www.frost.com/k289	
2018/5/25	9AB2-18_94	134	Profiles of Key e-Hailing Companies in ASEAN, 2018	アセアンにおけるEヘイリング企業プロフィール (2018年)	アセアンにおけるEヘイリング (オンライン配車) サービスは短~中距離の新たな移動手段として急成長しており、都市部では主要な移動手段になることが予想されます。本調査では、アセアンにおけるEヘイリングサービス戦略の概要についてとまとめています。具体的な内容としては、アセアン各国のEヘイリングサービスの主要動向や主要各社の提供するサービス概要と種別および利用料金についてとまとめています。調査対象地域はアセアン、調査対象期間は2018年です。	http://www.frost.com/q298550588	
2018/5/22	9AB2-18_93	75	Strategic Analysis of the Chinese Ride Sharing Market, Forecast to 2025	中国のライドシェア市場見直し (~2025年)	中国では2017年におよそ200億回ものライドシェアリングサービスが利用され、同年の会員数は約2億人に達しています。本調査は、中国ライドシェア市場の見直しについて分析を実施しています。具体的な内容としては、ライドシェアサービスを取り巻くビジネス環境、ライドシェアサービスの現在および将来動向、主なビジネスモデルと2025年における市場規模予測、ライドシェア市場の発展に影響を与える主な成長促進および阻害要因、ライドシェアビジネス関連の政策および規制、ライドシェア市場に影響を及ぼす自動運転などの技術発展などについてとまとめています。調査対象地域は中国、調査対象期間は2018年から2025年までです。	http://www.frost.com/q298544615	
2018/5/18	9AB2-18_92	67	Alibaba in the Automotive Market in China, 2017-2025	中国自動車市場におけるアリババ (2017~2025年)	本調査では中国の自動車市場で新しい波を起こしつつある、アリババについて分析を実施しています。具体的な内容としては、自動車業界におけるアリババのEコマースの機会、業界参入企業と消費者に提供される主なメリットとその影響、主な価格モデルとコストモデル、自動車業界におけるアリババの長期的な発展見直し、自動車業界における付加価値や核となるサービスおよび市場への影響、新車・中古車・部品小売セグメントにおけるビジネス展開についてとまとめています。調査対象地域は中国 (香港、マカオ、台湾除く)、対象期間は2017年から2025年までです。	http://www.frost.com/q298539499	
2018/5/16	9AB2-18_91	36	US Rear Autonomous Emergency Braking System Market, 2017	米国における後退用自動ブレーキシステム市場 (2017年)	NHTSAの推計では、2014年から2015年で、後退中事故により210人が死亡し、15,000人以上が負傷しています。現在の後方物検出システムは、動く人間や物体の検出について信頼性の問題があります。本調査では、米国における自動車用後退中自動ブレーキシステム市場について分析を実施しています。具体的な内容としては、OEMが後退中自動ブレーキシステムを導入する上での技術的な課題や、米国運輸省道路交通安全局 (NHTSA) による予防安全性能評価の改定と後退中自動ブレーキシステムの普及率への影響、OEMにとっての導入メリット、ブレーキシステム用センサーの動向などについてとまとめています。調査対象地域は米国、調査対象期間は2017年から2023年までです。	http://www.frost.com/q298536036	
2018/5/9	MDA8-18	79	European Category Management Report—Automotive Steering Components Aftermarket, Forecast to 2024	欧州カテゴリ別調査：自動車用ステアリング関連部品のアフターマーケット見直し (~2023年)	欧州のステアリング関連部品のアフターマーケットは、今後数年で成長が緩やかになると見込まれています。本調査では、欧州の自動車用ステアリング関連部品のアフターマーケットの見直しを提供しています。具体的な内容としては、ボールジョイント、スタビライザー、タイロッドエンド、およびコントロールアームの4つの製品タイプについて、出荷台数、売上、平均価格、流通チャネルシェア、および主要市場参入企業の市場シェアについてとまとめています。調査対象地域は欧州 (EU28か国)、対象期間は2018年から2024年までです。	http://www.frost.com/mda8	
2018/5/7	MD9A-18	65	M&A, Investment Trends and Opportunities in the Global Mobility Space, 2017	世界のモビリティ市場におけるM&A、投資動向と機会 (2017年)	全世界におけるシェアモビリティ市場は急速に拡大し続けています。過去数年間でシェアモビリティビジネスモデルへの需要が拡大し、数多の革新的なスタートアップ企業にとって環境が整えられたと言えます。本調査では、世界のモビリティ市場におけるM&Aと投資の動向と機会についてとまとめています。具体的な内容としては、ベンチャーキャピタリストや潜在的な投資家が、スタートアップ企業に投資する際の主な評価基準、スタートアップ企業がシェアモビリティ市場に参入する際に鍵となる市場とその動向、OEMの投資パターン、モビリティサービスのバリューチェーンの鍵となる市場参入企業のビジネスモデル、市場の将来動向についてとまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2015年から2025年までです。	http://www.frost.com/md9a	
2018/5/4	MC38-18	91	Russia Light Vehicle Market, Forecast to 2023	ロシアの乗用・小型商用車市場見直し (~2023年)	ロシアの経済と法規制環境の変化は、自動車分野に変化をもたらしました。ロシア市場が景気回復期に突入り、OEMやディーラーなどの主要参入企業は新たな機会を利用して長期戦略を策定する準備を行っています。本調査では、ロシアの乗用・小型商用車市場について見直しを提供しています。具体的な内容としては、ロシアにおける国内自動車市場の概要と主な動向、経済状況と近年の景気後退による生産・販売台数への影響、ロシアの自動車市場における競合状況と今後の変化、主要な成長分野、OEMが取りうる措置、スベアパーツ市場の主な特徴、主要なディーラーグループとその動向などについてとまとめています。調査対象地域はロシア、調査対象期間は2018年から2023年までです。	http://www.frost.com/mc38	
2018/5/2	9AB2-18_90	79	EU Vehicle Taxation Policy and its Impact on Used-Car Imports in New Member Countries	欧州の自動車税制政策と新規加盟国の中古車輸入に与える影響	この調査では、EU28か国における自動車課税政策と、EU新加盟国における中古車輸入に与える政策の影響について概要をまとめています。具体的な内容としては、EUの課税枠組みにおいて鍵となる原則と課題、EU主要国での課税規制の発展、EU加盟以前から現在までのポランドとルーマニアの自動車市場の発展過程、各国のEU加盟後に変更された事項、EUの新旧自動車課税規制、EU中古車市場の潜在的な成長戦略についてとまとめています。調査対象地域はEUで、調査対象期間は2001年から2016年までです。	http://www.frost.com/q298590989	

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2018/4/27	MD81-18	76	Automotive ECUs for ADAS and Autonomous Driving Systems, North America and Europe, 2017	先進運転支援システム (ADAS) と自動運転システム用ECU市場 (欧米、2017年)	将来的な半自動運転から完全自動運転への移行において、自動車電気電子 (E/E) アーキテクチャの変化が注目されています。本調査では、欧米市場における先進運転支援システム (ADAS) と自動運転システム向けエンジンコントロールユニット (ECU) について分析を実施しています。具体的な内容としては、ADAS向けのECU市場の成長、中央集約型E/Eアーキテクチャの種類、自動運転向けシステム開発のプラットフォーム、自動運転システム統合の牽引役と現行製品、完全自動運転の開発に向けたOEMのアプローチなどについてまとめています。調査対象地域は欧州、北米、調査対象期間は2017年から2025年までです。	http://www.frost.com/md81
2018/4/24	MDB4-18	90	Global Connected Car Market Outlook, 2018	世界のコネクテッドカー市場の見通し (2018年)	本レポートではコネクテッドカーの成長機会、地域別動向、HMI、車間・路車間通信 (V2X)、衛星通信、仮想アシスタント、OTAアップデートなどの技術見通しについてまとめています。主なデータ活用事例としては、データ収益化、パーソナルアシスタントによる音声認識などの生体認証/HMI、ソフトウェア定義の自動車 (Software Defined Car) についてまとめています。また、2017年から2023年までのコネクテッドカー販売台数予測およびHMI技術の普及率予測も提供しています。更に、グローバルにおけるテレマティクス加入者数とGENIVI Linux、QNX、Android、Microsoftなどの自動車用オペレーティングシステムの市場シェアについてもあわせて予測を提供しています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2017年から2023年までです。	http://www.frost.com/mdb4
2018/4/23	MDBB-18	54	Global Mobility Industry Outlook, 2018	世界のモビリティ産業見通し (2018年)	本調査では、世界のモビリティ市場について、市場の主要動向、進化するビジネスモデル、市場統合と提携、規制緩和、技術動向などの観点から分析・予測を提供しています。また、本レポートではシェアモビリティ市場に適した車両セグメントや自動運転技術による市場への影響についても言及しています。調査対象サービスは、従来型・P2P・法人向けカーシェアリング、eヘイリング (オンラインタクシー配車サービス)、ライドシェアリング、タイナミックシャトル/オンデマンドバス、統合型モビリティなど、各ビジネスモデルの市場規模や市場参入企業などについてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2015年から2018年までです。	http://www.frost.com/mdbb
2018/4/19	9AB2-18_89	36	Mapping of European Premium OEM's LED Headlight Suppliers, 2017	欧州ラグジュアリーOEM向けLEDヘッドライトサプライヤーの概要 (2017年)	LEDは、発光量や耐用年数、省エネルギー性、サイズやデザインの柔軟性により、世界中の自動車メーカーが関心を高めています。本調査では、欧州のラグジュアリーOEM向けLEDヘッドライトサプライヤーについてまとめています。具体的な内容としては、OEM要求によるLEDドライバの標準化動向や各OEMにおけるモデル別LEDヘッドランプモジュール、ヘッドランプECUサプライヤーのリストを提供しています。調査対象は欧州のラグジュアリーOEM (アウディ、BMW、メルセデスベンツ)、調査基準年は2017年です。	http://www.frost.com/q298482033
2018/4/18	9AB2-18_88	78	China Luxury Car Market, Forecast to 2025	中国のラグジュアリー車市場予測 (~2025年)	中国は世界最大の自動車市場であり、2017年には国内乗用車市場の10.3%を高級車が占めています。また、同市場は2017年から2025年にかけて年平均5.4%で成長すると予測されます。本調査では、中国における高級車市場見通しについて分析を実施しています。具体的な内容としては、将来の中国の高級車市場の主要動向、ラグジュアリーOEMの主力セグメントやモデル、変化する顧客ニーズに対するOEMの戦略、自動運転やビッグデータといった技術動向についてまとめています。調査対象地域は中国 (香港、マカオ、台湾除く)、調査対象期間は2017年から2025年とし、調査基準年は2017年です。	http://www.frost.com/q298481763
2018/4/16	MD08-18	109	Global OEM Aftersales 2.0—Comparative Benchmarking of Adoption of New Parts and Service Business Models, 2017	世界の自動車OEMアフターセールス2.0 : 新興ビジネスモデルの比較分析 (2017年)	平均車齢の上昇とそれに伴うコストの増加により、高齢車は独立系アフターマーケットに移行しています。自動車OEMは市場シェアを維持するため、戦略的なアフターセールス事業を展開する必要があります。本調査では、世界における自動車OEMのアフターセールスの現在および将来動向について分析を実施しています。具体的な内容としては、自動車アフターマーケットにおいてOEMが抱える主要な課題とその解決策、主要OEMのビジネスモデルとサービス、2030年までの自動車アフターセールス市場の見通しについてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2016年から2024年までとし、調査基準年は2017年です。	http://www.frost.com/md08
2018/4/11	MD61-18	377	Intelligent Mobility, 2017	インテリジェントモビリティ3.0 (2017年)	本レポートは、2017年6月にロンドンにて開催されたフロスト&サリバンの2日間にわたるワークショップイベントである「インテリジェントモビリティ3.0」にて発表された全てのプレゼンテーション資料をまとめたものです。資料には、イベントのホストであるフロスト&サリバン欧州チームのプレゼンテーションをはじめ、ダイムラー、GM、TomTom、Arriva Miraなど多くの企業からのプレゼンテーションが含まれています。なお、このワークショップの目的は、自動車および輸送業界におけるコネクテッド性とモビリティが与える影響を分析し、広域化するモビリティソリューションを提供する新興のビジネスモデルを特定し議論することにあります。	http://www.frost.com/md61
2018/4/4	K259-18	108	Latin American Passenger Vehicle Market Outlook, 2018	ラテンアメリカ乗用車市場 (2018年)	ラテンアメリカの乗用車市場は、社会的、経済的、技術的革新により大きく変化しています。本調査では、主要ラテンアメリカ諸国の乗用車市場の2018年の動向について明らかにしています。具体的な内容としては、国別の乗用車市場販売台数、パワートレイン・電動化、コネクテッドカー、中古車、モビリティサービス、アフターマーケットについてまとめており、同地域における市場成長機会についても言及しています。調査対象地域はアルゼンチン、ブラジル、チリ、コロンビア、メキシコ、ペルーで、調査対象期間は2016年から2018年、基準年は2017年です。	http://www.frost.com/k259
2018/4/2	P9EB-18	107	Hybridization Trends in the Global Off-highway Vehicle Market, 2017-2025	グローバルオフハイウェイ車市場におけるハイブリッド化動向 (2017~2025年)	オフハイウェイ車OEMやサプライヤーは、排出規制強化や燃費向上に対する需要に応えるため、幅広いハイブリッド技術を開発しています。本レポートは、世界の主要オフハイウェイ車市場におけるハイブリッド化動向に関する調査です。具体的な内容としては、2025年までの地域別のハイブリッドオフハイウェイ車市場予測、オフハイウェイ車向けハイブリッドパワートレイン技術見通し、市場成長促進要因と課題、市場成長機会についてまとめています。調査対象地域はグローバル (北米、欧州、アジア、その他)、調査対象期間は2017年から2025年までとし、調査基準年は2017年です。	http://www.frost.com/p9eb

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)					
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL	
2018/4/2	9AB2-18_87	98	Analysis of Passenger Vehicle Pricing Strategies in Brazil, 2017	ブラジルにおける乗用車価格戦略 (2017年)	ブラジルの自動車市場は、歴史的に好調だった2012年から2013年の状況から悪化する一方、2017年から2018年の市場は安定し、2019年に向けて成長し続けるとされています。本レポートは、ブラジルにおける乗用車の価格戦略について分析したものです。具体的な内容としては、2012年から2017年のブラジルでの乗用車の価格変動分析 (OEM、モデル、車両セグメント、燃料タイプ別) とOEMの競合状況、OEMの価格戦略、2023年までのブラジルの乗用車価格に影響を与える主要因の特定および分析、将来の成長機会と戦略についてまとめています。調査対象地域はブラジル、調査対象期間は2012年から2023年までです。	http://www.frost.com/q298460823	
2018/3/27	MDAB-18	148	Global Electric Vehicle Market Outlook, 2018	世界のEV市場の見通し (2018年)	この調査ではグローバル、特に欧州、北米、中国、日本、韓国といった主要市場における2017年の電気自動車 (EV) 市場の分析についてまとめ、2018年の動向を明らかにしています。地域別分析では、バッテリー電気自動車 (BEV) およびプラグインハイブリッド車 (PHEV) といったタイプ別の2017年販売実績と2018年の予測を提供しています。また、充電インフラの開発と各OEMで採用した充電規格、航続距離や機能、およびバッテリーに関する様々な技術の採用についても説明しており、2018年に地域別に市場がどのように変化するかについてもまとめています。	http://www.frost.com/mdab	
2018/3/23	MDC7-18	81	Global Powertrain Outlook 2018	世界のパワートレイン市場見通し (2018年)	2017年は、排出ガス規制、燃費規制の強化や試験サイクルの改定により、複数の自動車OEMが電動化や代替パワートレイン、将来型ディーゼルエンジンといった、パワートレインの将来について発表しました。本調査では、パワートレインの短期~長期的な変化について、2017年の主要動向をもとに分析を提供しています。具体的には、主要国別のパワートレイン別車両販売台数やメーカー別EV販売台数、パワートレイン関連技術採用動向などについてまとめています。調査対象地域はグローバル (欧州、北米、トルコ、インド、日本、中国、ブラジル)、調査対象期間は2017年から2018年までです。	http://www.frost.com/mdc7	
2018/3/22	K26F-18	160	Global Automotive Industry Outlook, 2018	世界の自動車産業見通し (2018年)	本レポートはグローバルにおける自動車産業の2018年の見通しを提供しており、2017年の各地域の市場変化のまとめと2018年の市場を予測・分析しています。また、主要OEMのターゲット市場およびセグメントにおける優位化戦略を掘り下げ、2018年の技術動向を紹介し、具体的にはパワートレイン、EV、コネクティビティ、テレマティクス、アフターマーケット、モビリティソリューションに関して詳細な情報を提供しており、成長機会および主要成功要因についてまとめています。本レポートは、OEM、レンタカー・フリートリース、金融サービス、カーシェアリング、技術ソリューションプロバイダーといった自動車サプライチェーン全体、および現在の自動車産業の動向とその影響について理解したい他業種の方々にとって有益な情報を整理しています。	http://www.frost.com/k26f	
2018/3/19	K260-18	101	Analysis of Passenger Vehicle Pricing Strategies in Mexico, 2017	メキシコにおける乗用車の価格戦略分析 (2017年)	本レポートは、メキシコにおける乗用車の価格戦略について分析したものです。レポートは3つのセクションに分かれており、第1部では、現在のメキシコ市場における自動車価格構造に影響を与える主要要因や、メキシコにおけるGDP、一人当たりGDP、インフレ率、失業率、為替レート、自動車販売実績など、マクロ経済的な主要指標に基づき分析しています。また、第2、第3部では、車両セグメントや自動車OEM別の車両価格動向に焦点を当てて分析しています。調査対象期間は2012年から2017年までです。	http://www.frost.com/k260	
2018/3/19	MD66-18	81	Global Fleet Vehicle Leasing Market Outlook, 2018	世界のフリートリース市場見通し (2018年)	車両リース市場は企業のモビリティニーズやフリート管理、車両コスト、リスク管理などの、増加する課題に対する解決策として成長しています。本調査では、グローバルにおけるフリートリース市場について、乗用車および小型トラック向けフリートリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。具体的な内容としては、主要国別の市場構造や主要トレンド、参入企業別のシェアと市場台数規模、グローバルにおける今後の動向と見通しについてまとめています。調査対象期間は2013年から2021年までです。	http://www.frost.com/md66	
2018/3/15	K24A-18	82	Global Autonomous Driving Market Outlook, 2018	世界の自動運転車市場見通し (2018年)	2018~2019年は、レベル3の自動運転車の市場投入が見込まれており、ドライバーが運転に関与しない真の自動化に向けたスタート年と言えます。現在、多くの大手自動車OEMやティア1サプライヤーは、コネクティビティ、自動運転、電動化の3つの柱の融合に焦点を当て、アプリケーションを開発しています。本レポートでは、グローバルにおける自動運転車市場について、市場・技術動向、メーカー別開発ロードマップ、主要地域別の動向と自動運転車の普及見通しなどをまとめています。調査対象期間は2017年から2030年までです。	http://www.frost.com/k24a	
2018/3/14	K275-18	95	Global Medium-Heavy Commercial Vehicle Market Outlook, 2018	世界の中・大型商用車市場見通し (2018年)	グローバルにおける中・大型トラックの販売台数は、2016年から2017年にかけて29%増加しました。この成長は、前年比100万台以上、62.8%増と高い成長率を記録した中国や、同成長率が55.1%のロシア、41%のネパールのほか、23%のインドが主に牽引しています。2018年には、北米、南米、ロシア、ネパールのほか、その他の市場の成長はプラスとなる一方、中国の販売台数は2017年に比べ減少する見込みです。本レポートでは、2018年のグローバルにおける中・大型トラック市場について、注目すべき新製品やサービス領域、主要新技術、地域別のパワートレイン技術普及動向などについてまとめています。調査対象期間は2017年から2025年までです。	http://www.frost.com/k275	
2018/3/13	MDC0-18	147	Global Strategic Analysis of Charging Technologies for Electric Vehicles, Forecast to 2025	世界のEV充電技術分析 (~2025年)	バッテリー電気自動車 (BEV) やプラグインハイブリッド車 (PHEV) などの電気自動車 (EV) は、持続可能な代替輸送手段として普及が進められています。本調査では、グローバルにおけるEV充電技術について分析を実施しています。具体的な内容としては、EV充電に関する現在および将来動向、EV販売台数増加がAC (交流) 充電、DC (直流) 急速充電や非接触充電市場に与える影響、主要自動車OEMやサプライヤー動向、国別の充電インフラ整備状況と今後の見通しについてまとめています。調査対象地域はグローバル (北米、欧州、韓国、日本)、調査対象期間は2014年から2025年までです。	http://www.frost.com/mdc0	

FROST & SULLIVAN							フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)	
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL		
2018/3/13	K1E4-18	109	Pneumatic Disc Brakes Driving Growth in the North American Class 4-8 Brake Components Aftermarket, Forecast to 2024	北米におけるクラス4~8向けブレーキ関連部品のアフターマーケット見通し (~2024年)	北米のクラス4~8向けブレーキ部品のアフターマーケットは、ブレーキパッドやローターサプライヤーにとって大きな成長の可能性を秘めています。クラス4~8向けブレーキ部品のアフターマーケットの全体市場規模は、2017年の約11.8億米ドルから2024年には13.6億米ドルに増加する見込みですが、中でも空気圧ブレーキパッドやローターの市場が急速に拡大見込みです。本レポートでは、北米のクラス4~8向けブレーキ部品アフターマーケットについて、主要な市場動向を提供しています。調査対象期間は2014年から2024年、調査基準年は2017年です。	http://www.frost.com/k1e4		
2018/3/6	K1FA-18	100	Global Connected Truck Telematics Outlook, 2018	世界のコネクテッドトラック市場見通し (2018年)	本レポートは2018年のグローバルにおけるコネクテッドトラック市場の見通しを分析しています。具体的な内容としては、2017年から2018年のテレマティクス市場を牽引する主要動向、地域別 (欧州、北米、中南米、中国、南アフリカ、インド、ロシア、トルコ、豪州、日本) サービス・ソリューション動向、法規制分析、製品・価格分析、市場機会分析を中心にまとめています。調査基準年は2017年とし、2018年の予測を実施しています。	http://www.frost.com/k1fa		
2018/3/5	K286-18	49	CES Automotive and Transportation Highlights, 2018	家電見本市 (CES) における自動車・交通関連まとめ (2018年)	今年1月に北米で開催された家電見本市 (CES) のトレンドは概ね昨年のテーマを引き継いでいたものの、自律走行シャトル、デジタルアシスタント、統合モビリティプラットフォームなどのコンセプトが新たに展示されました。また、例えばアマゾンのアレクサとの統合といった、短期的に市場に影響を与えるような動向がみられました。フロスト&サリバンは、本見本市でOEMやティア1サプライヤー、技術企業、新興企業からの参加者60名以上にインタビューを実施しています。本レポートではそれらのインタビュー結果をもとに、最重要トレンドである10項目について詳細に解説します。	http://www.frost.com/k286		
2018/2/27	P9A0-18	123	Strategic Analysis of Malaysian Commercial Vehicle Industry, Forecast to 2025	マレーシア商用車市場の見通し (~2025年)	マレーシアの商用車市場はインドネシアとタイに次いでアジア太平洋地域で第3の市場であり、現在急速な成長期に入っています。一方、経済成長の鈍化やリンクド下落が消費者や企業の景況感に影響を与え、自動車市場全体の販売台数は2013年以降減少し、生産台数も年々減少しています。また、ピックアップは販売台数と生産台数の両面で、商用車市場における最大のセグメントです。本調査ではマレーシアの商用車市場について、市場概況、自動車OEM別、セグメント別の市場規模と予測、競合分析等焦点を当てて分析しています。調査対象期間は2012年から2025年とし、2017年から2025年までの予測を提供しています。	http://www.frost.com/p9a0		
2018/2/26	K280-18	51	North American International Auto Show Highlights, 2018	北米国際オートショー2018	本レポートは、今年開催の北米国際オートショーで発表された新規モデルについてまとめています。1年の始まりを飾るショーとして、本オートショーでは今年の米国市場において主力となる車両を展示しました。SUV、クロスオーバー、トラックセグメントが新製品の約半数を占めており、2018年は多くの自動車メーカーにとって大型車が人気商品になると予想されます。本レポートではオートショーでの発表に基づき、米国市場の主要動向、SUV、トラックなど主要セグメントにおける新モデルの概要、今後の市場見通しを提供しています。	http://www.frost.com/k280		
2018/2/22	K1C1-18	89	North America Used Truck Market Analysis, Forecast to 2025	北米における中古トラック市場の見通し (~2025年)	中古トラックの需要は短期的には横ばいで推移し、中期的には温室効果ガス排出削減計画のフェーズ2に係る規制や、2019~2020年にかけてフリートトラックの買い替えにより需要が増加する見込みです。本レポートでは、北米における中古トラック市場の見通しについて、大型トラック (クラス8) を中心にまとめています。具体的な調査項目は、主要な市場、技術、価格動向、中古トラック市場の保証プログラム、小売チャネル、モデル別、エンジン別、車齢別の販売台数実績および予測などです。調査対象地域は北米 (米国、カナダ)、調査対象期間は2010年から2025年までです。	http://www.frost.com/k1c1		
2018/2/19	MCBF-18	102	Iranian Automotive Market, Forecast to 2022	イラン自動車市場の見通し (~2022年)	イランの乗用車市場は、経済制裁が解除され、外資系自動車OEMや部品サプライヤーが参入することで、2016年から2022年にかけて年平均13.6%で成長が見込まれています。本レポートでは、乗用車、商用トラック、バス・ミニバスの3つのセグメントに分け、イランの自動車市場を調査、分析しています。具体的な内容としては、同国自動車市場の現状と自動車市場に影響を与える、政治的、経済的、社会的および技術動向、自動車産業における投資機会、道路・エネルギーインフラの整備状況などについてまとめています。調査対象期間は、2010年から2022年までです。	http://www.frost.com/mcbf		
2018/2/15	MD62-18	80	Future of Smart Mobility—Key City Profiles, 2017	スマートモビリティの将来：主要都市プロフィール (2017年)	本レポートでは、最先端の自動車技術を活用して人々を目的地へと導く、インテリジェントモビリティのニーズについて分析を提供しています。具体的には、主要スマートシティにおけるインテリジェントモビリティの注力分野や、グローバルにおけるモビリティの課題と対策、同分野における破壊的革新技術、ステークホルダー、グローバルおよび地域別の今後の見通しについてまとめています。また、グローバルの動向とあわせて、都市別ケーススタディとして、サンフランシスコ、バルセロナ、ドバイ、シンガポールにおけるスマートモビリティへの取り組みについてもまとめています。調査地域はグローバル、調査期間は2017年から2030年までです。	http://www.frost.com/md62		
2018/2/12	K248-18	87	Global Automotive Aftermarket Outlook, 2018	自動車アフターマーケットのグローバル市場見通し (2018年)	本レポートでは、2018年のグローバルにおけるアフターマーケット (補修部品およびサービス) の市場規模とその成長機会についてまとめています。具体的には、2017年の主要動向と、北米、欧州、中国、インド、中南米などの主要市場について、車齢やブランド内訳などの車両保有パターンとともに補修部品別の市場規模を提供しています。また、アフターマーケットにおける、オンライン小売やテレマティクスソリューションといったデジタルの影響についても分析しています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2017年から2018年です。	https://www.frost.com/k248		

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2018/2/2	9AB2-18_86	62	North America and Europe Commercial Vehicle TPMS and RFID Market, Forecast to 2025	欧米における自動車向けTPMS (タイヤ空気圧モニタリングシステム) とRFID市場の見通し (~2025年)	欧米地域におけるトラック輸送業界は熟練ドライバー不足に直面しており、市場の将来可能性や営業利益率についての懸念を抱えています。総所有コストやダウンタイムの削減、規制への準拠、ドライバーの不足、車両の稼働率向上などは、フリート管理者がTPMS (タイヤ空気圧モニタリングシステム) やRFIDなどの先進トラック技術を採用する主な理由です。本調査では、欧米のTPMSおよびRFID市場について、商用車の運行コストの削減の観点から調査を実施しています。本レポートでは市場概要とともに課題や関連規制についてのため、2025年までの普及見通しなどを提供しています。	https://www.frost.com/q298303740
2018/1/31	K243-30	113	Global Integrated Automotive Test Solutions, Forecast to 2024	グローバルにおける自動車向け車両試験装置市場 (~2024年)	本調査では、グローバルにおける自動車向け車両試験装置市場について、メカトロ系試験装置と電子電気系試験装置に分けて詳細分析を実施しています。また、投資企業向けに将来市場チャンスが大きい分野については、特に詳しくまとめています。シャシーダイナモ、エンジンダイナモ、排ガス測定機器、ホイールアライメントテスター等のメカトロ系試験装置は、排ガス基準の厳格化を背景とするタナホおよび排ガス測定機器の需要増が見込まれており、ECU機能試験装置等の電子電気系試験装置はインフォテインメントやテレマティクス/コネクティビティ関連のECUおよび電子部品の点数増加により飛躍的に成長する見通しです。調査対象地域はグローバル (北米、欧州、南米、アジア太平洋 (インド、中国、日本他))、調査対象期間は2017年から2024年までです。	http://www.frost.com/k243
2018/1/31	9AB2-13_31	57	Transportation and Logistics Market Insights—Norway	ノルウェーの交通および物流市場	ノルウェーは公共消費に支えられ、北欧圏で最高レベルの経済を誇る国のひとつです。安定した金融制度や起業を促進する環境、通貨の安定性は、堅調な経済成長の主要因です。同国経済は非石油資源投資の回復や高い民間消費により、2018年まで成長が高まる見込みです。本調査は、経済と貿易、貨物輸送とノルウェーの物流と倉庫業に関する主要な開発と動向を調査、分析し、提供しています。具体的には、ノルウェーの経済と貿易を促進する主要な要因の概要の提供、輸送経済および物流セクターの役割の分析、効率性向上と物流コスト削減のための政府の実施策の特定、デジタル技術の進歩の分析、伝統的なバリューチェーンの変化、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査期間は、2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q298295953
2018/1/29	9AB2-18_84	47	US Fleet Vehicle Leasing Market, Forecast to 2020	米国におけるフリートリース市場見通し (~2020年)	本調査では、米国におけるフリートリース市場について、乗用車および小型トラック向けフリートリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の状況に基づいて米国のリース市場の成長性を分析し、フリートリース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、米国におけるリース市場の分類や車両リースサプライヤー比較分析、2016年から2020年までの市場規模、セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	http://www.frost.com/q298279908
2018/1/29	9AB2-18_83	46	Fleet Vehicle Leasing Market in Brazil, Forecast to 2020	ブラジルにおけるフリートリース市場見通し (~2020年)	本調査では、ブラジルにおけるフリートリース市場について、乗用車および小型トラック向けフリートリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の状況に基づいてブラジルのリース市場の成長性を分析し、フリートリース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、ブラジルにおけるリース市場の分類や車両リースサプライヤー比較分析、2016年から2020年までの市場規模、セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	http://www.frost.com/q298289231
2018/1/23	P9AB-18	97	Indian Passenger Vehicles Market, Forecast to 2020	インド乗用車市場見通し (~2020年)	積極的な価格設定と輸出増加により、インドの乗用車生産台数は2015年から2020年にかけて年平均9.0%で成長すると見込まれます。現代 XcentやCreta、マルチススキ パレーといった各セグメントの低価格新モデルは、インドの乗用車市場を牽引しています。また、ホンダ、現代、フォード、ルノーなどのグローバルOEMによるエントリーセグメントやエントリーSUVの発売で、消費者は先進車両を低価格で購入できるようになり、各社の収益は高まりました。本レポートでは、インドにおける乗用車市場について調査・分析を提供しています。具体的には、インド乗用車市場の概要、主要法規制、技術動向、市場成長要因、阻害要因、セグメント別の市場見通し、中古車市場、販売チャネル分析、自動車部品コンポーネントの調達、輸出動向などについてまとめています。調査対象期間は2009年から2020年までです。	http://www.frost.com/p9ab
2018/1/23	P9EA-13	68	UAE Logistics Market—Growth Insights and Forecast to 2023	UAE物流市場見通し (~2023年)	アラブ首長国連邦 (UAE) では政府の投資計画やインフラ開発への取り組みが、経済成長を支えると期待されます。地域経済情勢の不確実性や原油価格の下落にもかかわらず、UAE政府は経済的多様化政策により不確実性の影響を抑制しました。UAEが欧州・アジア貿易の中継拠点として台頭するにつれ、物流インフラはますます重要になってきています。本調査は、経済と貿易、貨物輸送とUAEの物流と倉庫業に関する主要な開発と動向を調査、分析し、提供しています。具体的には、UAEの経済と貿易を促進する主要な要因の概要の提供、輸送経済および物流セクターの役割の分析、効率性向上と物流コスト削減のための政府の実施策の特定、デジタル技術の進歩の分析、伝統的なバリューチェーンの変化、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査期間は、2016年から2023年までです。	http://www.frost.com/p9ea
2018/1/16	P9D1-18	82	Global OHV Engine Market, Forecast to 2022	グローバルにおけるオフハイウェイ車向けエンジン市場見通し (~2022年)	本レポートは、オフハイウェイ車 (OHV) エンジン市場見通しに関する調査を実施しています。具体的な内容としては、グローバルにおけるオフハイウェイ車エンジンの市場構造、オフハイウェイ車の新興市場、市場成長要因、阻害要因、技術動向、2022年までのグローバルにおける市場見通しについてまとめています。本調査の主要対象企業は、キャタピラー、カミンズ、ディア・アンド・カンパニー、Deutz、Friedrichshafen、コーラー、クボタ、MTU、ボルボ、Wartsila、Weichai Power、ヤンマーです。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2016年から2022年までです。	http://www.frost.com/p9d1
2018/1/16	9AB2-18_82	43	Fleet Vehicle Leasing Market in South Africa, Forecast to 2020	南アフリカにおけるフリートリース市場見通し (~2020年)	本調査では、南アフリカにおけるフリートリース市場について、乗用車および小型トラック向けフリートリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の状況に基づいて南アフリカのリース市場の成長性を分析し、フリートリース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、南アフリカにおけるリース市場の分類や車両リースサプライヤー比較分析、2016年から2020年までの市場規模、セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	http://www.frost.com/q298253505

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2018/1/16	9AB2-18_81	58	Impact of Autonomous Mobility on the North American Automotive Aftermarket, Forecast to 2030	自動運転車が自動車アフターマーケットに及ぼす影響 (北米、~2030年)	北米の自動車業界は着実に変化しています。2010年以降、自動車向け先進運転支援システム (ADAS) コンポーネントは存在感が高まっています。高い関心を集める自動運転技術もまた、ADASとともにインテリジェントモビリティを形成します。2020年から2030年にかけてインテリジェントモビリティの採用が進めば、板金・修理需要は確実に減少するでしょう。本調査では、北米における各レベルの自動運転車の普及に焦点を当て、自動運転の普及による自動車アフターマーケットへの影響やマクロ的視点での影響、部品やメンテナンスへの影響、板金修理市場見直しなどを提供しています。調査対象期間は2013年から2030年までです。	http://www.frost.com/q298252291
2018/1/12	P99F-18	130	Strategic Analysis of Indonesia Commercial Vehicle Industry, Forecast to 2025	インドネシア商用車市場分析 (~2025年)	インドネシアの商用車市場は2014年から2016年にかけて販売が減少した結果、生産も年々減少しています。小型商用車は販売と生産ともに最大のセグメントであり、日系ブランドはインドネシアで最大の商用車販売商とサービス網を誇ります。本調査は、2012年から2025年のインドネシアにおける商用車市場について調査、分析を実施しています。具体的な内容としては、主要な技術動向、市場動向、市場成長要因・阻害要因、OEM別市場シェア、製品ポートフォリオ分析、2025年までのOEM別・セグメント別市場見直しについてまとめています。	http://www.frost.com/p99f
2018/1/11	9AB2-18_80	45	Fleet Vehicle Leasing Market in India, Forecast to 2020	インドにおけるフリートリース市場見直し (~2020年)	本調査では、インドにおけるフリートリース市場について、乗用車および小型トラック向けフリートリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の市況に基づいてインドのリース市場の成長性を分析し、フリートリース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、インドにおけるリース市場の分類や車両リースサプライヤー比較分析、2016年から2020年までの市場規模、セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	http://www.frost.com/q298247749
2018/1/11	9AB2-18_79	45	Fleet Vehicle Leasing Market in Russia, Forecast to 2020	ロシアにおけるフリートリース市場見直し (~2020年)	本調査では、ロシアにおけるフリートリース市場について、乗用車および小型トラック向けフリートリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の市況に基づいてロシアのリース市場の成長性を分析し、フリートリース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、ロシアにおけるリース市場の分類や車両リースサプライヤー比較分析、2016年から2020年までの市場規模、セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	http://www.frost.com/q298246752
2018/1/10	K1EB-18	62	Automotive OEMs Global Manufacturing Facility Investment Strategies, 2010-2022	主要自動車メーカーにおける生産設備投資戦略 (2010~2022年)	自動車業界では、市場へ多種多様な車種を大量に供給し収益性を高めるために、製造への投資最適化や生産設備の有効活用、生産工場の性能向上の必要性が高まっています。重点地域への投資、生産設備の有効活用、次世代技術への多額の支出は、自動車OEMが新たな形や機能を持つ次世代車両の生産という目的を達成する上で、重要な役割を果たします。本レポートは、OEM各社のグローバル生産設備の投資戦略についての調査を提供しています。具体的な内容としては、OEM各社における生産設備投資動向と重点技術、2010年から2022年までの主要技術別投資額、製造能率と稼働率などについて調査、分析しています。なお、本調査における主要対象企業は、フォード、GM、VW、BMW、トヨタ、日産です。	http://www.frost.com/k1eb
2018/1/8	9AB2-18_78	45	Fleet Vehicle Leasing Market in Spain, Forecast to 2020	スペインにおけるフリートリース市場見直し (~2020年)	本調査では、スペインにおけるフリートリース市場について、乗用車および小型トラック向けフリートリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の市況に基づいてスペインのリース市場の成長性を分析し、フリートリース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、スペインにおけるリース市場の分類や車両リースサプライヤー比較分析、2016年から2020年までの市場規模、セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	http://www.frost.com/q298247748
2018/1/5	MD89-18	76	Strategic Analysis of Truck and Bus Driver Simulator Market, 2016-2025	欧州におけるトラック・バス用ドライバシミュレーター市場分析 (2016~2025年)	熟練ドライバー不足とフリート負債の削減は、ドライバシミュレーター市場を牽引する主要な要因です。一方で高価な初期投資、複雑な道路環境の再現、仮想運転条件における運転パターンなどが、ドライバシミュレーターの課題として挙げられます。欧州議会のEU指令2003/59/ECは業務用ドライバーの資格取得と定期訓練を定めており、欧州の大部分の国ではドライバーの訓練にシミュレーターの使用を許可しています。本調査は欧州におけるトラック・バス用ドライバシミュレーターの市場見直しです。具体的な内容としては、ドライバシミュレーターの概要と関連法規、主要国別の市場規模、市場促進要因・阻害要因、主要シミュレーターサプライヤーなどについてまとめています。調査対象期間は2016年から2025年までです。	http://www.frost.com/md89
2018/1/2	MD5E-18	72	Automotive OEMs Passenger Car and Light Duty Truck Lightweighting Strategies, Forecast to 2025	主要自動車メーカーの乗用車・小型商用車軽量化戦略 (~2025年)	北米や欧州では、炭素排出量を100g / km未満に低減することを目標としています。パワートレイン技術の進歩によりCO2排出量は今後大幅に削減されることが期待されていますが、実現には更なる代替手段の採用が必要とされ、軽量化戦略はCO2排出量の削減に寄与すると期待されます。また、SUV販売台数の増加は、期限内の排出目標達成のための軽量化の必要性を示唆しています。本調査では自動車OEM各社の軽量化戦略に関し、ボディ構造、素材、コンポーネント別に調査、分析を実施しています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2012年から2025年までです。	http://www.frost.com/md5e
2017/12/29	9AB2-18_77	83	GCC Regional Insights into Construction Equipment Industry, Forecast to 2020	GCC諸国における建設機械市場 (~2020年)	この調査は、GCC諸国における建設機械市場について、市場規模や主要動向などを分析し、見直しを提供しています。具体的な内容としては、GCC諸国の建設機械市場に影響をおよぼすメガトレンド、テレマティクス、ビッグデータ分析、自動運転システム (AHS) などの主要技術動向、およびそれらが2020年までの建設・鉱山機械市場に与える影響、排出基準、安全基準、輸入規制などの関連する政府規制、2020年までの台数および売上高予測、建設機械市場で高い成長性が見込まれる製品セグメントなどについてまとめています。調査対象期間は2014年から2020年までです。	http://www.frost.com/q298183203

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2017/12/27	9AB2-13_30	39	Supply Chain Systems Under Transformation—Key Trends and Growth Insights	サプライチェーンシステムの変化に関する動向と展望	世界の各業界でサプライチェーンマネジメントが大幅に見直されています。グローバル化、新興国の急速な成長、事業構造の変化により、世界中の様々な地域から需要が生まれています。eコマース市場の成長、オムニチャネルマーケティングと販売、デジタル化技術、安価なリアルタイム接続など、複数の市場要因がサプライチェーンシステムに影響を与えています。本レポートではサプライチェーンシステムに関し、変化するデジタル化技術への対応、サプライチェーンマネジメントの改善を推進する主要因、グローバル化や外注化の動向、調達機能の改善におけるデジタル技術の役割などについてまとめています。調査対象期間は2012年から2017年までです。	http://www.frost.com/q298156331
2017/12/27	9AB2-13_29	53	Transportation and Logistics Market Insights—Sweden	スウェーデンの交通および物流市場	スウェーデンは健全な労働市場、高い民間・公共消費、産業製品を支えられ、北欧圏で最高レベルの経済を誇る国のひとつです。同国の経済はEU経済と深く結びついています。GDPに占める輸出割合は40%を超え、R&D部門の輸出が主要な成長促進要因です。北欧圏の中心に位置するスウェーデンは企業や配送・倉庫機能を集約するのに適しており、ヨーロッパ物流圏の主要物流センターからの需要増や拡張計画により、倉庫部門が物流市場全体の多くを占めています。本調査は、経済と貿易、貨物輸送とスウェーデンの物流と倉庫業に関する主要な開発と動向を調査、分析し、提供しています。具体的には、スウェーデンの経済と貿易を促進する主要な要因の概要の提供、輸送経済および物流セクターの役割の分析、効率性向上と物流コスト削減のための政府の実施策の特定、デジタル技術の進歩の分析、伝統的なバリューチェーンの変化、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査期間は、2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q298157800
2017/12/26	K172-18	164	Industrial Internet of Things (IIoT) and the Future of Manufacturing, Forecast to 2021	産業向けIIoTと製造業の将来 (～2021年)	産業用IIoT (IIoT) の活用は、自動車産業における製造を変化させる見られます。技術進歩が自動車産業を促進するうえで重要な役割を果たす一方、機械学習、ビッグデータ、センサーデータ、マシン・トゥ・マシン通信、自動化などの様々な技術を融合させるために、自動車メーカーにとってコネクティビティは必須です。本調査では、産業用IIoTと、アプリケーション、技術、市場などの観点から、産業用IIoTが将来の製造業にあたる影響を詳細に評価・分析しています。具体的には、産業用IIoTの主要な要件とその目標、スマート製造業の取り組み評価、産業用IIoTの導入に向けた主要マイルストーンやロードマップなどについてまとめています。グローバルにおける主要各国を対象に、2016年から2021年にわたる調査を提供しています。	http://www.frost.com/k172
2017/12/26	9AB2-13_28	55	Transportation and Logistics Market Insights—Canada	カナダの交通および物流市場	カナダ経済は主に消費支出や事業環境の改善により堅調に成長する見込みです。経済が低水準の物価に適合するにつれ、投資再配分や資源・非資源部門での雇用が行われつつあります。輸送、金融、事業サービス等のサービス部門は、近い将来GDP成長を牽引するでしょう。輸送・倉庫部門の短・中期的な雇用は、安価なエネルギーコストや地域輸送への投資により牽引される見込みです。本調査は、経済と貿易、貨物輸送とカナダの物流と倉庫業に関する主要な開発と動向を調査、分析し、提供しています。具体的には、カナダの経済と貿易を促進する主要な要因の概要の提供、輸送経済および物流セクターの役割の分析、効率性向上と物流コスト削減のための政府の実施策の特定、デジタル技術の進歩の分析、伝統的なバリューチェーンの変化、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査期間は、2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q298148427
2017/12/26	K1CB-18	61	Executive Analysis of Electric Truck Market, Forecast to 2025	電動トラック市場の見通し (～2025年)	本調査では、グローバルにおける中・大型の電動トラックの市場機会についてまとめています。調査結果によると、中国市場はグローバル市場を牽引し、2025年までに同国の電動トラック市場の61.1%は電気自動車、28.5%はプラグインハイブリッド車、10.4%はハイブリッド車が占めると見られます。本レポートの具体的な内容としては、電動トラック市場の現在および将来の市場動向、2025年までの地域別市場見通し、トラックにおける電動ドライブトレインの採用動向、今後4年間の投入予定モデル、バッテリー、モーター、充電システムなどのパワートレインコンポーネントの技術・価格動向などについて明らかにしています。調査対象期間は2016年から2025年までです。	http://www.frost.com/k1cb
2017/12/21	P9D3-18	121	Global Earth Moving, Construction and Mining Equipment Market, Forecast to 2026	グローバルにおける土木・建設・鉱山機械市場 (～2026年)	本調査では、グローバルにおける土木・建設・鉱山機械市場について、調査、分析および予測を提供しています。具体的には、主要市場成長促進要因・阻害要因の分析、市場および技術動向の評価などについてまとめています。調査対象機械は、ホブ・ドリルリグ、クローラー、粉砕・加工機械、タンク、散水車、掘削機、仕上げ機械、地ならし機、ミキサー、オフハイウェイトラック、オフハイウェイトラック、その他建設機器、舗装機械、プレートコンパクター、スキッドステアローダー、タンパー・ランマー、トラクター・ローダー・バックホウ、トレンチャー、ホイールローダーおよびドザーです。調査対象期間は2016年から2026年までです。	http://www.frost.com/p9d3
2017/12/15	9AB2-13_27	54	Transportation and Logistics Market Insights—Germany	ドイツの交通および物流市場	ドイツ経済はユーロ圏と米国や中国等ユーロ圏外での堅調な需要により成長してきました。同国の物流市場は国内物流により牽引され、現在の8%から2025年までに国内成長の21%を占めると予測されます。革新的な物流ソリューション、自動化、電動モビリティ、化学物流のデジタル化、ヤード管理、そして製造所でのリアルタイム制御は、ドイツの物流市場を形成する主要な変革動向です。本調査は、経済と貿易、貨物輸送とドイツの物流と倉庫業に関する主要な開発と動向を調査、分析し、提供しています。具体的には、ドイツの経済と貿易を促進する主要な要因の概要の提供、輸送経済および物流セクターの役割の分析、効率性向上と物流コスト削減のための政府の実施策の特定、デジタル技術の進歩の分析、伝統的なバリューチェーンの変化、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査期間は、2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q298105989
2017/12/15	9AB2-13_26	49	Transportation and Logistics Market Insights—Denmark	デンマークの交通および物流市場	2017年から2018年におけるデンマークの経済成長は、堅調な民間消費、弾力的な外需、金融政策の緩和によって支えられると予想されます。同国経済はサービス業が比率が非常に高く、GDPに占める製造業の割合はわずか20%です。陸上貨物においては建設業の影響でバルク材の比率が高い一方、農産物や消費財が中継貨物の24%以上を占めます。本調査は、経済と貿易、貨物輸送とデンマークの物流と倉庫業に関する主要な開発と動向を調査、分析し、提供しています。具体的には、デンマークの経済と貿易を促進する主要な要因の概要の提供、輸送経済および物流セクターの役割の分析、効率性向上と物流コスト削減のための政府の実施策の特定、デジタル技術の進歩の分析、伝統的なバリューチェーンの変化、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査期間は、2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q298108183
2017/12/15	9AB2-18_76	42	Fleet Vehicle Leasing Market in Germany, Forecast to 2020	ドイツにおけるフリートリース市場見通し (～2020年)	本調査では、ドイツにおけるフリートリース市場について、乗用車および小型トラック向けフリートリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の市場に基づいてドイツのリース市場の成長性を分析し、フリートリース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、ドイツにおけるリース市場の分類や車両リースとサブライザー比較分析、2016年から2020年までの市場規模、セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	http://www.frost.com/q298183579

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)					
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL	
2017/12/13	MD6F-18	75	Opportunity Analysis of the OBD II Automotive Aftermarket, Forecast to 2023	自動車アフターマーケットにおけるOBD IIの見通し (~2023年)	グローバルの自動車アフターマーケットにおいて、OBD IIは急速な成長を遂げています。OEM各社は、自社の事業に関連する診断装置サプライヤーを継続的に投資、買収しています。本調査ではこの事業構造を装置サプライヤー、インターネット/コネクテッド、サービス事業者に分類し、更にアフターマーケットにおけるティア1、OEM、携帯電話通信事業者、通信事業者、およびプラットフォーム事業者のサブセグメントに分けて分析しています。調査対象地域は北米および欧州とし、調査対象期間は2013年から2023年までです。	http://www.frost.com/md6f	
2017/12/13	9AB2-13_25	47	Transportation and Logistics Market Insights—Spain	スペインの交通および物流市場	スペイン経済は主に国内需要や輸出部門の復興に牽引され回復途上にあります。同国はインフラ投資が成長の鍵とされており、2016年にはGDPが3.2%成長したことで、スペインはユーロ圏において急速に成長する国々のひとつとなりました。インフラ開発、経済多様化への取り組み、eコマースの成長は物流部門の成長を支える主要因です。本調査は、経済と貿易、貨物輸送とスペインの物流と倉庫業に関する主要な開発と動向を調査、分析し、提供しています。具体的には、スペインの経済と貿易を促進する主要な要因の概要の提供、輸送経済および物流セクターの役割の分析、効率性向上と物流コスト削減のための政府の実施策の特定、デジタル技術の進歩の分析、伝統的なバリューチェーンの変化、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査期間は、2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q298094531	
2017/12/13	MD59-18	124	Strategic Analysis of the Mobility Value Chain, 2017	モビリティにおけるバリューチェーン分析 (2017年)	本レポートではグローバルのモビリティにおけるバリューチェーンおよび期待される市場動向について分析を実施しています。具体的な内容としては、シェアモビリティにおけるスタートアップ企業の特定、バリューチェーンにおけるステークホルダー間の提携状況と今後の見通し、各ビジネスモデルにおける主要ステークホルダー、自動運転やコネクテッド技術などの先進技術がモビリティバリューチェーンにあたる影響、シェアモビリティ市場の将来動向などについてまとめています。調査対象期間は2016年から2017年までです。	http://www.frost.com/md59	
2017/12/12	9AB2-13_24	50	Transportation and Logistics Market Insights—The United States	米国の交通および物流市場	2016年の米国経済は、エネルギー部門の急落や輸出の減少、ドル高の影響による投資の減少により成長が鈍化しました。民間への投資策や減税を軸とする拡張的財政政策が、2018年の経済成長を促進させると期待されます。米国では陸上・鉄道輸送が主要な輸送手段であり、バルク材が収益の大半を占めます。またトラック部門においては、革新的なオンライン貨物輸送サービスが次々と生み出されており、物流スタートアップ企業が貨物輸送で重要な役割を果たすと見られます。本調査は、経済と貿易、貨物輸送と米国の物流と倉庫業に関する主要な開発と動向を調査、分析し、提供しています。具体的には、米国の経済と貿易を促進する主要な要因の概要の提供、輸送経済および物流セクターの役割の分析、効率性向上と物流コスト削減のための政府の実施策の特定、デジタル技術の進歩の分析、伝統的なバリューチェーンの変化、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査期間は、2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q298091113	
2017/12/11	P9D0-18	86	Global Combine Harvester Machinery Market of Select Countries, Forecast to 2024	グローバルにおけるコンバインハーベスター市場見通し (~2024年)	本レポートはグローバルにおける主要国のコンバインハーベスター市場について、市場見通しを提供しています。具体的には、米国、ブラジル、中国、ロシア、インド、ドイツの各国について、メガトレンドと新技術、市場成長促進要因と阻害要因、課題および機会をまとめています。調査基準年は2016年とし、2017年から2024年までの市場予測を実施しています。	http://www.frost.com/p9d0	
2017/12/8	MD46-18	104	Future Trends in Luxury Electric Vehicle Market in North America and Europe, 2016–2025	欧米におけるラグジュアリーEV市場の将来動向 (2016~2025年)	排ガス規制の厳格化により、ラグジュアリーOEMは排ガス基準を遵守すべく、車両の電動化を余儀なくされています。バッテリーEV (BEV) やプラグインハイブリッド (PHEV) は持続可能な代替手段として宣伝されていますが、認知度の低さや走行距離・電動化技術に関する誤解により、普及率は低いまです。本調査はラグジュアリーEV市場や関連技術について、将来動向や市場の台数見通しを各社戦略とともにまとめています。具体的には、ラグジュアリーEV市場の概要や業界構造、ブランドポジショニングやデザインによる各OEMのEV戦略、市場における課題とその対策、自動運転車、コネクテッド、モビリティサービス分野に影響を与える新技術動向などについて分析を実施しています。調査対象地域は北米および欧州とし、調査対象期間は2016年から2025年までです。	http://www.frost.com/md46	
2017/12/8	P9D6-13	106	ASEAN Logistics Market—Disruptive Innovations, Forecast to 2025	アセアン地域の物流市場革新 (~2025年)	2025年までに東南アジア諸国連合 (ASEAN) 地域は、地理的優位性、大量消費拠点、低コストにより貿易業者を魅了し、中国にとって代わる市場になると見込まれます。中でも大メコン地域のCLMV諸国 (カンボジア、ミャンマー、ラオス、ベトナム) は投資家にとって魅力的な新興国として浮上っています。本レポートはアセアン地域の物流や輸送業界において破壊的革新をもたらす新たな動向に調査を実施しています。具体的には、都市物流、各国の物流マスタープラン、eコマース、クロスボーダー輸送、物流におけるスタートアップ企業のデジタル革新、市場成長機会などについてまとめています。調査対象地域はアセアン10ヶ国とし、調査対象期間は2016年から2025年までです。	http://www.frost.com/p9d6	
2017/12/7	9AB2-18_75	42	Fleet Vehicle Leasing Market in Italy, Forecast to 2020	イタリアにおけるフリートリース市場見通し (~2020年)	本調査では、イタリアにおけるフリートリース市場について、乗用車および小型トラック向けフリートリースのタイプ別 (ファイナンスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の状況に基づいてイタリアのリース市場の成長性を分析し、フリートリース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてもまとめています。また、イタリアにおけるリース市場の分類や車両リースサブライヤー比較分析、2016年から2020年までの市場規模、セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	http://www.frost.com/q298088072	
2017/12/5	9AB2-18_74	47	Select Automotive OEM R&D KPIs Analysis, 2011–2016	主要自動車OEMのR&D主要指標評価 (2011~2016年)	ドライバーは自動車にも次世代のデジタル技術を期待しており、現在自動車メーカーはコネクテッド技術を開発する完全自動運転車の開発に注力しています。効率的な自動運転車の開発には自動運転技術とコネクテッド技術がともに必要となりますが、コネクテッド技術は自動車メーカーが自動運転から将来的な完全自動運転へ移行するのを手助けします。本調査ではグローバルOEM社のR&D活動に關し、20項目の評価指標 (KPI) を基に分析しています。本調査における主要KPIは、車両販売台数、売上高、R&D費 (全体費用および基礎研究、先行研究、製品開発別の内訳)、車両プラットフォーム数、保有特許数、部品共通化率、開発タイムラインなどです。調査対象OEMはフォード、フォルクスワーゲン、BMW、トヨタ、ホンダの5社とし、調査対象期間は2011年から2016年までです。	http://www.frost.com/q298076847	

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)					
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL	
2017/12/5	MD24-18	77	Strategic Analysis of Global Market for Electric Motors for xEVs, Forecast to 2025	グローバルにおける電動車向け電動モーター市場分析 (～2025年)	本レポートでは、電気自動車およびハイブリッド車向け電動モーターについて、各国の市場規模や普及率に焦点を当てています。具体的には、電気自動車・ハイブリッド車向け電動モーターの総市場規模および技術採用見通し、OEM各社の戦略、調達戦略などについて調査、分析しています。調査対象地域は欧州、北米、日本、中国、韓国、主要各国とし、調査対象期間は2015年から2025年までです。	http://www.frost.com/md24	
2017/12/5	MD5D-18	76	OEM Strategies for Particulate Matter (PM) Emission Reduction in Direct Injection Gasoline Engines, 2017-2022	主要OEMにおける直噴エンジンによるPM排出削減戦略 (2017～2022年)	本調査は、グローバル主要OEM各社のGDIエンジン向けパートレイン技術における、PM排出削減戦略の調査、分析しています。具体的な内容としては、欧米OEM各社のPM排出削減のためのパートレイン戦略の概要、燃焼最適化技術、燃料システムの変化、微粒子捕集フィルター、およびその他PM削減関連技術の役割と重要性、PM削減システムの主要な技術動向、市場成長促進要因・阻害要因と課題などについてまとめられています。本調査の対象OEMはフォルクスワーゲン、ダイムラー、FCA、PSA、BMW、フォード、GM、トヨタ、ルノー、日産、ホンダ、現代です。調査基準年は2017年とし、2018年から2022年までの予測を提供しています。	http://www.frost.com/md5d	
2017/12/1	MD70-18	81	Global Analysis of Infotainment and HMI Strategy for Mass Market OEMs, 2017	大衆車OEM向けインフォテインメントとHMI戦略 (2017年)	ヒューマンマシンインターフェース (HMI) はユーザーと車両の情報のやり取りにおいて重要な役割を果たすため、自動車業界はインフォテインメント市場に注力しています。タッチレスチャージャー機能を備えた大型タッチスクリーンインターフェース、ハイブリッド型メータクラスター、コネクテッドナビゲーションなどは大衆車を支配する主要なHMI技術です。エアアシスタチャやHUDなどの高度なHMI技術はラグジュアリーOEMに限定されますが、大衆車OEMは顧客を取り込むため、付加価値サービスとして本技術を提供しています。本調査では、グローバルにおける大衆車OEMのインフォテインメント、HMI戦略についてまとめられています。具体的にはOEM各社の現在の戦略および製品ポートフォリオ、将来のコックピット戦略、および参入企業にとっての市場機会についてまとめられています。調査対象OEMはトヨタ、日産、マツダ、スバル、フォード、シボレー、フォルクスワーゲン、FCA、現代、起亜とし、調査対象期間は2016年から2017年までです。	http://www.frost.com/md70	
2017/12/1	MD82-18	62	Impact of Autonomous Driving on Steering Development Technology in Europe and North America, 2017	自動運転がステアリング技術開発へ与える影響 (欧米、2017年)	電動パワーステアリング (EPS) は、ほぼ全てのモデルに標準装備となりつつあります。一方、自動運転技術はステアリング技術と違って、フェールオーバーシステムへの移行やハンドルの禁止・格納、手放し運転を規制するクイーン条約の遵守といった課題を生み出しています。本調査は自動運転の主要市場である欧米各国における、ステアリング技術の主要動向について分析しています。具体的には、将来のステアリングシステム開発に影響を及ぼす市場成長要因と阻害要因、OEMおよびステアリングサプライヤーの注力分野、ステアリング支援損失 (loss-of-assist) が自動運転開発に与える影響、完全自動運転におけるスバア・バイ・ワイヤ (SbW) の必要性、自動運転開発の将来シナリオなどについてまとめられています。調査対象期間は2017年から2025年までです。	http://www.frost.com/md82	
2017/11/28	9AB2-18_73	42	Fleet Vehicle Leasing Market in the United Kingdom, Forecast to 2020	英国におけるフリートリース市場見通し (～2020年)	本調査では、英国におけるフリートリース市場について、乗用車および小型トラック向けフリートリースのタイプ別 (ファインアスリースとオペレーティングリース) に分析、考察を実施しています。過去のデータと現在の市況に基づいてイタリアのリース市場の成長性を分析し、フリートリース市場に影響を与える成長要因と阻害要因についてまとめられています。また、英国におけるリース市場の分類や車両リースサプライヤー比較分析、2016年から2020年までの市場規模、セグメント別のポートフォリオと新車登録台数予測も提供しています。	http://www.frost.com/q298067383	
2017/11/28	9AB2-18_72	61	Strategic Profiling of Amazon and eBay in the Automotive Aftermarket in North America and Europe, Forecast to 2023	欧米自動車アフターマーケットにおけるアマゾン、eBayの事業見通し (～2023年)	このレポートは欧米のオンライン小売における自動車アフターマーケットで存在感を高めつつある、アマゾンおよびeBayの概要についてまとめられています。具体的な内容としては、アマゾンやeBayの流通総額 (GMV) や収益に関する情報、オンライン交換部品販売運営の評価、両社のビジネスモデル分析、購入者、出品者双方向けの戦略の開発に焦点を当てています。本調査は両社が将来のオンライン小売における自動車アフターマーケットの理解を目的とし、その及ぼす影響について2023年までの市場見通しとともに分析を提供しています。	http://www.frost.com/q298058771	
2017/11/27	MCD4-13	52	South African Logistics Market, Forecast to 2020	南アフリカの物流市場見通し (～2020年)	世界的な金融危機、国内需要の低迷などの要因が、南アフリカの過去3年間のGDP成長率に影響を与え、同成長率は2017年から2018年の人口増加率よりも低い状況です。政府の経済刺激策による景気回復は2016年以降の経済成長をプラスにするも、グローバルサハラ以南の他の地域の成長率を下回る予想されます。南アフリカ政府は2017年から2018年にかけて経済成長を達成するため、老朽化した道路インフラの整備に多額の投資を行っており、2020年まで物流市場の成長を促進する見込みです。本調査では南アフリカの物流市場について、社会的、技術的動向や経済指標の概要、国際貿易評価の分析等を実施しています。調査基準年は2016年とし、調査対象期間は2010年から2020年までです。	http://www.frost.com/mcd4	
2017/11/24	9AB2-13_23	51	Transportation and Logistics Market Insights—The Czech Republic	チェコの交通および物流市場	チェコの経済成長は、主に個人消費の増加と交通インフラの改善が要因です。また、地理的位置は北欧諸国との貿易に有利であり、外国人投資家の誘致に寄与しています。チェコ経済を発展させる長期的要因は、労働組合、政府、企業間の建設的なパートナーシップです。また、チェコは欧州連合 (EU) と欧州通貨同盟のメンバーであり、複数の国との多国間および二国間貿易協定を締結しています。本調査は、経済と貿易、貨物輸送とチェコの物流と倉庫業に関する主要な開発と動向を調査、分析し、提供しています。具体的には、チェコの経済と貿易を促進する主要な要因の概要の提供、輸送経済および物流セクターの役割の分析、効率性向上と物流コスト削減のための政府の実施策の特定、デジタル技術の進歩の分析、伝統的なバリューチェーンの変化、新たな市場機会等についてまとめられています。本レポートの調査期間は、2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q298055613	
2017/11/24	MD5B-18	78	Global Infotainment and Human Machine Interface (HMI) Strategy of Premium OEMs, 2016-2017	ラグジュアリーOEMのインフォテインメントおよびHMI戦略 (2016～2017年)	HMIはユーザーと車両の相互作用において重要な役割を果たしており、インフォテインメント市場の影響を受けます。エアアシスタチャやヘッドアップディスプレイ (HUD) などの高度なHMIはラグジュアリーOEMに限定される一方、大衆車OEMは付加価値を提供しています。本レポートはラグジュアリーOEMにおいてHMIとインフォテインメントの各分野で提供されるサービスについてまとめられています。具体的には、各OEMのHMIおよびインフォテインメント、コネクテッド戦略と、他社との差別化戦略、将来のコックピット戦略についてまとめられています。調査対象地域は欧米およびアジア主要国とし、2016年から2017年までの乗用車市場について分析を提供しています。	http://www.frost.com/md5b	

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)					
発行日	レポート 番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL	
2017/11/23	9AB2-13_22	52	Transportation and Logistics Market Insights—Poland	ポーランドの交通および物流市場	ポーランドの経済成長は、個人消費の増加と交通インフラの改善が主な要因です。また、地理的位置は北欧諸国との貿易に有利であり、外国人投資家の誘致にも寄与しています。本調査は、経済と貿易、ポーランドの貨物輸送、物流、倉庫業に関する主要な開発と動向を調査、分析し、提供しています。具体的には、ポーランドの経済と貿易を促進する主要な要因の概要の提供、輸送経済および物流セクターの役割の分析、効率性向上と物流コスト削減のための政府の実施策の特定、デジタル技術の分析、テクノロジーの進歩、電子商取引の成長、規制変更、投資、および技術革新の結果としての伝統的なバリューチェーンの変化の分析、経済と技術の変革の結果としての新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査期間は、2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q298046889	
2017/11/23	9AB2-13_21	52	Transportation and Logistics Market Insights—Austria	オーストリアの交通および物流市場	オーストリアの経済成長は、個人消費の増加と輸送インフラの改善が主な要因です。また、地理的位置も北欧諸国との貿易に有利であり、外国人投資家の誘致にも寄与しています。本調査は、経済と貿易、オーストリアの貨物輸送、物流、倉庫業に関する主要な開発と動向を調査、分析し、提供しています。具体的には、オーストリアの経済と貿易を促進する主要な要因の概要の提供、輸送経済および物流セクターの役割の分析、効率性向上と物流コスト削減のための政府の実施策の特定、デジタル技術の分析、テクノロジーの進歩、電子商取引の成長、および技術革新の結果としての伝統的なバリューチェーンの変化の分析、経済と技術の変革の結果としての新たな市場機会を特定とその変化方法についてまとめています。本レポートの調査期間は、2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q298046888	
2017/11/22	MD8A-13	52	Kenyan Logistics Market, Forecast to 2020	ケニアの物流市場見通し (～2020年)	ケニアは東アフリカにおける地理的優位性により経済成長性を有しています。同国の成長率はアフリカ地域の成長率に劣るものの、ビジョン2030戦略が国民総所得の上昇を促進する見込みです。ケニアでは人口の2/3がインターネットアクセスが可能と推定され、アフリカの地域平均である18%よりも高く、ICTは同国の成長部門の1つです。本調査ではケニアについてマクロ経済指標から分析を行い、貿易シナリオや主要産品とともに物流部門における発展の見通しを提供することを目的としています。なお、調査基準年は2016年とし、調査対象期間は2010年から2020年までです。	http://www.frost.com/md8a	
2017/11/21	9AB2-13_20	52	Transportation and Logistics Market Insights—Russia	ロシアの交通および物流市場	ロシアの経済成長は、民間消費の増加と輸送インフラの改善が主な要因です。また、貿易は経済にとって重要であり、輸出入総額はGDPの51.0%に相当します。さらに、ロシア経済の豊かさに貢献する重要な長期的要因は、労働組合、政府、企業間の建設的なパートナーシップです。本調査は、ロシアの経済・貿易、貨物、輸送、物流、倉庫業に関する主要な開発と動向を調査、分析し、提供しています。具体的には、ロシアの経済と貿易を促進する主要な要因の概要、輸送経済および物流セクターの役割の特定、効率性向上と物流コストの削減のための政府の実施策の特定、デジタル技術の進歩の分析、テクノロジーの進歩、電子商取引の成長、規制の変更、投資の結果として伝統的なバリューチェーンの変化の分析、競争環境の変更方法についてまとめています。本レポートの調査期間は、2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q298045411	
2017/11/21	K1C2-18	87	Premium Wiper Blades Offer High Growth in North America, Forecast to 2023	北米におけるプレミアムワイパーブレード市場成長見通し (～2023年)	北米のワイパーブレードアフターマーケットは、従来型からビームやハイブリッド製品へ需要が大きく変化しており、サプライヤーにとって大きな成長の可能性を提供しています。ワイパーブレードアフターマーケットの総市場規模は、2016年の約8億8,850万米ドルから2023年には約10億4,000万米ドルに増加するとみられますが、中でもビームハイブリッドセグメントでは、大幅な成長が見込まれます。本レポートはサプライヤーやディストリビューターへの様々なインタビューに基づき、北米におけるワイパーブレードアフターマーケットの分析を提供しています。具体的な内容としては同市場における販売台数と売上高、流通チャネル分析、サプライヤー別の市場シェア、プライベートブランド、ブランドライセンス、直輸入、合併買収などの主要動向と成長機会についてまとめています。調査基準年は2016年とし、2014年から2016年までの実績と2017年から2023年の予測を提供しています。	http://www.frost.com/k1c2	
2017/11/21	K1B1-18	51	Impact of Artificial Intelligence on Autonomous Driving Development	自律走行技術開発に及ぼす人工知能(AI)の影響	自動運転業界の競争が加速するにつれ、自動車のあらゆる側面が革新と変革にさらされています。中でも人工知能(AI)による自律走行開発は想像を超える変革をもたらすでしょう。特定のシナリオの処理に数時間のプログラミングを要する状況も、現在ではデータサイエンティストがディープニューラルネットワーク(DNN)に何千もの画像を学習させるだけで運転が可能になりました。本調査では高度自律走行車の実現に必要な人工知能の開発に関し、グローバルにおける分析を実施しています。調査基準年は2016年とし、2023年までの市場見通しを提供しています。	http://www.frost.com/k1b1	
2017/11/20	MD23-18	83	Electric Vehicle Retail Strategies and Formats in North America and Europe, 2017	欧米におけるEV小売戦略 (2017年)	電気自動車(EV)は独自の価値により市場を変革させており、様々なラグジュアリーOEMがEV製品ポートフォリオの拡大に注力しています。本調査では各OEMの電気自動車ブランド戦略、現在および将来モデルのマーケティング戦略、電気自動車関連の店舗内のデジタル化動向など、小売戦略についての理解を目的としています。具体的には、2025年までのEV総市場規模およびEV走行用モーターの市場規模などについてまとめています。調査対象期間は2017年、調査対象車種はプラグインハイブリッド車(PHEV)および電気自動車(EV)です。	http://www.frost.com/md23	
2017/11/17	9AB2-13_19	50	Transportation and Logistics Market Insights—Belgium	ベルギーの交通および物流市場	ベルギーの経済成長は、民間投資の回復によって支えられており、2017年から2018年は労働力市場の低迷が個人消費に影響を与えたと見られますが、高い稼働率と好調な財政状況が、民間投資を促進するでしょう。本調査は、ベルギーの経済・貿易、貨物輸送、物流、倉庫業に関する主要な動向と動向を調査、分析し、提供しています。具体的には、経済と貿易を促進する主要な要因の概要、輸送経済と物流市場の役割、効率性向上と物流コスト削減のための政府の実施策、デジタル技術の進歩、経済と技術の変革の結果としての新たな市場機会の特定、これらの期待される競争環境の変化についてまとめています。本レポートの調査期間は、2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q298039318	
2017/11/17	K1F0-18	88	Latin American Commercial Vehicles Market, Forecast to 2023	ラテンアメリカにおける商用車市場見通し (～2023年)	ラテンアメリカにおける商用車市場は、社会的、経済的、技術的な破壊的革新により多くの変革を経験しており、地域物流、経済活動、商用車フリート買い替えを促進する新規規制、OEMおよびティア1サプライヤーにより提供される新ビジネスモデルに影響を与えています。フロスト&サリバンの予測では、既存の市場課題にもかかわらず、同市場は2023年までに年間200,000台超の売上を記録すると見込まれます。本調査では、アルゼンチン、ブラジル、チリ、メキシコ、コロンビア、ペルーを対象に、主要市場動向、成長機会、市場変革、市場指標、新ビジネスモデルなどについてまとめています。また、主な市場参入企業と2023年までの市場見通しについても分析を提供しています。	http://www.frost.com/k1f0	

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2017/11/16	9AB2-18_85	69	Landscape of Auto Leasing Market in Malaysia	マレーシアにおける自動車リース・レンタカー市場見通し (~2021年)	マレーシアは、アジア・太平洋地域における自動車リース・レンタカー向けトップ規模が最も小さい国のひとつであり、同国の自動車リース・レンタカー市場は成長可能性を秘めています。本レポートは、マレーシアにおける自動車リース・レンタカー市場の現在および将来動向に関する調査を提供しています。具体的な内容としては、マレーシアにおける自動車リース・レンタカー市場の概要とセグメント、主要企業プロファイルや競合状況、市場成長要因・阻害要因、同市場における将来のフリート台数規模見通しなどについてまとめています。調査対象期間は2016年から2021年までです。	http://www.frost.com/q298046891
2017/11/16	MD50-18	96	Global Executive Analysis of the Fuel Cell Passenger Car Market, Forecast to 2030	グローバルにおける燃料電池乗用車市場見通し (~2030年)	このレポートは、燃料電池車の導入や水素燃料ステーション開発のための民間・公共部門の新ビジネスモデルを導入するために取り組んでいる、各国の政策に焦点を当てています。民間や公共部門では、性能、効率性、ユーザビリティを向上させ、燃料電池車の導入コストを削減するために、OEM、ティア1サプライヤー、燃料電池メーカーに投資してきました。本調査では将来的な市場規模 (シナリオ分析、地域別内訳、市場内訳)、市場規模とOEMプロファイル、主な技術提携、導入コスト削減方法などについてまとめています。調査基準年は2016年とし、2017年から2030年までの予測を提供しています。	http://www.frost.com/md50
2017/11/14	MD3E-18	88	European Category Management Report—Automotive Sensors Aftermarket, Forecast to 2023	欧州カテゴリ別調査：自動車用センサーアフターマーケット見通し (~2023年)	アフターマーケットにおける自動車用センサー6種類の需要は、2016年に8億3,600万ユーロと推定されていますが、2016年から2023年までの年平均成長率 (CAGR) は3.5%に達すると予測されています。O2センサーは売上高で最大の市場であり、温度センサー (油冷、空冷、クーラント) は販売台数で最大の市場です。本レポートでは、欧州28か国の乗用車および軽商用車 (LCV) 用センサーアフターマーケットについて、独立系アフターマーケットとOESディーラーサービスチャネルに分けて分析を実施しています。具体的なことは、センサー市場規模とその成長機会、主要サプライヤー、流通チャネルの変化などをまとめています。調査対象期間は2013年から2023年までとし、2017年以降の予測を提供しています。	http://www.frost.com/md3e
2017/11/14	K22C-18	72	North American Class 1-3 Steering and Suspension Components Aftermarket, Forecast to 2023	北米におけるクラス1~3向けステアリング、サスペンション関連部品のアフターマーケット見通し (~2023年)	この調査では、北米 (米国およびカナダ) における、クラス1~3のステアリングおよびサスペンションのアフターマーケットについて、市場予測および成長機会、主要サプライヤー別の市場シェアについて分析を実施しています。北米のステアリングおよびサスペンションアフターマーケットは、今後数年で販売台数が好調な伸びを見せると予測され、保有台数 (VIO) の増加や平均車齢の上昇が市場成長を促進する主な要因です。市場は成熟段階にあり販売台数は数増も、単位当たりの平均価格の上昇により売上高は比較的高い成長を遂げる見込みです。調査基準年は2016年とし、予測期間は2017年から2023年です。	http://www.frost.com/k22c
2017/11/13	K1FB-18	42	North American Trailer Telematics Market, Forecast to 2023	北米におけるトレーラー向けテレマティクス市場見通し (~2023年)	この調査では北米のトレーラー向けテレマティクスサービスを分析し、市場成長機会と影響についてのまとめを提供しています。過去10年間で物流業界は、フリート、人材、倉庫、資産の効果的な管理と活用を導入し変革を遂げました。物流業界におけるステークホルダー全体が劇的な変化を目的にしていますが、様々な課題により効率的な運用の継続的な改善と管理など、高度物流プラットフォームの利益を享受できていません。テレマティクスは、車両データ、ドライバー情報、貨物状況などの大部分の情報がリアルタイムテレマティクスプラットフォームを使用し配信されるため、物流の柱として機能します。この調査では、テレマティクス市場の主要動向、競合状況、サービスソリューションの価格設定とパッケージ化、収益予測、トレーラータイプ別のサービス採用率についてまとめています。なお、調査期間は2016年から2023年までです。	http://www.frost.com/k1fb
2017/11/10	9AB2-13_18	52	Transportation and Logistics Market Insights—Italy	イタリアの交通および物流市場	イタリア経済の回復は、内需の高まりを背景に緩やかなペースで推移しています。何年もの停滞の後、物流・輸送部門は回復傾向にあり、成長の兆候を示す貿易黒字は原材料の輸入価格の低下により拡大しています。本調査は、経済と貿易に関する主要な開発と動向、イタリアにおける貨物輸送と物流、倉庫部門を調査し、分析を提供しています。具体的には、イタリアの経済と貿易を促進する主要因の概要、輸送経済および物流セクターの役割の分析、効率向上と物流コスト削減のための政府の実施策、デジタル技術の進歩、テクノロジー、電子商取引の成長、規制の変更、投資の進歩による伝統的なソリューションの変化、経済と技術の変革の結果として生じている機会の特定、これらの期待される競争環境の変化についてまとめています。本レポートの調査期間は、2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q298023357
2017/11/9	MD56-18	62	Electric Vehicle Platform Strategy of Global Passenger Vehicle OEMs, Forecast to 2025	グローバル乗用車OEMによるEV用プラットフォーム戦略見通し (~2025年)	グローバルで排ガス規制が厳しくなるにつれ、航続距離の長い電気自動車 (EV) が早急に求められています。EVプラットフォームでEVを開発することは、航続距離の改善策のひとつです。本レポートではグローバルにおける乗用車OEMが採用見込みの主要なプラットフォーム戦略と課題である高開発コストへの対処、EV専用、内燃機関ベースプラットフォームにおけるターゲットセグメント、専用プラットフォーム導入による航続距離やバッテリー容量への影響などについてまとめています。欧米主要各国および日中韓を調査対象地域とし、2016年を基準とした2017年から2025年までの予測を提供しています。	http://www.frost.com/md56
2017/11/9	K22D-18	67	US Advanced Suspension Market, 2017	米国における先進サスペンション市場 (2017年)	自動車産業における次の注目技術とされた先進サスペンションシステムは、そのコスト高によりシステムの普及は過去数年高水準に留められていました。数年前まで米国の顧客は電子サスペンションに否定的でしたが、今後は関心が高まり多くのモデルに先進サスペンションシステムが搭載される予定です。本レポートは、ワシントン州の先進サスペンションシステムから優れた走行性能を提供する先進サスペンション市場について調査を実施しています。具体的には、主な技術動向やOEM別の現行サスペンションシステムのモデル別情報とこれらシステムの概要、主要サプライヤーの市場成長機会と課題についてまとめています。動作の詳細な説明が記載されています。調査対象地域は米国、調査対象期間は2017年です。	http://www.frost.com/k22d
2017/11/9	P97D-13	96	Future of the Global Online Freight Services Market, Forecast to 2025	グローバルにおけるオンライン貨物物流サービス市場の将来 (~2025年)	ビッグデータや解析技術、クラウドプラットフォーム、人工知能などの技術分野の進歩により、オンライン貨物サービスなど物流市場に新たな市場が生まれました。従来型の物流業者 (LSP) と物流スタートアップ企業の両方を含むオンライン貨物サービスプロバイダーは、デジタル技術を活用してウェブやアプリベースの革新的なサービスを提供することで、物流ソリューションの非効率性を可視化し、改善します。本調査の目的は、グローバルにおけるオンライン貨物サービス市場の動向と物流業界への影響を調査、分析し予測することです。具体的には市場成長要因と阻害要因の特定、オンライン貨物サービスの主要サービスおよびビジネスモデル、今後の競合状況、市場変革による物流市場全体への影響などをまとめています。調査対象期間は2016年から2025年とし、2018年以降の予測を提供しています。	http://www.frost.com/p97d

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2017/11/8	9AB2-13_17	62	African Electro Mobility Market in Future Cities, Forecast to 2025	アフリカの将来都市における電動モビリティ市場 (~2025年)	電動モビリティの採用は、政策や都市計画に大きな影響を与えています。理想的な都市環境としての「未来都市」の利益を実現させるために、現代の都市において排ガスや渋滞を減らすことは必要です。本調査では、過去10年間に目覚ましい進歩を遂げた電気自動車を中心に、アフリカの将来の都市形成に寄与する主要因について分析し、さまざまな電動モビリティがどのようにこの変化を牽引しているかについてまとめています。また、本調査では動く歩道やケールカーなど、都市における排ガスや渋滞の削減に寄与する代替移動手段についても取り上げています。調査対象地域はケープタウン、アディスアベバ、キガリ、ラゴス、マラケシュ、カイロ、サンデニエスのアフリカの主要都市です。なお、調査対象期間は2015年から2030年までです。	http://www.frost.com/q298015416
2017/11/6	K1D8-18	55	North American Heavy Duty Truck Select Chassis Components Market Analysis 2016-2025	北米における大型トラック用シャーシ部品市場 (2016~2025年)	北米における大型トラックシャーシコンポーネント市場は、技術進歩や生産コストの上昇による部品価格の上昇にもかかわらず、2025年までに15.7億ドルから23.9億ドルへと拡大する見込みです。本レポートでは、アクスル、サスペンション、ブレーキ、ドライブシャフトといった大型トラックシャーシコンポーネント市場の概要を主要動向や2025年の販売台数および売上予測とともに紹介しています。具体的な内容としては、現行のトラックシャーシコンポーネントに影響を与える自動車業界の主要動向や、コンポーネント別市場予測と市場シェア、主要シャーシコンポーネントサプライヤー、市場の成長機会についてまとめています。調査基準年は2016年とし、2017年から2025年までの予測を提供しています。	http://www.frost.com/k1d8
2017/11/6	9AB2-13_16	49	Transportation and Logistics Market Insights—Brazil	ブラジルの交通および物流市場	ブラジルの経済は、2015年と2016年に低下しています。その要因としてあげられる一次産品への過度の依存、高い操業コスト、高インフレ、低い生産性が近年問題となっています。本調査は、ブラジルの経済・貿易、貨物輸送、物流、倉庫業に関する主要な動向を調査し、分析を提供しています。具体的には、ブラジルの経済、貿易に影響を及ぼす現在のシナリオと主要因の概要の提供、輸送および物流部門の役割の分析、それによる現在の市場動向への影響、3PLおよび倉庫市場に影響を与えるデジタル技術の主要な進歩、およびそれに関する議論、電子商取引の成長、新しいビジネスモデル、および投資を通じての伝統的な輸送と物流のロジチェーンの変化の分析、成功のための重要な成長機会と戦略的要素についてまとめています。本レポートの調査対象期間は2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q298009585
2017/11/1	K219-18	54	North American Commercial Vehicle Tire Retreading Market, Forecast to 2025	北米における商用車向け再生タイヤ市場 (~2025年)	北米の商用車向け再生タイヤ市場は、2016年の1,450万本から2025年には1,510万本に増加すると予想されています。現在、再生タイヤ市場に影響を与えている主な要因は、トレッド寿命の上昇、ケーシングの供給増、人件費の増加、熟練技術者の不足などがあります。再生タイヤ市場が直面する重要なリスクの1つは、中国製タイヤの品質改善です。加えて、小規模~中規模フリート業者においては、再生タイヤのコストメリットは十分に理解されないでしょう。本調査では、北米における商用車向け再生タイヤ市場に関し、再生タイヤの製造過程や流通チャネル分析、市場成長促進要因と阻害要因、主要サプライヤー、市場規模および市場の成長機会などについてまとめています。中・大型トラック、牽引車、バスを対象に、2016年から2025年までの調査を提供しています。	http://www.frost.com/k219
2017/11/1	9AB2-13_15	55	Transportation and Logistics Market Insights—The United Kingdom	英国の交通および物流市場	英国の経済成長は、Brexit交渉によってある程度支出と投資が抑制されましたが、移行期間である2022年まで不確実性は残るでしょう。しかし、製造業、とりわけ自動車部門の成長は、物流部門の発展に寄与すると思われるでしょう。また、飲食店の増加による冷蔵食品物流や道路投資戦略が物流部門の成長に好影響を与えるでしょう。本調査は、英国の貨物、輸送、物流、倉庫業における経済と貿易に関する主要な開発と動向を調査し、分析を提供しています。具体的には、輸送および物流セクターの役割、政府の実施策、デジタル技術の進歩、その影響による伝統的なロジチェーンの変化、競争環境の変更方法についてまとめています。本レポートの調査期間は、2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q298001161
2017/10/31	9AB2-13_14	52	Transportation and Logistics Market Insights—The Netherlands	オランダの交通および物流市場	オランダの経済成長は、主に民間消費の増加と輸送インフラの改善によってもたらされます。また北欧諸国との貿易における地理的優位性により、外国からの投資を誘致しています。本調査は、オランダの貨物、運輸、物流、倉庫部門における経済と貿易に関する主要な動向と傾向を調査し分析を提供しています。具体的には、オランダの経済・貿易を促進する重要要因の特定、運輸・物流セクターの役割、物流関連の政府イニシアチブと、デジタル技術の進歩、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査対象期間は2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q297995345
2017/10/31	K154-18	61	Advanced Driver Assistance Systems in Heavy Duty Trucking	大型トラック向け先進運転支援システム (ADAS)	ドライバーや整備士の不足は経済や利益率の懸念とともに、フリート管理者の先進トラック技術の選択に影響を及ぼしています。信頼性や規制、労働問題が解決すれば、安全性、技術、および運行コスト低下といった利点により自律走行トラックは増加するでしょう。本調査では市場動向、技術動向、自律走行のための電子アーキテクチャの統合など、大型トラックの自律走行を可能にする安全技術の概要を提供しています。デジタルコンポーネントの継続的通信の必要性といった自律走行システムの技術的課題は、Tier 1サプライヤーおよび半導体企業にとって機会となるでしょう。また、衝突軽減技術やカメラがリスクを低減し、保険料を削減することが期待されています。調査対象期間は2018年から2025年までです。	http://www.frost.com/k154
2017/10/31	K222-18	53	North America and Europe Medium-Heavy Duty Truck Seating Systems Market, Forecast to 2025	欧米における中・大型トラック向けシート市場見通し (~2025年)	北米および欧州の中型トラックのシートシステム市場は、2016年から2025年にかけて年平均2.2%で成長すると予想されます。ドライバー不足や定着率、健康とウェルネス・ウェルビーイング、デジタル化とIoT、自律運転と軽量化がシート市場を変革する主要動向です。腰痛はドライバーの健康状態を悪化させる主要因ですが、フリート管理者がドライバー定着率改善のために高性能シートを選択することで、同台数は今後9年間で2倍になります。本レポートでは北米・欧州地域におけるシートシステム市場規模や成長機会、価格分析等をまとめています。調査対象期間は2016年から2025年までです。	http://www.frost.com/k222
2017/10/31	MCFF-18	82	Future of Tire Retailing in North America and Europe, Forecast to 2023	欧米におけるタイヤ小売業の将来 (~2023年)	交換用タイヤの需要は、主にウィンタータイヤや法規変化、自動車保有台数の影響を受けます。また、新たな都市型モビリティも車両の平均年間走行距離に影響を与え、タイヤ交換の需要に影響します。本レポートは北米および欧州における商用車向け交換用タイヤ小売業の将来について分析しています。主な内容としては、主要動向、オンライン販売、川下の活動、新規ビジネスモデル、付帯サービスの提供、拡大が見込まれるTier4タイヤの影響などについてまとめています。またタイヤサプライヤーやオンライン専門業者販売店のベンチマーキングとともに、各社ごとの市場機会と課題を特定しています。調査基準年は2016年とし、出荷台数や金額について2017年から2023年までの予測を提供しています。	http://www.frost.com/mcff

FROST & SULLIVAN							フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)	
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL		
2017/10/31	MD64-18	52	Strategic Analysis of Steer-by-Wire, Europe and North America, 2017	欧米におけるステア・バイ・ワイヤ市場分析 (2017年)	車線維持支援、アダプティブクルーズコントロール、駐車支援などの機能が一段と強化されるにつれて、ステアリング技術はドライバーによる操作から分離されると予想されています。その中で革命的な技術の一つがステア・バイ・ワイヤ (SbW) です。本レポートはステア・バイ・ワイヤ市場の将来を形成するメガトレンドの特定やステア・バイ・ワイヤ技術に影響を及ぼす現在の規制と将来的な規制変更、各ステアリングシステムのステア・バイ・ワイヤの比較分析や次世代技術の比較、自律走行技術開発による影響などについてまとめています。なお、本レポートは北米、欧州、アジア太平洋地域を対象とし、2025年までの市場予測を提供しています。	http://www.frost.com/md64		
2017/10/25	MD48-18	91	Automotive Data Monetisation Pricing and Business Models	自動車業界におけるデータビジネスとその事業モデル	OEM、データアグリゲーター、従量型保険 (UBI) 会社、およびTier1サプライヤーは、スマートモビリティ、コネクテッドカー、自律走行車などのデータサービスに焦点を当て、2022年から2030年間に新たなビジネスモデルを導入することを目指しています。本調査では、これらの企業のデータ販売に関し、戦略や成長分析、競争環境、ビジネスモデル、将来の注力領域を分析しています。具体的な調査内容は、自動車業界におけるデータ販売ビジネスモデル、現在および将来の市場構造、付加価値創出に必要な車両の利用事例やデータの種類の種類、データあたりの予想価格、2017年から2025年にかけてのデータ販売の市場機会、主な参入企業や提携などです。調査対象期間は2017年から2025年までです。	http://www.frost.com/md48		
2017/10/11	9AB2-18_71	72	Strategic Analysis of Automated Car Market in Japan, 2016	日本における自動運転車市場 (2016年)	日本の自動運転車市場は、2016年に市場で初めてのL2自動運転機能を装備した車両の商品化により、急成長を遂げました。国内の新車販売台数が減少する中で、日本の自動車OEMの多くは、革新技术やコネクテッドサービスを新たな収益源とすることを目指しています。中でも自動運転技術は多くの業界で進化をもたらす可能性の高い技術の一つですが、未だ多くの課題があります。本レポートでは日本における自動運転車市場について、各メーカーの取り組みや政府戦略、主要参入企業や将来機会等について概要をまとめています。調査基準年は2016年とし、2017年から2025年までの予測を提供しています。	http://www.frost.com/q297942259		
2017/10/9	9AB2-13_13	49	Transportation and Logistics Market Insights—Argentina	アルゼンチンの交通および物流市場	アルゼンチンの経済成長は、海外との貿易協定を含む新政権の経済政策により牽引されています。同様に、主要穀物や金属鉱石関連の輸出税を廃止・大幅削減する新税制改革が、農業および鉱業関連の輸出を推進しています。これらは短期的に輸送および倉庫部門に好影響をおよぼします。一方、道路交通網や鉄道網、港湾や空港整備といった政府による大型インフラ投資が長期的なアルゼンチンの経済発展に寄与するでしょう。本調査は、アルゼンチンの貨物、運輸、物流、倉庫部門における経済と貿易に関する重要な動向と傾向を調査し分析を提供しています。具体的には、アルゼンチンの経済・貿易を促進する重要な要因の特定、運輸・物流セクターの役割、物流関連の政府イニシアチブまとめ、デジタル技術の進歩、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査対象期間は2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q297934398		
2017/9/28	P954-13	150	Transportation and Logistics Market in Africa—Transformational Trends and Emerging Growth Prospects	アフリカにおける交通および物流市場	経済や市場潜在性の懸念から2017年の南アフリカやナイジェリア経済は成長が低迷する見通しです。一方、ケニアやモロッコでは経済状況の改善により安定した成長を見せています。これらの国々経済成長は異なるものの、交通・物流関連インフラの開発は共通の優先事項です。多数の地域・国家レベルの交通インフラ開発プロジェクトにより地域交通網が発達すると見られています。本調査は、アフリカの貨物、運輸、物流、倉庫部門における経済と貿易に関する重要な動向と傾向を調査し分析を提供しています。具体的には、アフリカの経済・貿易を促進する重要な要因の特定、運輸・物流セクターの役割、物流関連の政府イニシアチブまとめ、デジタル技術の進歩、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査対象期間は2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/p954		
2017/9/28	P9C5-13	156	South East Asia Transportation and Logistics Market, Forecast to 2018	東南アジアにおける交通および物流市場の見通し (～2018年)	域内経済の統合、自由貿易協定、eコマース、デジタル化は東南アジア地域における物流市場を変革させる主要因です。インドネシア、タイ、ベトナム、フィリピンでは、貿易・国内需要の高成長が、交通・物流市場の成長を牽引する見込みです。本調査は、東南アジアの貨物、運輸、物流、倉庫部門における経済と貿易に関する重要な動向と傾向を調査し分析を提供しています。具体的には、東南アジアの経済・貿易を促進する重要な要因の特定、運輸・物流セクターの役割、物流関連の政府イニシアチブまとめ、デジタル技術の進歩、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査対象期間は2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/p9c5		
2017/9/28	K206-18	74	Strategic Analysis of US Consumers' Preference to Pay for Driving Dynamics Systems and Technologies, 2016	米国における消費者調査：ドライビングダイナミクスシステムと技術に対する購買意欲 (2016年)	自動車業界では収益が低下しており、顧客のブランド・ロイヤリティを維持し、次の車両購入体験を最高のものにする必要があります。ドライビングダイナミクス機能は、顧客の車両保有期間全体にわたって最高の体験を生み出すことができると見られています。この調査では、自動車市場参入企業のビジネス変革に役立つ、乗用車向けドライビングダイナミクスシステムおよび技術に対する米国の消費者の嗜好について分析しています。具体的な調査内容は、車両選定・購入プロセスにおける主要因、ドライビングダイナミクスシステムの重要性と嗜好、各システムや技術の今後の購入可能性と普及率などです。なお、調査期間は2016年です。	http://www.frost.com/k206		
2017/9/28	MD6D-18	78	Analysis of Volkswagen Strategies, 2014-2025	フォルクスワーゲンの戦略 (2014～2025年)	本調査では、2010年にフォルクスワーゲン (VW) グループが発表した「Strategy 2018」の成果の分析および最新版の「Strategy 2025」について分析を実施しています。VWグループは、世界の大手自動車メーカーの一つであり、2016年にはトヨタに取って代わり販売台数トップとなりました。ディーゼルの排ガス不正問題は米国のブランドイメージに大きな影響を与えたものの、中国や欧州などの市場では顧客満足度が高く、売上が増加しています。VWグループは「Strategy 2025」により将来のトップ自動車メーカーとしての地位を確立することを目指しています。本調査は、「Strategy 2025」の重要項目、戦略実行のための同社の注力領域、製品ポートフォリオへの影響、主要技術分野、グループ内の新たなモビリティ会社などの理解を目的としています。調査対象期間は2014年から2025年までです。	http://www.frost.com/md6d		
2017/9/28	P999-18	119	Growth Opportunities in Chinese Commercial Truck Market, Forecast to 2025	中国の商用トラック市場における成長機会とその見通し (～2025年)	中国は世界最大の自動車市場であり、同国の商用トラック市場は、2016年から2025年にかけて年平均成長率 (CAGR) 3.1%で成長が見込まれています。デジタル貨物仲介、自律走行、コネクテッドサービス、デジタル化などは、長期的なトラックの需要の増加を促進する主な成長機会です。これらの新しい事業分野は、中国における物流やフリート事業者の運転経験を向上させると期待されます。本レポートでは、小型・中型および大型商用トラック市場における商用トラックプラットフォーム戦略について、調査分析および予測を提供しています。市場成長促進要因と阻害要因、成長機会と2025年までの市場動向への影響について分析を実施しています。調査対象期間は2011年から2025年までです。	http://www.frost.com/p999		

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)					
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL	
2017/9/26	9AB2-13_12	50	Transportation and Logistics Market Insights—France	フランスにおける交通および物流市場	フランスは産業と物流のプロジェクト数の多さで欧州を牽引しており、有利な融資条件、減税、消費者マインドの高まりによる内需の増加が、2017から2018年にかけてフランスの経済成長を促すような投資や消費につながります。「物流計画2025」では、サプライチェーンの運営管理を簡便化する一方、輸送網のインターモーダル化を強化するためのインフラストラクチャの改善に重点を置いています。本調査は、フランスの貨物、運輸、物流、倉庫部門における経済と貿易に関する重要な動向と傾向を調査し分析を提供しています。具体的には、フランスの経済・貿易を促進する重要な要因の特定、運輸・物流セクターの役割、物流関連の政府イニシアチブと、デジタル技術の進歩、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査対象期間は2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q297891449	
2017/9/25	MD4D-18	-	Global Electric Passenger Car Sales Database, Forecast to 2025	グローバルにおける電気自動車 (EV) 市場予測データベース (～2025年)	EV市場は勢いを増しており、現在は乗用車市場シェアの1%未満ですが、2025年にはピュアバッテリーEV (BEV) やプラグインハイブリッド (PHEV)、マイルドハイブリッド、フルハイブリッド (HEV) が市場シェアの10%以上を占めると見られます。厳しい排ガス規制のためOEMの95%以上がEVを開発しており、欧州諸国の大部分は将来的にディーゼル車を禁止するなど、2025年以降の従来車両の使用を制限しています。本調査は、グローバルの電気自動車 (EV) 市場に関する販売予測データベースです。北米、欧州、アジア (中国、日本、韓国) の主要市場を対象として、地域別、ブランド別、EVタイプ別、セグメント別、車両モデル別の販売台数予測を提供します。調査対象期間は2015年から2025年までです。	http://www.frost.com/md4d	
2017/9/25	K10D-18	44	Global Supplier Contribution to the Fastest Growing Automotive Technologies, 2012–2016	高成長自動車技術領域におけるグローバル部品サプライヤー (2012～2016年)	本レポートでは、2016年における主要グローバル自動車サプライヤー30社に対し、財務および技術的観点から調査分析を行っています。具体的内容としては、2025年までに急成長を遂げる技術の特定や、グローバル主要4地域 (欧州、北米、アジア太平洋およびその他) におけるプレゼンスを元にしたサプライヤーの今後の成長性について分析しています。調査対象企業は、総合型 (電子・エン지니어リング等を広範に供給)、電子、外装・内装、シヤン・セーフティ領域サプライヤーです。調査対象期間は2012年から2016年までです。	http://www.frost.com/k10d	
2017/9/21	K1CC-18	60	Global Truck Video Safety Solutions Market, Forecast to 2023	グローバルにおけるトラック用カメラベースセーフティ技術市場の見通し (～2023年)	本調査では、グローバルにおける小型・中型・大型トラック向けカメラ&ビデオソリューションに関する分析および市場成長機会や影響についてまとめています。法令遵守、安全性、および説明責任が求められる環境下で、フリートユーザは高度な安全技術による安全運転の改善や車両リスクの削減を目指しています。フリートユーザは、経済性や衝突コストに直接影響を及ぼすようなシステムの性能に基づいて、安全技術の投資収益率を評価しています。北米および欧州でカメラ&ビデオ安全ソリューションの認知度が高まるにつれ、テレマティクスおよび安全システムベンダーの市場参入が増えています。本調査では、主要市場動向、競合状況、ソリューションの価格設定とパッケージ化、事業事例、グローバルにおける売上予測と地域別・車両セグメント別・ソリューションタイプ別の内訳について分析しています。またLytx, SmartDrive, GreenRoad, PeopleNet, Omnitracs, MIX Telematics, MuHu, Netradyne, Lightmetricsなどの主要ベンダープロファイルも含んでいます。調査期間は2016年から2023年です。	http://www.frost.com/k1cc	
2017/9/19	P953-67	201	Middle East and North African Transportation and Logistics Market, Forecast to 2018	中東・北アフリカにおける交通および物流市場の見通し (～2018年)	経済の多様化と輸送インフラ整備は、中東・北アフリカ地域における経済・物流産業の主要な成長促進要因です。この地域は、地理的優位性と航空・海港インフラの改善で、主要な積み替え拠点として浮上しています。また、中産階級の増加、変化する消費者の嗜好、および経済発展が、将来における市場の新たな機会を生み出すでしょう。本レポートの目的は、経済と貿易、中東・北アフリカ地域の貨物、運輸、物流、倉庫業に関する主要動向を調査・分析することです。具体的な内容としては、経済・貿易を促進する主要要因の概要、各地域経済の成長を促進する輸送・物流セクターの役割、政府によるイニシアチブ、デジタル技術の発展、VPUチェーンの変化、新たな市場機会や競争環境についてまとめています。	http://www.frost.com/p953	
2017/9/18	9AB2-13_11	47	Transportation and Logistics Market Insights—Portugal	ポルトガルにおける交通および物流市場	安価な人件費や地理的優位性のため、ポルトガルはラテンアメリカ・アフリカからスペインまでの生鮮食品の輸送拠点となっています。ポルトガルの貿易の70%以上が欧州圏内であり、主要取引国は、スペイン、フランス、ドイツです。また、2016年から2018年までのセクターの成長を促進する主要イニシアチブの1つとして、輸送インフラの整備、ポルトガルの主要港湾の能力増強、鉄道貨物部門の近代化など、輸送インフラ戦略計画を2014年に発表しています。本調査は、ポルトガルの貨物、運輸、物流、倉庫部門における経済と貿易に関する重要な動向と傾向を調査し分析を提供しています。具体的には、ポルトガルの経済・貿易を促進する主要要因の特定、運輸・物流セクターの役割、物流関連の政府イニシアチブと、デジタル技術の進歩、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査対象期間は2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q297870974	
2017/9/18	9A08-18	-	North America Car Parc Analysis, 2010–2025	北米自動車保有台数分析データベース (2010～2025年)	本調査は北米 (米国、カナダ) の自動車保有台数予測に関するデータベースです。国別の新車販売台数、平均使用年数、廃車率等を元に統計的分析を行い、2010年から2025年までの各年における製造年別の車両台数に関する予測を提供します。本データベースにより、アフターマーケット向け製品の市場潜在力を導くことが可能です。各自動車部品の交換率とあわせ、部品の潜在的なアフターマーケット規模を特定するのに役立つでしょう。	http://www.frost.com/q297868293	
2017/9/18	9A08-18	-	Latin America Car Parc Analysis, 2010–2025	ラテンアメリカ自動車保有台数分析データベース (2010～2025年)	本調査はラテンアメリカ (アルゼンチン、ブラジル、チリ、メキシコ、ペルー) の自動車保有台数予測に関するデータベースです。国別の新車販売台数、平均使用年数、廃車率等を元に統計的分析を行い、2010年から2025年までの各年における製造年別の車両台数に関する予測を提供します。本データベースにより、アフターマーケット向け製品の市場潜在力を導くことが可能です。各自動車部品の交換率とあわせ、部品の潜在的なアフターマーケット規模を特定するのに役立つでしょう。	http://www.frost.com/q297875876	
2017/9/15	K1EC-18	-	Dashboard of Selected Automotive Aftermarket Parts, Forecast to 2020	北米における自動車向けアフターマーケット予測データベース (～2020年)	アフターマーケットの成長は保有台数と車齢の増加を主な要因としており、北米では製品カテゴリー全体で市場が成熟しています。本データベースでは、北米 (米国、カナダ) におけるアフターマーケットに関する見通しを提供しています。対象製品は、クラス1～3車両向けのブレーキパッド、ブレーキローター、バッテリー、エアフィルター、オイルフィルター、キャブエアフィルター、スパープラグ、スターター、オルタネーターおよびワイパーです。具体的には米国およびカナダにおける各製品の車両セグメント別の販売台数と売上高、平均価格、流通チャネルのシェア、市場シェアについてまとめています。調査基準年は2016年とし、予測期間は2016年から2020年までです。	http://www.frost.com/k1ec	

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2017/9/13	MD32-18	61	Blockchain in the Global Commercial Vehicle Industry, Forecast to 2025	グローバル商用車市場におけるブロックチェーンの見通し (~2025年)	ブロックチェーン技術の利用は、デジタル化と自動化を通じた商用車業界の発展に伴い増加するでしょう。デジタル変革、自動化、近代物流システム、およびフィンテック等の金融技術といった主要動向が、商用車業界におけるブロックチェーン技術の導入を促進する見込みです。ブロックチェーンの商用車業界への影響は2020年に以降次第に増加し、2025年までに、商用車業界の全体取引の10~15%がブロックチェーンになると予想されます。本調査はグローバルにおける小型・中型・大型商用トラックを対象に、市場概要、ポジショニング分析、事例紹介、市場機会等をまとめています。なお、本調査は顧客向けのカスタマイズが可能です。調査対象期間は2016年から2025年までです。	http://www.frost.com/md32
2017/9/13	MD51-18	51	European and North American Adaptive Steering Market, 2017	北米・欧州におけるアダプティブステアリング市場 (2017年)	自動車産業における次の注目技術とされたアダプティブステアリングは、この十年その期待に応えることはありませんでした。2003年発売のBMWのアダプティブステアリングソリューションは市場を変革させると見られたものの、他OEMの後輪操舵 (RWS) や全輪操舵 (AWS) の販売に押され、市場を十分に牽引できませんでした。しかし、2015年後半から2016年初頭にかけて、アダプティブステアリングソリューションが復活しており、ルノーやホンダは、後輪アダプティブステアリングで市場に再参入しました。本調査では、従来型車両から半自律走行車、完全自律走行車に移行する中で、アダプティブステアリング市場の将来を探っています。本調査は北米および欧州を対象とし、2017年を基準として2025年までの予測を提供しています。	http://www.frost.com/md51
2017/9/12	K179-18	-	Comparative Benchmarking of Total Cost of Ownership (TCO) of ICE and Electrified Powertrains	内燃機関・電動パワートレインの総保有コスト (TCO) 比較ベンチマーキング	車両構造の変化や各種パワートレインの出現により、顧客や事業者は車両保有コストを考慮した戦略が必要になります。このレポートは、2016年から2040年における車両の総保有コスト (TCO) を計算できる動的モデルを含む調査レポートです。米国、英国、ノルウェー、オランダ、フランス、ドイツの5国を対象に、パワートレインコスト、車両コスト、保険料・税金、KWh当たりバッテリーコスト、保有コスト (メンテナンス、燃費)、減価償却費、各車両セグメントのインセンティブ等を試算し、予測分析しています。本モデルを用いることで、パラメータを手動で設定し各時間軸における様々なパワートレイン上の投資収益率 (ROI) の計算が可能です。また、燃料・パワートレイン別車両の個人・フリート利用に関連する様々なコストの理解にも役立つと見られます。	http://www.frost.com/k179
2017/9/8	9AB2-13_10	52	Transportation and Logistics Market Insights—Finland	フィンランドにおける交通および物流市場	フィンランドの経済成長は、主に民間消費の増加と輸送インフラの改善が牽引しています。地理的に北欧諸国との貿易に有利であり、これにより外国からの投資を誘致しています。フィンランド経済の繁栄に貢献する重要な長期要因は、労働組合、政府、および企業間の建設的なパートナーシップです。また、同国はサービスとしてのモビリティ (MaaS) といったスマートモビリティの主要な市場参加者となるべく、技術中心型の輸送システム開発に取り組んでいます。本調査は、フィンランドの貨物、運輸、物流、倉庫部門における経済と貿易に関する重要な動向と傾向を調査し分析を提供しています。具体的には、フィンランドの経済・貿易を促進する重要な特定、運輸・物流セクターの役割、物流関連の政府イニシアチブと、デジタル技術の進歩、新たな市場機会等についてまとめています。本レポートの調査対象期間は2012年から2018年までです。	http://www.frost.com/q297852277
2017/9/4	MCF2-18	56	Global Mobility Market, Strategic Insight 2017	グローバルにおけるモビリティ市場 (2017年)	モビリティシェアリングビジネスは、世界中の多くの都市が直面している渋滞や公害などの差し迫った問題の解決策のひとつとして注目を集めています。このレポートはグローバルにおけるモビリティ市場の分析と2017年の見通しについてのまとめです。具体的な調査項目としては、ビジネスモデルの進化、市場の統合と提携、規制改革、先進技術動向などに焦点をあて分析し、成長の可能性についてまとめています。北米および欧州地域を対象に、カーシェアリング、P2Pカーシェアリング、法人向けカーシェアリング、eシェアリング (配車アプリ)、統合型モビリティ、ライドシェアリングの6つのシェアリングビジネスモデルを検討しています。調査対象期間は2016年から2025年です。本レポートは現在のモビリティ市場参入企業や市場動向を理解したい他の業界関係者を含む、自動車バリューチェーン参入各社に対し有益な情報を提供します。	http://www.frost.com/mcf2
2017/9/1	MD0F-18	76	Navigation Data Standard (NDS) in the Global Automotive Navigation Market, 2016	グローバルのカーナビ市場におけるナビゲーションデータ規格 (NDS) (2016年)	カーナビゲーション市場は複数のフォーマットで地図を提供していますが、データ規格の不在が自律走行車の実用化を阻んでいます。自律走行車における地図は1時間に何度も更新する必要がありますが、ナビゲーションデータ規格 (NDS) はこれら向けの地図を無線でシームレスに更新するの役に立ちます。このレポートでは、欧州および北米におけるナビゲーションデータ規格 (NDS) の概要と、グローバルの自動車業界におけるNDSの普及について調査しています。カーナビ市場における主要OEMおよびサプライヤーの能力、およびナビゲーションデータ規格の採用に対するアプローチの評価、さまざまなビジネスモデルの進化、主要OEMプロファイル、NDS準拠製品とその戦略についてまとめています。調査対象期間は2016年です。	http://www.frost.com/md0f
2017/8/30	9AB2-18_70	85	Connected Services and Big Data Analytics in the Global Farming Industry, Forecast to 2022	農業におけるコネクテッドサービスおよびビッグデータ分析に関する見通し (~2022年)	この調査は、農機市場におけるビッグデータ分析やコネクテッドサービスの発展について調査、分析し、農業を変革するこれらのサービスについて評価しています。農機市場はITにより新たな局面を迎え、スマートコネクテッド製品が新たな機会とビジネスモデルの新分野を生み出しています。本調査では、農業分野におけるビッグデータソリューションやサービスの採用動向や、今後生まれる農業関連技術、OEMによるデジタル化の取り組み、農業におけるデジタルテレマティクス市場成長・阻害要因、農機OEM、Tier1サプライヤー、IoTサービスプロバイターにとっての農場デジタル化の今後の見通しについてまとめています。本対象技術は、精密農業、ビッグデータ、IoT、および自動システムと、トラクター、収穫機、農業散布機などの農機を含みます。調査対象期間は2016年から2022年までです。	http://www.frost.com/q297829657
2017/8/28	K10F-18	119	Latin America New Mobility Business Models, Forecast to 2023	ラテンアメリカにおける新たなモビリティビジネスモデルの見通し (~2023年)	ラテンアメリカにおけるモビリティ市場は、人口変動や人々の嗜好、技術の変化により、オンデマンドや統合型、マルチモーダルモビリティネットワークといった新たなモビリティビジネスモデルの提供に急速に移行しています。本調査の目的は、アルゼンチン、ブラジル、チリ、メキシコの主要中南米市場の新たなモビリティ市場を調査、分析し、2023年までのシェアモビリティや統合型モビリティ市場の動向を理解することです。具体的には市場構造や統合状況、各市場において有望なモビリティビジネスについて現状と予測をまとめています。対象となるモビリティビジネスはカーシェアリング、自転車シェアリング、ライドシェアリング、eシェアリング (タクシー配車)、統合型モビリティ、企業向けモビリティです。調査対象期間は2016年から2023年までです。	http://www.frost.com/k10f
2017/8/21	K178-18	77	Digitization of Heavy-duty Truck Retailing, Forecast to 2025	大型トラック小売業におけるデジタル化見通し (~2025年)	本レポートはグローバルにおけるトラック小売業のデジタル化について分析しています。トラック小売業とそのビジネスモデルは陳腐化しており、見直しの時期を迎えていると言えます。デジタル化は、トラック小売ビジネスモデルやOEM・ディーラー戦略の変化を推進するソリューションとなります。トラック小売におけるデジタル化は、小売の発展、顧客の購入プロセス、アフターサービス、サプライチェーンの最適化、サービスとしてのトラック (TaaS)、販売管理の5つの主要分野に影響を与えています。なお、本レポートの調査対象期間は2016年から2025年までです。	http://www.frost.com/k178

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2017/8/18	9AB2-18_69	101	Assessment of Disruptive Business Models and Global Startups in the Farming and Off Highway Vehicles Market, 2017	農業およびオフハイウェイ車市場における破壊的ビジネスモデルおよびスタートアップ企業の評価 (2017年)	本レポートは農業およびオフハイウェイ車市場におけるスタートアップ企業を調査・分析し、既存の農業を変革する新技術の評価をしています。センサー、無人撮影機、ビッグデータ分析などによる精密農業は、農業経営に好影響を与えるでしょう。精密農業は新興国では普及が進んでいませんが、スタートアップがこれら地域をカバーするとみられます。本レポートの具体的な内容としては、農機・オフハイウェイ車市場の新興ビジネスモデル、収益構造、農業経営情報システム、精密農業・予測データ解析、ロボティクス、スマート灌漑など各分野におけるスタートアップ企業のプロファイリングについて、グローバルに調査しています。なお、本レポートの調査対象期間は2016年から2022年までです。	http://www.frost.com/q297808681
2017/8/11	P8F3-18	150	Assessment of Disruptive Business Models and Global Startups in the Farming and Off Highway Vehicles Market, 2017	インドにおける商用車市場の見通し (~2022年)	この調査では、インドにおける商用車を利用する様々な産業とその使用パターン、買い替えサイクル、各産業の期待成長率に関し、GDP成長率などのマクロトレンド、都市化、安全性、排出ガス基準の更新、税制改革、使用パターンの変化とそれによる商用車需要への影響などを元に分析しています。具体的な内容としては、2009年度から2011年度までの商用車市場分析、2016年および2017年の市場参入企業およびそのシェア、小型~大型商用車の各セグメントにおける参入企業の数、商用車市場シェア、商用車エンドユーザー需要の成長要因、商用車需要における各産業の影響評価、マクロトレンドの商用車市場への影響、2022年までの車両総重量 (GVW) 別市場予測などについてまとめられています。調査対象車両は、インド自動車工業会 (SIAM) の定義による貨物自動車 (三輪車除く) および旅客自動車 (乗用車・バン除く) です。	http://www.frost.com/p8f3
2017/8/9	K17B-18	62	Future of Amazon in the Automotive Industry, 2017-2025	自動車業界におけるアマゾンの将来 (2017~2025年)	アマゾンは、オンライン小売業の世界的大手としての地位を確立しています。書籍や電子機器、食品まであらゆるものを販売しており、物流、製品ラインナップ、顧客インタラクションを継続的に革新してきています。各業者は、アマゾンを通じ自動車部品を販売しており、既存のオンライン部品販売業者と競争するべくこの事業を強化しています。アマゾン自身「Amazon Vehicle」という専用プラットフォームを開発し、自動車関連部品や用品、サービスを提供しており、次のステップである車両販売については業界関係企業が注目しています。本レポートは自動車業界におけるアマゾンの将来について調査しており、事業機会とその利点、高度な人工知能ソフトウェアとハードウェアによる自動車OEMや顧客への影響、コネクテッドカー・自動運転などの自動車業界の他の分野への参入形態と競合企業についてまとめています。	http://www.frost.com/k17b
2017/8/7	9AB2-18_68	81	Understanding Consumer Perceptions of Hybrid and Electric Vehicle Technologies in India	インドにおけるハイブリッドおよびEV技術に対する消費者の理解	本調査は、インドにおけるEVやハイブリッド車といった代替燃料技術に対する消費者意識や購入意欲に関する調査分析をまとめたレポートです。調査結果として、フルハイブリッド車はEVやマイルドハイブリッド車に比べ受け入れられやすく、内燃エンジンに代わる車両として、フルハイブリッドを検討していることが分かりました。しかし、フルハイブリッドに対する全体的な意識は低く、北部と西部の消費者の認知度が比較的高い一方で、南部では最も低い結果となっています。本レポートでは、インドの自動車市場における主な車両購入要因、ハイブリッド・EVに関する顧客認知度、購入に関する利点や懸念、障壁、内燃エンジン車と比較した際の許容できる価格差、普及のために取るべき施策などについて具体的にまとめています。なお本調査は、2017年にインドの主要12都市で実施したものです。	http://www.frost.com/q297782567
2017/8/2	MC29-18	84	Strategic Transition from Products to Services in the Automotive Industry, Forecast to 2030	自動車産業における「製品からサービス」への戦略転換 (~2030年)	グローバルにおいて自動車の製品からサービス市場への移行が進んでおり、これら新たなビジネスモデルが生まれることで、自動車サービスの売上は1.3兆米ドル規模に拡大すると見られます。このレポートは、サービスとしてのモビリティ (MaaS)、コネクテッドサービス、アフターサービス、および自律走行車サービスといった様々なサービスモデルに焦点を当てています。具体的には、2030年までの自動車ビジネスモデルの発展、OEMおよびその他の市場参入企業が採ると見られる短・長期的な持続可能性戦略、自動車モビリティとシェアリングが伝統的な自動車販売に及ぼす影響、OEMにとって重要なセグメントと期待される収益分野、OEMの将来持続可能なビジネスモデルに関する市場の主要課題と戦略などについてまとめています。調査対象期間は2016年から2030年までです。	http://www.frost.com/mc29
2017/8/1	K16B-18	78	Global Key Automakers' Autonomous, Connected, and Electrification Strategies, Forecast to 2025	グローバル主要自動車メーカーの自動運転、コネクテッド、電動化戦略 (~2025年)	本調査では、自動車メーカーの事業を変革する自動運転 (A)、コネクティビティ (C)、電動化 (E)、およびACE技術の研究開発に焦点を当てています。自動車業界では収益性が低下しつつあり、新たな収益構造の創出や顧客のブランドロイヤリティの維持が必要となっています。このため、コネクテッド技術による自動運転やEV、シェアリングを融合したスマートモビリティなどが新たな分野として期待されています。本レポートの具体的な内容としては、自動車OEMによるACE技術関連投資へのアクションプランや期待される収益モデル、主要OEMのACE技術開発におけるポジショニングと強みなどについて調査、分析を提供しています。調査対象期間は2015年から2025年までです。	http://www.frost.com/k16b
2017/7/31	9AB2-18_67	56	2017 Shanghai Auto Show Highlights—Chinese New Energy Vehicles Insights	上海オートショー2017：中国における新エネルギー車まとめ	上海モーターショー2017で展示された車両1,400台中10%以上が新エネルギー車 (NEV) で、中国政府だけでなく中国の自動車メーカーにとっても重要な事業になりつつあります。本調査は主要NEVメーカー、主要乗用車メーカー、新規参入企業のマーケティング戦略や技術開発の理解を目的としています。高い市場潜在性を背景に競争力のある新規企業が参入しており、バッテリー電気自動車 (BEV) への消費者の関心の増加が追い風となっています。BYDや吉利などの既存の国内で主に新エネルギー車 (NEPV) を供給するメーカーは、現在の内燃機関車の「電化」や、既存のBEVモデルをPHEVとして提供するなど様々な戦略に対応しています。海外メーカーにとってはNEVの現地生産がますます重要になっており、合併政策の緩和により第3の合併会社を設立し、より多くの企業と提携する絶好の機会となるでしょう。また、YUDOOやZhicheなど新興NEVメーカーは、BEVに対する消費者の嗜好の変化に強みを持っています。しかし、急速に変化する市場ではビジネスの変革が必要で、サービスとしてのNEVと自動車所有の代替サービスが、消費者の要求を満たすでしょう。	http://www.frost.com/q297762086
2017/7/27	K1E8-18	64	2016 US HD Fleet Managers' Voice on Advanced Truck Technologies	米国における大型フリート企業の先進トラックテクノロジーに対する調査 (2016年)	この調査では、米国におけるクラス6~8車両のフリート企業による最新のトラック技術に対する現在の認知度、選好度、支払い意欲のレベルとその変化を測定し分析しています。フリート企業の購買意思決定に焦点を当て、パワートレイン、安全性、テレマティクスなどの新技術に関し主な需要、満足度、および支払い意欲などの項目に関する調査結果を提供します。フリート企業の先進トラック技術に対する選好度や支払い意欲に影響を及ぼす主要因として、総保有コスト、ダウンタイムの削減、法令遵守、運転者不足、および機器の活用が浮上しています。認知度の高まり、差し迫った規制、およびデータ分析のような多面的な利点を提供する技術に対するよりよい価値の提案が、市場を促進する見込みです。先進技術ソリューションを提供するOEMやサプライヤーは、購買決定に影響を及ぼすような「コア機能を越えた」メリットを強調する必要があります。	http://www.frost.com/k1e8
2017/7/26	K156-18	14	TOP50 Key Markets for Connected Truck Services, 2016	コネクテッドトラックサービスの主要市場トップ50 (データベース、2016年)	この調査ではグローバルにおけるコネクテッドトラック市場を分析し、コネクティビティサービスの成長と機会が見込まれる主要国を明らかにしています。コネクテッドトラック市場ではサービス参入企業が毎年増加し、巨大な業界に成長しています。本調査はフリートテレマティクス、経路・スケジュールソフトウェア、隊列走行、デジタル貨物仲介などのコネクティビティサービスの市場を考察しています。107ヶ国を対象にランク付けを行い、上位50市場についてコネクティビティサービスの対応度と受容性について分析しています。また、成長機会とステークホルダーの意思決定において取るべき施策についても明らかにしています。	http://www.frost.com/k156

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2017/7/24	K1B0-18	73	North American Class 1-8 Turbochargers Aftermarket, Forecast to 2023	北米におけるクラス1~8向けターボチャージャーのアフターマーケット分析と見通し (~2023年)	このレポートは北米 (米国およびカナダ) におけるクラス1~8車商用ターボチャージャーのアフターマーケットについて販売台数および売上高を中心に分析しています。北米のターボチャージャーアフターマーケットは、車両保有台数の増加 (VIO) と平均車齢の上昇により今後数年で販売台数増加が見込まれています。とりわけ排ガス関連法規が全セグメントで市場成長要因となるでしょう。自動車OEMによる再生ターボチャージャーは競争力のある価格設定や工程が合理化されフルート顧客を取り込むことで、乗用車と商用車の両市場で最も需要が高まる見込みです。主要サプライヤーはカンズ、ハネウエル、ボルグワーナー等です。調査基準年は2016年とし、予測期間は2017年~2023年です。	http://www.frost.com/k1B0
2017/7/19	K185-18	111	Latin America Used Car Market, Forecast to 2022	ラテンアメリカにおける中古車市場 (~2022年)	ラテンアメリカの中古車市場は経済や車両技術、ビジネスモデルの変化により、今後5~7年で大きく変化が見込まれます。2016年の市場規模は1,840万台ですが、年平均3.4%で成長し2022年には2,240万台に達する見込みです。本調査では、アルゼンチン、ブラジル、チリ、メキシコ、コロンビア、ペルーの中南米諸国を対象に、2016年から2022年までの市場の課題と成長推進、阻害要因に焦点を当てて分析しています。主な調査項目は主要市場動向、成長機会、販売チャネルと戦略等です。また、2016年におけるセグメント別市場規模および2022年までの予測を提供しています。	http://www.frost.com/k185
2017/7/14	9832-18_47	20	US New Car Sales Strategies and Technologies, 2016	米国における新車販売戦略と関連技術 (2016年)	自動車産業は常に多くの在庫を抱えており、過剰在庫はOEMの収益を悪化させます。一方、伝統的な自動車小売業態が在庫削減のための販売促進を妨げています。また、電気自動車は予想していた程には在庫高に影響を与えておらず、自動車メーカーは新たな小売業態が必要です。本レポートは、自動車小売業のデジタル化を導入するためにOEM各社が採用している革新的戦略について説明します。この戦略は、技術プラットフォーム上でアクセス可能なデジタルショールームコンセプトの立ち上げも含みます。また、電気自動車の小売戦略とその最適化についても焦点を当てています。	http://www.frost.com/q297727852
2017/7/14	K0E8-18	59	Gamification in the Automotive Industry, Forecast to 2025	自動車産業におけるゲーム化戦略の見通し (2025年)	本レポートはゲーム化戦略 (gamification) の概念と自動車業界での活用方法、先進技術への影響を調査・分析しています。ゲーム化技術は企業の販売促進・投資収益率 (ROI) の向上・従業員との対話サポート・顧客満足度の向上などに役立ちます。このためゲーム化戦略は医療や自動車等の主要産業で好まれています。スマートフォンの浸透・カスタマイズサービス・ハイテクに精通した顧客・デジタル化・技術進歩により、自動車産業はゲーム化技術の導入に向かっていきます。同市場は2016年から2025年において、18億ドルから145億ドル規模へと拡大し、23.2%の年平均成長率を記録すると予測されます。自動車におけるゲーム化技術の取組は、OEMおよびTier 1 サプライヤーが様々な製品やサービスを提供する機会をもたらします。	http://www.frost.com/k0e8
2017/7/12	P9A7-18	86	Analysis of Digitization's Impact on Farm Mechanization	デジタル化による農業機械化への影響分析	本レポートは農業および精密農業におけるデジタル化の拡大に注目し、デジタル変革の新時代を分析しています。また、事業変革を望む農家の期待に応える新技術の価値について評価を行っています。農場当たりの利益減少および物価下落を背景に、機械化農業技術の採用は農家にとって必要不可欠であり、コスト削減およびエーカー当たりの生産性を効率的に向上させます。調査基準年は2016年とし調査対象期間は2016~2025年までです。対象技術は精密農業・ビッグデータ・IoT・自動運転システムと、対象製品はトラクター・ハーベスター・噴霧器などの農機具です。	http://www.frost.com/p9a7
2017/7/12	MD1D-18	64	Electric & Hybrid Vehicle Driveline Systems Market in China, Forecast to 2023	中国における電気自動車・ハイブリッド車用駆動系システムの市場見通し (~2023年)	中国政府は大気質を改善し最先端の電気自動車の技術拠点となるべく、新エネルギー車 (BEV-PHEV) を推進しています。罰則の回避やインセンティブの利用のために、多くのOEMが駆動系の電動化を解決策として検討しており、ドライブシャフト・ギアボックス技術に対する消費者の需要も高まっています。優遇政策やインセンティブの増加、保有コストの低下、バッテリーの価格の下落により、電動ドライブラインシステム市場は2016年から2023年にかけて年平均21%で成長する見込みです。このレポートでは、電気・ハイブリッド車の増加により変化する電動ドライブライン市場を分析しています。主な技術動向、市場成長・阻害要因、採用目標などについてまとめられています。調査基準年は2016年とし、予測期間は2023年までです。	http://www.frost.com/md1d
2017/7/10	MCC1-18	77	Growth Opportunities and Implications of the Electronic Logging Device (ELD) Mandate in North America	北米における電子式運行記録計 (ELD) 義務化の成長機会と影響	本調査では北米 (米国およびカナダ) の商用車用電子運行記録計 (ELD) 市場の動向を分析し、市場成長機会と影響の概要についてまとめられています。具体的には認証、市場潜在性、市場機会、価格、ビジネスケースなどに焦点を当てています。また、ELD市場の概要紹介とともに米国およびカナダでのELD義務化タイムライン比較、自己認証に関するFrost & Sullivanの見解、およびELD購入ガイドも提供しています。調査基準年は2016年とし、2017年から2023年までの予測を提供しています。	http://www.frost.com/mcc1
2017/7/5	MC17-18	122	European Corporate Mobility Market, Forecast to 2020	欧州における法人向けモビリティ市場見通し (~2020年)	法人向けモビリティは、企業のニーズを満たすために導入された広範なモビリティサービスを指します。欧州では、企業が保有する車両は伝統的に従業員用車と法人車と構成されており、総保有コストに影響します。しかし企業はCO2排出削減や財務面から、総保有コストやモビリティに焦点を当てつつあります。本調査では法人向けモビリティ市場に関し、コスト、社内決済プロセス、フリート管理、新モビリティビジネスモデルの導入などをまとめられています。法人向けモビリティには、カーシェア、レンタカー、ライドシェア、自転車シェア、配車サービス、公共交通、統合型モビリティなどが含まれ、英国、フランス、ドイツ、オランダ、ベルギーの企業への調査を通じた市場見通しを提供しています。	http://www.frost.com/mc17
2017/7/5	MCDE-18	120	Strategic Overview of the Commercial Vehicle Aftermarket in Europe, Forecast to 2023	欧州商用車向けアフターマーケットの見通し (~2023年)	欧州市場における商用車保有台数は2016年時点で3,890万台と推定され、年平均1.9%で成長し2023年には4,420万台に達すると予測されます。補修市場の中心となる4~7年目の車両割合は2016年の17%から2025年には21%に増加し、アフターマーケット需要を牽引します。本レポートでは市場拡大による機会、今後の市場成長を支える総保有コスト最適化、eコマース、テレマティクス、新ロジスティクスモデルなどについて調査しています。また欧州の商用車アフターマーケットで成長が見込まれるOEM各社についても明らかにしています。	http://www.frost.com/mcde

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2017/6/30	MD3A-13	53	Environmental Policies in India and Their Impact on the Automotive Industry, 2016	インドにおける環境政策と自動車産業への影響 (2016年)	本調査は環境配慮型スキームや環境モニタリングを新たに実行・導入するためにインド政府が採択してきた、様々な政治的・法的措置、新たな規制、環境配慮型技術の導入結果について詳細分析を提供しています。本調査では大気質基準を超えている都市を特定し、州政府によって課されている主な法的措置について解説しています。インドは、国民の生活を向上させる環境配慮型の政府方針を新たに策定し、2025年までにGDP成長率25%の達成を目標としています。こうした環境配慮型政策の遂行のために、インド各地でスマートシティプロジェクトや都市交通サービスが政府主導で行われています。これらの政策の主な成長促進要因は非政府組織(NGO)であり、国内で環境に関する市民教育と政策採択を支援しています。この経済成長は、好意的な政策・高まるインセンティブ・産業成長に伴う物価下落によって推進される見込みです。なお、本調査基準年は2016年とし、2017年から2025年までの予測を実施しています。	http://www.frost.com/md3a
2017/6/27	K1E7-18	48	Strategic Analysis of Waymo's Future Autonomous Disruptive Capabilities for the Automotive Industry	自動車産業の将来を変革するWaymoの自律走行技術戦略	本レポートはWaymoが提供する自律走行ソフトウェアに関し、シェアモビリティおよび物流を含めた様々な応用分野を理解し、グローバル自動車産業におけるWaymoの技術革新の影響についてまとめています。Waymoは、コングロマリット(複合企業)であるアルファベット社傘下の自律走行技術開発会社です。Waymoは自動車の自律走行ソフトウェア開発の最前線にあります。Waymoのソフトウェアでサポートされている車両は、ユーザー移動時にデータ収集ノードとして機能することで、アルファベット社による包括的コネクテッドデバイス事業を補完します。アルファベット社は自動車産業に参入するための継続的な活動の中で、コネクテッドカーおよび自律走行分野をターゲットとし、各々のターゲットに対して、Android OSおよびWaymoを用いてアプローチを行うといった明確な戦略を打ち出しています。Waymoは、300万マイル以上の公道走行やステアリングホイールとペダルを持たない業界初の車を導入しており、他社に先駆けてその技術の商業化が期待されています。自律走行技術や人工知能の分野におけるイノベーションは、自動車の産業構造を一変させる事になるでしょう。Waymoの自律走行ハードウェアおよびソフトウェアは、シェアモビリティから物流まで業界をまたいで導入され、市場の変革を促進する事が期待されています。	http://www.frost.com/k1e7
2017/6/26	9AB2-18_65	31	Indian Heavy Duty Truck Market Outlook	インド大型トラック市場の見通し	販売台数の増加や規制の変更、新たなグローバル企業の参入により、インドにおける大型トラック市場の中心は、単純な低価格トラックから低価格でありつつ高価値を備えた"ハイユートラック"へと変換点を迎える見込みです。総保有コストが主な"売り" (USP) であるハイユートラックにおいて、高い信頼性や生産性は重要な点です。ドライバー不足に伴い、ブランド魅力性を高めるために、車両快適性と安全性の重要性が増加しています。また、付加価値サービスが顧客にとってより魅力的なサービスとなるためには、ハイユートラック向けにパッケージ化される必要があるでしょう。	http://www.frost.com/q297682952
2017/6/26	MCAF-18	69	European Category Management Report—Automotive Filters Aftermarket, 2016	欧州カテゴリ別調査 (2016年) :自動車用フィルタアフターマーケット	本レポートでは乗用車および小型商用車向けフィルターのアフターマーケットに関する調査を実施しています。具体的な内容として、出荷数量・売上予測・メーカー出荷基準価格・流通チャネル内訳・市場シェアについてまとめています。本レポートで扱う主なフィルタタイプは、エアフィルタ・オイルフィルタ・燃料フィルタ・エアコンフィルタです。本レポートの調査基準年は2016年とし、予測期間は2023年までです。	http://www.frost.com/mcaf
2017/6/20	K188-18	62	Trends in the Global Super Luxury Vehicles Market, 2016–2025	グローバルにおけるスーパーラグジュアリーカー市場動向 (2016~2025年)	この調査はグローバルのスーパーラグジュアリーカー市場の今後の動向に関する分析を提供しています。スーパーラグジュアリーカーは、プレミアムなシート・サスペンション・圧倒的な性能を誇るパワードレイン等の最上級装備を備え、価格帯が9万ドルを超える車と定義しています。スーパーラグジュアリーカーは、それぞれの自動車ブランドのフラッグシップモデルとも言え、ハイエンドおよび二重スーパーラグジュアリーカー、パフォーマンスラグジュアリーカー、ウルトララグジュアリーカーに大別し、分析を実施しています。また、コネクティビティ、パワードレイン、自動運転機能等のカテゴリ別の観点から、様々な将来技術についても分析を行っています。分析対象としている主なブランドは、アキュラ、アウディ、ベントレー、BMW、フェラーリ、フィスカー、フォード、ジャガー、Karma、ランボルギーニ、ランドローバー、レクサス、Lucid Motors、マセラティ、マクラーレン、メルセデスAMG、メルセデス・ベンツ、マイバッハ、日産、ポルシェ、ロールスロイス、テスラです。	http://www.frost.com/k188
2017/6/19	P99C-13	84	Indian Logistics Industry—Growth Insights and Forecast to 2020	インド物流産業の展望 (～2020年)	インドでは、製造業の強化・ビジネスの利便性向上のための経済改革や政府の取り組みが、民間投資を促進すると期待されています。貨物専用鉄道・物流施設・自由貿易倉庫地域、湾岸近代化・コンテナ貨物ステーション等の交通・物流関連インフラの開発は、効率改善に役立ちます。また、交通・倉庫保管・貨物輸送の分野において技術活用が加速すると見られており、物流ソリューションは倉庫市場の成長とともに成長の原動力となります。	http://www.frost.com/p99c
2017/6/19	MC83-18	84	Fintech in the Global Automotive Industry, Forecast to 2025	グローバル自動車産業におけるフィンテック (～2025年)	本レポートは、自動車業界におけるフィンテックの包括的な見通しを提供します。1) 自動車リース&ファイナンス、2) 自動車保険、3) デジタル自動車小売、4) 電子決済、5) 利便性・ユーザー重視型サービス、の5つのセグメントにおいて、フィンテックがもたらす技術革新の導入や実例についてまとめています。また、本調査では市場における主要な革新的企業のプロファイルに加え、自動車業界におけるデジタルトランスフォーメーションの導入により生まれる機会に焦点を当てています。本調査では自動車メーカーおよびサプライヤー・投資家・技術企業が自動車業界において収益最大化するために注力すべき潜在分野を紹介しています。自動車業界は収益性減少に直面しており、新たな収入源を探すと共に、次回購入に繋がる自社ブランドへの顧客ロイヤリティの維持が最重要事項です。これは、車両保有の期間全体にわたる顧客と密着しい所有・ブランド体験を提供する事により達成できるでしょう。メーカーが車両販売だけでなく定期メンテナンスも重視し、提携サービスプロバイダーによりカスタマイズされた車内体験の提供に注力することが、将来の自動車産業にとって非常に重要です。商取引から顧客体験価値提供まで、産業全体にわたるトランスフォーメーションを実現する際に、フィンテックは旧来型の事業構造にデジタル変革を導入する上で重要な役割を果たします。	http://www.frost.com/mc83
2017/6/15	P8B9-18	100	Overview of the Automotive Industry in the Greater Mekong Subregion, Forecast to 2021	大メコン圏における自動車産業展望 (～2021年)	本調査は大メコン圏 (GMS) における自動車産業の概要についてまとめています。長年にわたりグローバル自動車産業は、成長が飽和状態にある先進国と、短～中期的に飽和状態になる可能性が高い新興国の状況を背景に、途上国にも注目してきました。このシナリオでは、今後数年間での上昇拡大によりメコン圏地域の国々が自動車会社に恩恵をもたらすことが期待されています。メコン圏地域とは、ミャンマー・ラオス・カンボジア・ベトナム・中国雲南省および広西省を指し、本レポートではミャンマー・ラオス・カンボジア・ベトナム4国の自動車市場について分析を実施しています。具体的には上記の国における経済的・社会的要因、成長見通し、生産能力、インフラ、および新車販売台数等のデータを含んでいます。調査基準年は2016年とし、対象国における2010年から2016年における新車販売 (乗用車・商用車) および、2017年から2021年にかけての同市場における新車販売台数予測を含んでいます。	http://www.frost.com/p8b9

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2017/6/12	MD19-18	76	Poland Electromobility Market, 2016-2025	ポーランドにおける電動モビリティ市場 (2016~2025年)	本レポートは、ポーランドにおける電気自動車市場、乗用車および都市路線バスの2つのセグメント市場を形成するエコシステムに参入する企業のもとともに、グローバルおよびポーランドにおけるEV市場の様々な指標の概要についてまとめています。また、ポーランドにおけるEV市場の発展可能性、自動車市場全体の発展に関する概要・規制や地域産業の発展に関する政府方針、計画、および規制に関する情報についてもまとめています。本調査の対象期間は2000年~2025年とし、調査基準年は2016年です。調査対象車種は乗用車 (PV)・ハイブリッド電気自動車 (HEV)・バッテリー式電気自動車 (BEV)・プラグインハイブリッド電気自動車 (PHEV)、燃料電池電気自動車 (FCEV)、および都市路線バスです。	http://www.frost.com/md19
2017/6/12	K199-18	50	Developments in Connected Truck Market Shaping the Future of Logistics, Global, 2016	将来物流を形成するコネクテッドトラック市場の発展 (2016年)	本レポートは、物流業界の未来を形成するコネクテッドトラック市場の主要動向について分析しています。2020年までは、3,500万台のトラックがコネクテッド化し、迅速な配達および顧客体験が物流業界における要素として認識されています。フリート管理・オーダー管理・貨物集約等の主要コネクテッドトラックサービスの自動化は、資産を効果的に活用し配達納期を遵守しながら、システムの完全な可視化をもたらします。本レポートでは、トラック向けパーセントトラックのインターネット化、AI・自動運転技術・3Dプリント等の主要動向と、これらがグローバル物流業界にもたらす影響および価値について分析しています。主な項目としては、グローバルにおける主要セグメント別物流費・主要地域別輸送手段、物流サービスプロバイダーの進化・自動車による物流サプライチェーンにおける変化・技術進歩のロードマップ・技術変革・グローバルにおける物流サプライチェーンに影響を与える将来シナリオ・陸上物流および運送仲介に影響を与える動向、成長機会や市場関係者への提言などについてまとめています。調査期間は2016年から2025年までです。	http://www.frost.com/k199
2017/6/2	9AB2-18_64	40	Dual Clutch Transmissions, Global Strategic Development Roadmap to 2022	デュアルクラッチトランスミッション (DCT) の開発ロードマップ (~2022年)	本レポートでは、燃費やドライブ性を向上させることを狙いとして、いくつかのOEMが導入している、デュアルクラッチトランスミッション(DCT)技術に関する戦略について調査しています。セグメント別の採用状況、現在および今後の動向について詳細にまとめています。主要市場参入企業、主要セグメント、技術革新、および多相化DCTについても調査しています。低燃費へのニーズ、高リアクタンス、操作性などがDCTの主な成長要因です。本レポートは北米、欧州、アジア太平洋地域を中心に、グローバルにおける2022年までのDCTの成長見通しを提供しています。	http://www.frost.com/q297628246
2017/5/26	MC81-18	73	PACCAR Inc—Profile of a Leading Global Truck Manufacturer	PACCAR: グローバルトップトラックメーカー	PACCAR社は2016年から2025年にかけて、大型トラック販売台数が年平均成長率4.8%で増加すると予想されますが、中でもテレマティクススペースのフリート管理システム、コネクティビティ機能によるメンテナンス管理システム、部品オンライン小売、金融・リースサービスといったサービスからの収益により利益が向上するでしょう。世界最大のトラック市場である中国・インドにおいては同社の存在感が強く現在はグローバルトラック市場シェアが伸びていますが、同市場にはPACCARの北米における主要顧客である個人トラック事業者が多く存在するため、新たな低価格トラックのプラットフォームでこの市場に参入し収益を上げるでしょう。パワードレインでは、引き続きディーゼルエンジン技術開発へ注力する一方で天然ガスエンジンも主要な代替燃料パワードレイン戦略ですが、インフラ不足や高価な技術開発費用の2025年までに5%以上の市場普及率を達成することは厳しい見込みです。また、大規模な個人トラック事業者の顧客基盤のあるPACCARは自律走行技術の実現に向けても取り組んでいます。自律走行技術は必ずしもドライバーと同等の役割を占める訳ではありませんが、管理業務やその他の業務の一部を実現するでしょう。	http://www.frost.com/mc81
2017/5/25	9AB2-18_63	128	African Commercial Vehicle Market Through 2021	アフリカにおける商用車市場 (~2021年)	アフリカにおける産業は持続的成長段階に入ったことで過去20年間好調に発展しており、産業見通しの改善に加え、輸送インフラの発展に拍車をかけています。こうした発展部門の一つが、自動車組立業および製造業です。本調査では、ケニア・エチオピア・ナイジェリア・ガーナ等の東アフリカ主要国における、バスおよびオフハイウェイ車両を除いた小・中・大型商用車市場の全セグメントをカバーしています。これら市場は、好調な経済・インフラおよび産業の成長が特徴です。本調査の対象期間は2016年~2021年とし、現在の市場規模、市場成長要因、2021年までの市場成長予測、インフラ整備による商用車需要への影響度などについてまとめています。	http://www.frost.com/q297612168
2017/5/24	K16A-18	104	Future of Flying Cars, 2017-2035	フライングカーの将来 (2017~2035年)	本レポートは、フライングカーの展望に関し、メガトレンドや進化、ニーズなどについて総合的にまとめています。フライングカーは約1世紀に遡り人々を魅了し続けており実現にむき取り組んでいますが、主要技術の未確立等から成功していません。しかしこの10年の技術進歩により数年以内にフライングカーを実現する準備が整いました。スタートアップ企業・大手技術系企業・配車サービスおよび航空部門からの参入企業が、フライングカー開発を競っていますが、参入企業の多くは既にプロトタイプの実験段階にあり、中には先行販売を開始した企業もあります。フライングカーの出現により、安全性や規制、プライバシー、交通管理、主要応用分野に関する多くの議論が提起されます。本レポートの具体的な内容としては、技術課題および克服のための支援技術、フライングカーの種類、主要参入企業のプロファイルに関するまとめ、現在の競争環境見直し、フライングカーの性能ベンチマーク、および将来の応用分野について分析を行っています。また潜在的ビジネスモデルおよび各国政府の関連法規・規制もまとめています。	http://www.frost.com/k16a
2017/5/24	K1BD-18	34	Global Mega Trucks Market, Forecast to 2025	グローバルにおけるメガトラック市場見直し (~2025年)	メガトラック (大型のトラクターヘッド) は既存サイズのトラック需要を減らす為、増加する道路渋滞や排出ガス関連問題に対する解決策と見られています。しかし、メガトラック実用化には安全性およびインフラ・環境への影響、また法律上のハードルの克服や否定的な世論への対処といった課題があります。現在豪州、北米および欧州がメガトラック市場を牽引しており、柔軟な規制やインフラ支援により北米は2016年から2025年まで販売台数が倍増し、グローバルのメガトラック販売台数の約半数を占める見込みです。一方、新興国市場ではより大型のエンジン・大型積載量のメガトラックが低価格機能を装備し、共通プラットフォームのもとで生産されるでしょう。中国やインドといった新興国では重量や全長制限のため慎重かつ段階的に普及する見込みです。またメガトラックは安全システムや軽量化領域の企業、テレマティクスやモビリティサービスの貨物集約関連の技術企業への成長・投資機会を提供します。更なるコネクティビティや安全機能を通じて、デジタル変革や自律走行トラックがメガトラックの普及拡大における重要なポイントとなるでしょう。	http://www.frost.com/k1bd
2017/5/19	P964-18	71	Strategic Analysis of Autonomous Cars in China, 2010-2025	中国における自律走行車市場 (2010~2025年)	本レポートは、グローバルにおける自律走行車の概要とともに中国における自律走行車市場を分析し、開発およびレビュー全体への影響についてまとめています。中国は世界最大の乗用車販売市場であり生産市場です。中国では強力な資本化と急成長を遂げる自動車産業により、グローバルにおける自律走行車市場の開発機会が多く生み出されるでしょう。中国自動車産業は自律走行車の開発に動いており、試験・デモ段階もしくは研究開発段階にあります。主要ステークホルダーはグローバル大手・合弁・中国系OEM、自律走行車開発に携わる国内大手テクノロジー企業です。中国政府により最終決定された自律走行関連政策や公式発表はありませんが、中国の自律走行車開発が進展段階へ移行すれば規制や政策が必要となるでしょう。自律走行車により人為的ミスによる自動車死亡者数が減少する可能性が高まるなど、ゼロのインベションは中国における自律走行車実現の重要なポイントです。無人走行車は新たなメガトレンドの一つであり、将来の輸送革命です。	http://www.frost.com/p964

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2017/5/19	MD18-18	111	2017 Global Automotive Industry Outlook	グローバルにおける自動車産業の見通し (2017年)	本レポートはグローバルにおける自動車産業の2017年の見通しを提供しており、2016年の各地域の市場変化のまとめと2017年の市場を予測・分析しています。また、主要OEMのターゲット市場およびセグメントにおける優位化戦略を掘り下げ、2017年の技術動向を紹介しています。具体的にはパワートレイン、電気自動車、コネクティビティ、テレマティクス、アフターマーケット、モビリティソリューションに関して詳細な情報を提供しており、成長機会および重要成功要因も本レポートで言及しています。本レポートは、OEM、レンタカー・フリートサービス、金融サービス、カーシェアリング、技術ソリューションプロバイダーといった自動車/ユーザーチェーン全体、および現在の自動車産業の動向とその影響について理解したい他業種の方々にとって有益な情報を整理しています。	http://www.frost.com/md18
2017/5/18	9832-18_46	29	Future of Sports Utility Vehicles in the United States, 2016-2022	米国におけるSUVの将来 (2016~2022年)	米国におけるSUV市場は2012年以降堅調に伸びており、2016年には乗用車セグメントに代わり米国最大の販売台数となりました。昨今のSUV販売の急増により自動車OEMはSUVに資本投入しラインナップを増やしており、今後2022年までにラグジュアリーおよび大衆車セグメントで20車種以上の新モデルSUVが導入される見込みです。また、2022年までにSUVは740万台以上が販売され、乗用車全体の販売台数の42%を占めると見られます。本調査はSUVの将来の販売動向に焦点を当て、SUV販売に影響を与える社会経済・政治的要因について理解することを目的としています。	http://www.frost.com/q297597809
2017/5/18	9832-18_45	-	2017 ASEAN Value for Money Database	アセアン市場における乗用車車両価格と維持費 (データベース、2017年)	本データベースでは、アセアン主要市場 (マレーシア、インドネシア、タイ) 各国において、2016年に販売された販売台数上位車種に対する費用対効果の概要を詳細に説明します。具体的には、対象モデルに関する最廉価版モデル販売価格、部品交換費、サービス費、燃料費等を基に、購入後5年間にわたるTCO (総保有コスト) について整理しています。	http://www.frost.com/q297591687
2017/5/18	P922-18	109	Franchising in the Chinese Automotive Aftermarket, Forecast to 2022	中国におけるフランチャイズ型自動車アフターマーケット (～2022年)	中国における自動車アフターマーケットは2017年から2022年で高成長を遂げると見られ、2022年までに中国の自動車アフターマーケットの売上は2,818億米ドル規模になると予測されます。2015年の保有車両における平均車齢は3.3年で保証期間 (0~3年) を超え、車両平均使用年数は8~10年です。消費者の大部分が自動車アフターマーケットでサービスメンテナンスを受ける必要があり、フランチャイズビジネスモデルが成長しています。自動車アフターマーケットにおいて、フランチャイズモデルは販売チャネルの統合戦略です。多くの企業は価格部品と高レベルのサービスを提供するためフランチャイズ形式で各地で多くの店舗を開業し、評判を上げています。本レポートでは中国の自動車アフターマーケットにおけるフランチャイズに関し、市場成長に影響を与える要因についてまとめ潜在的な可能性に対する見通しを提供しています。	http://www.frost.com/p922
2017/5/18	P965-18	106	Australian Intelligent Mobility Market – Trends, Technologies, and Opportunities, 2016–2025	豪州におけるインテリジェントモビリティ市場：動向・技術・商機 (2016~2025年)	本レポートは2016年から2025年までのオーストラリアにおけるインテリジェントモビリティ市場動向に関する調査です。本調査では市場の主要セグメントに関し、詳細な概要に加え現在および将来にわたる売上分析を含む様々な発展に焦点を当て分析を提供しています。具体的な内容としては、カーシェアリング・スマートパーキング・自律走行車・コネクテッド物流・車間/路車間通信 (V2X) ・従量型自動車保険・コネクティビティについて概要を説明しています。また本調査では成長機会とインテリジェントモビリティ市場で成功するための戦略的課題についても詳細に説明します。本調査の基準年は2016年とし、2017年から2025年までの予測を実施しています。	http://www.frost.com/p965
2017/5/12	K19F-18	65	Women as Vehicle Customers— Voice of North America Consumer Findings, 2016	北米における消費者調査：自動車顧客としての女性 (2016年)	本レポートの目的は、北米 (米国およびカナダ) における女性の自動車購入の増加傾向およびその購入時の意思決定における根本的要因を分析する事です。北米において女性の運転免許保有割合は男性を上回ります。しかし、女性顧客は自動車購入のプロセス全体に不満を持っています。従って自動車OEMが女性顧客に適した車両購入プロセスを提供するためには、女性の車両購入における嗜好を理解する事が不可欠です。デジタルプラットフォームやSNSの成長により、現在は女性顧客も車両購入に関係する様々な選択肢について十分な情報を得ています。女性のニーズを満たす事は自動車業界の全てのステークホルダーにとって最重要事項です。OEM/販売店は、デジタルファインズなどの自動車購入プロセスのデジタル化を行う自動車技術スタートアップ企業との提携で事業機会を獲得できます。本レポートの調査範囲はデザイン・技術・販売・小売・車両保有の3つのカテゴリにおける女性顧客の嗜好となっており、調査結果は商品企画チームやOEM各社における女性顧客のニーズ特定に役立つでしょう。	http://www.frost.com/k19f
2017/5/10	K1C7-18	78	US Automotive Technicians' Choice Survey of Replacement Parts, 2016	米国における自動車整備士に対する調査：交換用部品 (2016年)	米国の自動車アフターマーケットにおいて、部品サプライヤーにとっての顧客としての自動車整備士の重要性は、修理・整備の委託を請け負うDIFM (Do-It-For-Me) チャネルの継続的な拡大と共に成長を続けています。米国アフターマーケットは成熟し安定したチャネルですが、デジタル化やプライベートブランドといった市場動向により、自動車整備士の部品購入方法やブランド嗜好は着実に変化しています。フロスト&サリバンの米国における自動車整備士に対する自動車交換部品の年次調査では、数年間こうした変化を継続的に調査してきました。本調査では、参入企業の市場でのポジションやターゲットを向上させる上で実用的な情報を提供し、自動車整備士が購入にいたる主な理由および傾向に関する重要なデータを明らかにしています。	http://www.frost.com/k1c7
2017/5/5	MC96-13	-	Global Urban Rail Vehicle Database, 2016	グローバルにおける都市鉄道車両 (データベース、2016年)	本レポートの調査対象は、世界中のあらゆる種類の都市高速鉄道および路面電車です。本調査の対象車両に関し提供する情報は以下のとおりです：地域、詳細地域、国、都市、交通機関、輸送分類 (地下鉄・ライトレール・自動運転列車・モジュール・路面電車・レトロ路面電車・自動案内軌条式旅客輸送システム)、路線数、路線距離、車両数、車両メーカー、車齢、1日又は年間利用客数、無線式車両運転システム (CBTC) 導入状況、方向別時間毎乗客数 (PPHPD) など。	http://www.frost.com/mc96
2017/5/5	MCDA-18	105	African Commercial Vehicles Market, Forecast to 2025	アフリカにおける商用車市場の見通し (～2025年)	北アフリカでは自動車の現地生産に対する政府の奨励策に伴い、都市交通の重要性が増加しています。アフリカにおける商用車市場は石油価格や物価低下による景気減速にもかかわらず、主にインフラ開発や都市化の加速に牽引され年平均6.1%で成長する見込みです。南アフリカはアフリカ最大の商用車市場で53%を占める一方、ナイジェリア・ケニア・モロコシ・タンザニアは2025年までに急成長を遂げ、商用車全体市場における市場シェアが上昇するでしょう。小型トラック市場では日系OEMが67.8%と市場を独占するも、中型・大型トラック市場では主要OEMでシェアが分散しています。また、バス市場では欧州系が50%近いシェアを占め優勢です。北アフリカの特定市場におけるCNG/ガスや南アフリカにおける基本テレマティクスサービスを除くと、代替パワートレインやテレマティクスといった最新技術の普及はこわいようです。アフリカでは中古車は完成車で輸入される一方、新車はほぼ全てジャクワン (KD) キットとして輸入され現地工場で組み立てられます。新車トラック市場では欧米の高級ブランドが支配的でしたが、近年では低価格帯や市場潜在性を狙ったアジア系メーカーが出店し、今後は中国・インドなどのアジア系OEMが急速に拡大する見込みです。	http://www.frost.com/mcda

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)					
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL	
2017/5/4	K138-18	-	Global Bus Rapid Transit System (BRT) Database, 2016	グローバルにおける高速バス輸送システム (BRT) (データベース、2016年)	本レポートはバスOEM、輸送事業者、ベンダー向けの、グローバルにおける高速バス輸送システム (BRT) システムおよびネットワークに関する詳細情報のデータベースです。本調査の基準年は2016年です。(2016年のデータが入手不可の場合は2014年または2015年のデータを使用。) 本データベースの具体的な内容としては、輸送分類、運行管理者、路線距離、車両メーカーといった主要情報です。	http://www.frost.com/k138	
2017/4/24	K025-18	54	North America and Europe Rear View Mirrors Market, 2017	北米と欧州におけるバックミラー市場 (2017年)	本レポートの目的は、従来のミラーから多機能インテリジェントミラーへと移行するバックミラー市場の将来を明らかにする事です。自動車産業では、便利な技術に対する消費者の関心の高まりを受け、2016年にはレベル2の自動運転の普及率は倍増したと見られています。主要OEM各社は自動運転車の搭載機能で差別化を図ろうとしており、遅くとも2025年までに自動運転車を投入する計画です。また消費者においては自動車のブランド志向が低下し、機能やライフスタイルに合った"サービスとしての自動車"へ移行しています。こうした変化を受け規制当局がミラーの規制変更を行った結果、車内・車外用デジタルミラーの採用が可能になりました。本レポートではこうした状況にある車内・車外用ミラー市場について、メガトレンド、主要技術、主要参入企業の関心度、2025年までの電子ミラーの普及予測など、様々な視点から分析しています。本調査の基準年は2016年とし、2025年までの予測を実施しています。調査対象地域は北米および欧州です。	http://www.frost.com/k025	
2017/4/21	9832-18_44	12	BMW M Division—Dedicated Driving Dynamics	BMW M部門：専用ドライビングダイナミクス	BMWは、ドライビングダイナミクスにおいてクラス最高性能の高級車開発を謳っています。BMW Mモデルは、より高出力・高トルクのパートレインおよび車両全体の性能を向上させる様々な機能により更なる成長を遂げています。M部門における新規顧客獲得のための戦略は以下の3つです。1. 最高レベル性能に設計されたMモデル車両の販売。2. 他のBMW車向けにMパフォーマンスパーツを提供し、Mモデルの機能および性能の体験機会を創出。3. 外装のアップグレードによりMパフォーマンス車独自の外観を提供。また、Mシリーズはおよびパフォーマンスブランドで電気自動車技術の採用が見込まれており、将来的な代替燃料技術においても優位に立っています。	http://www.frost.com/q297542792	
2017/4/17	MBDD-18	48	Global Mobility Market—Strategic Profiles of Key Participants, 2016	グローバルモビリティ市場：主要参入企業プロフィール (2016年)	シェアリングサービスは世界的なメガトレンドであり、自動車産業においても個人消費から協同消費へ移行するなど複数の産業を破壊・変革させています。人口密度、都市化、汚染、洗濯、そしてコネクテッド・ライフスタイルの増加に伴い、業界内では輸送効率の向上に寄与する新たな製品やサービスが出現しています。世界では自動車所有型のビジネスモデルから、所有を前提としない自動車利用型のビジネスモデルへと移行しています。本レポートでは、カーシェアリング、eベリング (オンラインタクシー配車サービス)、ライドシェアリングを対象に、参入企業、保有車両台数、売上といった点に加え環境への影響も調査し、また主要参入企業のプロフィールと、各分野に影響を与える主要動向についてもまとめています。調査基準年は2016年、対象期間は2016年~2025年です。ライドシェアリングは北米及び欧州市場を対象とし、カーシェアリングおよびオンラインタクシー配車サービスはグローバルの全市場を対象としています。	https://www.frost.com/mbdd	
2017/4/11	NFB6-18	59	Analysis of Top 30 Features of Mass Market and Luxury OEMs in North America, 2016–2025	北米における自動車の上位30機能に関する分析 (2016~2025年)	本調査の目的は、北米における自動車 (高級車および大衆車含む) の上位30機能を特定し、2025年時点での普及率を予測することにあります。政府による安全対策義務化や排ガス規制により、OEMは先進技術機能を自動車に搭載しつつあります。人工知能 (AI)、コネクテッド、電気自動車技術の進歩を活用する事で、OEMおよびサプライヤーは常に新機能を提供してきました。また、自律走行車の開発ではOEM、サプライヤー、テック企業間の提携の増加が予想されます。これらの提携では、データベースサービスの提供という新たなビジネスモデルの概念が生み出される見通しです。本調査における上位30機能のほとんどは、高い技術コストのために現時点では多くのモデルで採用されていますが、今後複数モデルに普及する高い可能性を秘めており投資価値があると見られます。したがって、OEMおよびサプライヤーは競争優位性を獲得するために、上位技術への潜在的投資機会に対する注目が必要です。	https://www.frost.com/nfb6	
2017/4/6	K06C-18	101	Mobile Apps in the North American Trucking Industry, 2016–2017	北米トラック業界におけるモバイルアプリ (2016年~2017年)	本調査では、北米トラック業界におけるモバイルアプリビジネスの可能性についてまとめています。スマートフォンが効率化を推進しトラック業界における新たな機会を生み出しながら専用モバイルアプリの成長に拍車をかけています。テレマティクスサービスを利用できない小規模な企業でも、スマートフォンを用いる事でモバイルベースのサービスの恩恵を受けることが出来るでしょう。オンデマンド貨物仲介プラットフォームが陸上輸送産業を破壊する恐れがありますが、日々市場に投入される専用アプリは最終顧客を含むサプライチェーンにいる全の関係者に大きな利益をもたらす。北米のトラックアプリ市場は、2025年までに354億米ドルの市場になる可能性を秘めています。本調査の基準年は2016年とし対象アプリについての評価対象期間は2017年~2020年です。	https://www.frost.com/k06c	
2017/4/6	K128-18	158	Start-ups Disrupting the Global Automotive and Mobility Industry, 2016–2017	自動車産業とモビリティ産業を変革させるスタートアップ企業 (2016~2017年)	本調査は、自動車産業においてコネクテッドカーからアフターマーケット技術プロバイダーまで多岐にわたるスタートアップ企業の分析を行っています。調査対象として抽出したスタートアップ企業に対して、会社やサービスの成長について評価しています。また、市場を変革させる可能性のあるスタートアップ企業に対しては詳細なプロフィールも加えています。北米に拠点を置く大半のスタートアップ企業はシリコンバレーで誕生した後、伝統的な自動車メーカーなどから優秀なエンジニアの獲得やOEMの施設内での直接提携をすべくドイトロで存在感を高め続けています。	https://www.frost.com/k128	
2017/4/5	K11E-18	275	Intelligent Mobility Future Business Models in Connected and Autonomous Mobility	インテリジェントモビリティ3.0：コネクテッドモビリティと自律走行モビリティの将来ビジネスモデル	本レポートは、2016年7月にロンドンにて開催されたフロスト&サリバンの2日間にわたるワークショップイベントである「インテリジェントモビリティ3.0」にて発表された全てのプレゼンテーション資料をまとめたものです。資料には、イベントのホストであるフロスト&サリバン欧州チームのプレゼンテーションをはじめ、ダイムラー、GM、TomTom、Arriva Miraなど多くの企業からのプレゼンテーションが含まれています。なお、このワークショップの目的は、自動車および輸送業界におけるコネクテッドとモビリティが与える影響を分析し、広域化するモビリティソリューションを提供する新興のビジネスモデルを特定し議論することにあります。	https://www.frost.com/k11e	
2017/4/5	K175-18	85	UK Automotive Aftermarket, Forecast to 2023	英国における自動車向けアフターマーケットの見直し (~2023年)	英国は自動車アフターマーケットにおいてフランスを抜いて欧州第3の市場となり、アフターマーケットの成長とオンライン販売の拡大が期待されています。この調査レポートでは、過去2年間に発行された様々な調査レポートの結果を集約し、2017年から2023年の英国の自動車アフターマーケット業界の成長見直しについてまとめています。具体的な内容として、車両運用台数、車両保有パターン、自動車アフターマーケット業界におけるオンライン販売、サービス業に関し情報をまとめています。また、アフターマーケット業界全体の収益構造における新たなビジネスモデルとオンライン販売の分析に加え、Euro Car Parts, Parts Alliance等の主要アフターマーケット参入企業プロフィールも行っています。	https://www.frost.com/k175	

FROST & SULLIVAN		フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)				
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL
2017/4/4	9AB2-18_62	64	Engine Oil Aftermarket, Malaysia, Forecast to 2021	マレーシアにおけるエンジンオイルアフターマーケットの見通し (~2021年)	本調査では、マレーシアのエンジンオイルアフターマーケットに関する概要および主要な成長促進要因を明らかにする事を目的として、乗用車および小型商用車に関するマレーシアのエンジンオイルアフターマーケットにおける動向を分析しています。新車販売の急速な成長と車両総保有台数の増加の影響を受けて、マレーシアのエンジンオイルアフターマーケットは2015年の5,090万リットルから2021年には8,940万リットルに拡大し、乗用車および小型商用トラック部門の両部門での年平均成長率は9.8%を記録する見込みです。合成油(完全合成、部分合成)は、2015年にはマレーシア市場で89.1%のシェアを占めていますが、2021年には90.9%に増加すると見込まれています。合成油は、コスト効率が低いことからプラス成長が見込まれており、その傾向は2021年まで続く見込みです。	https://www.frost.com/q297494770
2017/3/31	K13A-18	57	Blockchain Technology Revolutionizing Automotive Industry	自動車産業を変革するブロックチェーン技術	本調査では、グローバルにおける自動車産業を改革するブロックチェーン技術について分析しています。本調査の目的は、さまざまな業種のブロックチェーン技術の概要についてまとめ、ブロックチェーン技術が活用可能な自動車の主要機能領域およびブロックチェーン普及率の分析を行い、自動車業界におけるブロックチェーンの成長機会や関連企業を特定することです。調査対象となる自動車の主要機能領域は、スマート製造、サプライチェーンロジクス、小売およびリース、モビリティ、コネクテッドピシグ、モノのインターネット (IoT) です。調査基準年は2015年とし、2015年~2025年までの予測を実施しています。	https://www.frost.com/k13a
2017/3/31	MCD9-18	37	Game-changing Automotive Policy Developments in Africa, 2016	アフリカにおける自動車政策の発展 (2016年)	アフリカ各国政府は工業化への取り組みを加速させながら、自動車産業に注目しつつあります。また10億人を超える人口と消費者層の増加により、自動車メーカーの成長可能性も拡大しています。アフリカ大陸における新車販売台数が1,000人当たり7台に成長すると年間販売台数合計は約770万台に到達し、地域市場別で中国、米国、欧州に次ぐ世界第4位となります。本調査では、アフリカにおける自動車政策の発展について分析しています。具体的な内容としては、南アフリカ、ケニア、モロコ、ナイジェリア政府による税制優遇措置、輸出入信用および自動車産業へのインセンティブに関する詳細をまとめています。	https://www.frost.com/mcd9
2017/3/31	K0D2-18	84	North American Class 1-8 Starters and Alternators Aftermarket, Forecast to 2023	北米におけるクラス1~8向けスターターおよびオルタネータのアフターマーケット分析と見通し (~2023年)	このレポートは、北米におけるクラス1~8向けスターターおよびオルタネータのアフターマーケットの分析と見通しについてまとめます。具体的な内容としては出荷台数、売上高、平均価格、流通チャネル別シェア、市場シェアについて分析しています。また、本調査では新品、再生部品、車両クラスごとのスターターとオルタネータの販売状況を分析しています。全体市場は成熟期であり販売台数はわずかに減少しているものの、単位当たりの平均価格の上昇により売上はわずかに増加する見込みです。主な参入企業は、Remy International, BBB Industries, Motorcar Parts of America, テンソー、ボッシュ、Prestolite Electricであり、今後市場シェアが変動することが予想されます。製品欠品率や適合率などの改善および重要顧客への販売により、主要な収益源であるプライベートブランドの売上を伸ばすと期待されています。本調査の調査基準年は2016年とし、2016年~2023年までの予測を実施しています。	https://www.frost.com/k0d2
2017/3/30	9AB2-18_61	51	Engine Oil Aftermarket Size in Vietnam, 2015~2021	ベトナムにおけるエンジンオイルアフターマーケット (2015~2021年)	このレポートは、ベトナムにおける二輪車および四輪車向けエンジンオイルのアフターマーケットの概要について、主要なエンジンオイル3種(完全合成、部分合成および鉱物油)を対象にまとめています。本調査では、ベトナムの車両販売台数と市場構造についてまとめ、新車販売と車両総保有台数におけるエンジンオイル消費量、およびエンジンオイルのアフターマーケットにおける主要な市場機会についてもまとめています。また、エンジンオイル製品価格、オイルブランドと車両セグメントの比較分析も提供しています。本レポートの調査基準年は2015年とし、2016年から2021年までの予測を実施しています。	https://www.frost.com/q297470640
2017/3/30	P94D-18	73	Vehicle Platforms and Fuel Strategies of Car Manufacturers in India	インドにおける自動車メーカーの車両プラットフォームおよびパワーtrain戦略	本調査では、インドにおける自動車メーカーの車両プラットフォームおよびパワーtrain戦略について分析しています。インドにある自動車メーカーは現在、コストの最小化、顧客価値の向上および排出量遵守によるコスト高の影響を相殺するために、モジュール化プラットフォーム開発に投資しています。新車プラットフォームに対し約33億ドル以上の投資を行い、2023年までにプラットフォーム数は30%減少する見込みです。規模の経済による直接的な材料費のほかにもモジュール化プラットフォームは製品開発時間を短縮し、自動車メーカーのモデルチェンジサイクルや製品ライフサイクルを短縮、市場動向に直接影響を及ぼすと見られます。また従来型パワーtrainは減少しマイルドハイブリッド技術が急速に採用されますが、これは自動車メーカーにとって、低燃費に対する市場ニーズに対応しながら排ガス規制を満たすための重要な戦略となるでしょう。	https://www.frost.com/p94d
2017/3/28	K147-18	101	Competitive Profiling of Automotive eRetailers in Americas Region, 2016	北中南米における自動車アフターマーケット向けオンライン小売企業 (2016年)	本レポートは、北中南米における自動車アフターマーケットのオンライン小売企業の概要について分析しています。売上、ビジネスモデル、地理的優位性、対象製品などのさまざまな要因に基づいて、主要なオンライン小売企業をベンチマーク分析しています。具体的には、売上、事業戦略、戦略的ポジショニング、価値提案、SWOT分析、現在及び将来事業についての見通しを調査しています。アフターマーケットのオンライン小売におけるOEMおよびサプライヤー活動、地域別のグローバルリテール動向、地域別売上、オンライン小売における新興ビジネスモデルも対象としています。	https://www.frost.com/k147
2017/3/28	K174-18	127	Competitive Benchmarking of Select Startups in the Global Automotive Aftermarket, 2016	グローバルにおける自動車アフターマーケットのスタートアップに関する比較分析	グローバルにおける自動車アフターマーケットのスタートアップ企業は急速な成長を遂げ、OEMは長期的に事業に関わる新興企業を継続的にスカウト、投資、買収しています。本調査ではスタートアップ企業を、電気自動車インフラ、テレマティクス、車載技術、eプラットフォームのセグメントに分けて、主な資金調達手段、OEMによる投資・提携、製品機能、事業戦略および将来の投資先に同じ焦点を当てて分析しています。また、製品や流通経路のベンチマーク分析を実施し、地域別技術動向と今後5年間の成長可能性についてもまとめています。調査基準年は2016年とし、2016年~2023年までの予測を提供しています。	https://www.frost.com/k174
2017/3/27	MCDD-18	98	Global Powertrain Outlook, 2017	グローバルにおけるパワーtrain市場見通し (2017年)	2016年はフォルクスワーゲンのディーゼル不正問題の余波で、世界中のパワーtrain技術にとって転換点となる年でした。一部地域では電気自動車の販売が伸びに伴って、ディーゼル車販売が減少しており、OEMはメーカー平均CO2排出目標を遵守しながら性能向上のための先進技術に対する消費者需要を満たすための圧力を受けています。本調査ではパワーtrain技術に関し、2016年の市場のまとめおよび2017年以降の市場動向見通しを提供しています。主な対象市場は、欧州、北米、ブラジル、中国、インド、日本、韓国、トルコであり、エンジン小型化、直噴エンジン、ターボチャージャー、排ガス後処理システムなどの技術動向、パワーtrain別の普及率および変化についてまとめています。また、主要車種、エンジン、トランスミッションの投入計画についてもまとめています。レポートの結論として新たな試験方法、ディーゼル技術への投資、代替駆動技術および市場の注力分野に関し参入企業への提言を行っています。	https://www.frost.com/mcdd

FROST & SULLIVAN							フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)	
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL		
2017/3/22	9AB2-18_60	49	Global Strategic Market Analysis for Electrified SUVs, 2016	グローバルにおける電動SUV市場 (2017年)	本調査では、2016年のグローバルにおける電動SUV市場について分析しています。メーカー平均CO2排出目標達成のため、OEMは更に多くのPHEVとFHEVを採用しSUVセグメントの排出削減を目指しています。本調査の具体的な内容としては、排出規制、車両セグメントなどの市場動向、主要地域別動向、技術動向、2017年の注目すべきスタートアップ企業、OEM各社の戦略と成長分析・競合分析、ティア1サプライヤーと自動車メーカーが生み出す主な成長機会についてまとめています。また市場指標分析を実施し、グローバルにおけるSUV普及率についても電動・ハイブリッド技術別、地域別に前年比で示しています。対象OEMはテスラ、アウディ、吉利集団、タイムラー、フォルクスワーゲン、BYD、三菱、起亜、BMWです。調査基準年は2016年とし、2025年までの予測を提供しています。	https://www.frost.com/q297438646		
2017/3/22	P968-18	88	Outlook of Select ASEAN Automotive Markets, Forecast to 2017	アセアン自動車市場の見通し (2017年)	本調査ではアセアン自動車市場の動向を、マレーシア、インドネシア、タイの3つの主要市場に焦点を当てて詳細に分析しています。具体的な内容としては、主要市場動向を含む2017年のASEAN自動車市場の見通し、マレーシア、インドネシア、タイの各市場の2016年合計販売台数、2016年と2017年のセグメント別内訳と主要OEM市場シェア、2017年の主要市場動向とまとめを含みます。調査基準年は2016年とし、2017年の予測を提供しています。	https://www.frost.com/p968		
2017/3/17	K1A3-18	58	CES 2017 Automotive and Transportation Highlights	2017年 家電見本市 (CES) における自動車・交通運輸関連まとめ	CES 2017における自動車OEM、ティア1サプライヤー、半導体およびテクノロジー企業の発表は、電動化、コネクテッドサービス、インフォテインメント/HMI、自動運転の4つの柱で行われました。デジタル音声支援、ユーザーベースのカスタム化機能、データ収益化チャネル、およびエンドユーザーエクスペリエンスに関するティア1サプライヤーの取り組みが重要なコンセプトとして紹介されました。また自動運転とコネクテッドサービスはAIの重要領域としてスタートアップ企業やテクノロジー企業がAIに注力する一方、OEMとティア1サプライヤーはこれらの企業と提携して自動運転技術を開発しています。本調査では、CES 2017における自動車関連企業のこれら発表について詳細分析を提供しています。	https://www.frost.com/k1a3		
2017/3/16	K184-18	104	Latin American Passenger Vehicle Market Outlook, 2017	ラテンアメリカ乗用車市場 (2017年)	ラテンアメリカの自動車業界の経営層は、将来のコネクテッドカーによるサービスモデルやビッグデータ活用による消費者の利便性向上を現在の乗用車市場における2大テーマとしています。本調査では、2017年のラテンアメリカ乗用車市場を形成する主要な革新的動向を明らかにしています。具体的な内容としては、業界におけるデジタル変革、技術革新と規制、成長セグメント、ラテンアメリカにおけるスタートアップブーム、OEMによるモビリティビジネス参入の概要、差別化要因としての車両機能、中古車、アフターマーケットを変化させるオンライン小売についてまとめています。調査対象地域は、アルゼンチン、ブラジル、チリ、コロンビア、メキシコ、ペルーとし、2017年におけるOEM別の各市場の予測を提供しています。	https://www.frost.com/k184		
2017/3/13	MCC9-18	85	Global Electric Vehicle Market Outlook, 2017	グローバルEV市場の見通し (2017年)	この調査ではグローバル、特に欧州、北米、中国、日本、韓国といった主要市場における2016年の電気自動車 (EV) 市場の分析についてまとめ、2017年の動向を明らかにしています。地域別分析では、バッテリー電気自動車 (BEV) およびプラグインハイブリッド車 (PHEV) といったタイプ別の2016年販売実績と2017年の予測を提供しています。また、充電インフラの開発と各OEMで採用した充電規格、航続距離や機能、およびバッテリーに関する様々な技術の採用についても説明しており、2017年に地域別に市場がどのように変化するかについてもまとめています。	https://www.frost.com/mcc9		
2017/3/10	MCCA-18	82	Global Autonomous Driving Market Outlook, 2017	グローバルにおける自動運転車市場の見通し (2017年)	自動車業界内では競争が激化し加速しながら、あらゆる側面から革新と変革に向かっていきます。自動車メーカーは現状のブランド志向型から、顧客が「サービスとしての自動車」を利用する将来の機能的でライフスタイル志向型モデルへの移行の課題に直面しており、これにより自動車業界では現行事業に取って代わる新たな事業機会が生まれつつあります。便利な技術への消費者の関心が増加することで、2016年には自動車の自動運転レベル2の採用率が倍増しました。また、2017年にはOEMが人工知能 (AI) およびコグニティブ・クラウドコンピューティングソリューション分野に巨額投資を注ぎ見られており、今後5年間でレベル4~5の自動運転が実現するでしょう。本調査では、グローバルにおける自動運転市場に関する分析を提供しており、2016年の自動運転市場のまとめおよび2017年の自動運転市場の主要動向とその影響、主な自動運転技術動向についてまとめています。	https://www.frost.com/mcca		
2017/3/10	K15D-18	81	2017 Global Automotive Aftermarket Outlook	グローバル自動車用アフターマーケットの市場見通し (2017年)	グローバルにおける車両運用台数は2017~2018年も大幅に増加し、補修部品や関連サービス業者に対し新たな収益機会を生み出すと見られます。この調査レポートでは、過去2年間に発行された様々な調査レポートの結果を集約し、北米、欧州、中国、インド、ラテンアメリカなどのグローバルにおける自動車アフターマーケットの成長見通しについてまとめています。具体的な内容として、車両運用台数、車両保有/ターン、自動車アフターマーケットにおけるオンライン販売、地域別のサービス業者に関し、各地域別に情報をまとめています。また、オンライン販売などに焦点を当て、グローバルにおけるアフターマーケットに影響を与えるメガトレンドについても分析を提供しています。	https://www.frost.com/k15d		
2017/3/8	MCEF-18	77	Global Connected Car Market Outlook, 2017	グローバルにおけるコネクテッドカー市場の見通し (2017年)	本レポートではコネクテッドカーの成長機会、各地域における市場成長に影響を与える動向、バイOMETRIKS、HMI、車車間・路車間通信 (V2X)、衛星通信、仮想アシスタント、OTAアップデートなどの技術見通しについてまとめています。具体的には市場・技術・地域動向に焦点を当てており、主な動向としてデータ活用例、データ収益化、パーソナルアシスタントによるHMIとしての音声認識、カスタマイズおよび認証用バイOMETRIKS、ビジネスモデルおよび収益モデル戦略、ソフトウェア依存性の拡大についてまとめています。また、2016年~2022年までのコネクテッドカー販売台数予測およびシェア、デジタルメータクラスター、ヘッドアップディスプレイ (HUD) などのHMI技術の普及率予測も提供しています。更に、グローバルにおけるテレマティクス加入者数とGENIVI Linux、QNX、Android、Microsoftなどの自動車用オペレーティングシステムの市場シェア予測についてもあわせて予測を提供しています。	https://www.frost.com/mcef		
2017/3/3	K079-18	144	Digital Transformation of the Automotive Industry	自動車市場におけるデジタル化の波	2015年の自動車産業における主要分野への投資は約195億米ドルで、デジタル化の進展と技術進歩により2020年までに投資額は820億米ドルに拡大すると予測されます。自動車産業におけるデジタル化の将来のロードマップは、「デジタルサービスからサービスとしての車」、「サービスとしてのモビリティ」と急速に移行し、自動車は2030年までにコネクテッドエコノミーの主要な要素に変化する見込みです。本調査では、自動車産業のデジタル変革におけるOEM、ティア1サプライヤー、およびテクノロジー企業の戦略、成長・競合分析、ビジネスモデル、将来の重点分野について分析を提供しています。調査基準年は2016年とし、2017年~2022年までの予測を実施しています。	https://www.frost.com/k079		

FROST & SULLIVAN							フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)	
発行日	レポート 番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL		
2017/3/2	P8FC-13	64	Thailand Logistics Industry Executive Analysis	タイにおける物流市場	タイはこれまで堅調な経済成長を遂げてきましたが、2013年~2014年に起きた政治危機により経済が激しく打撃を受けた結果マイナス成長を迎えました。2014年には輸出が増加した一方輸入は大幅に減少し、2015年には世界的な景気回復の遅れや貿易相手国の通貨価値の下落により機械を除くほとんどの輸出品が再び減少に転じました。本調査は、タイにおける物流市場の動向と貨物取扱量、主要な貨物輸送手段、市場成長要因と促進要因について考察しています。また、AECや環太平洋パートナーシップ (TPP) が市場に及ぼす影響、および近い将来期待される新たな市場成長機会についてもまとめています。タイは、東南アジア本土と大メコン圏の中心に位置しており、インドシナの製造拠点を設立する企業にとって重要な物流拠点となる可能性を秘めています。さらにタイ政府はバーツの貨幣価値を高めながらASEAN加盟国間での競争力を維持するため、物流コストを全体的に改善することで製造コストの削減を計画しています。タイの輸送・倉庫部門は2015年末以降に物流インフラプロジェクトに対し180億米ドルを支出しており、急速な成長が見込まれます。	https://www.frost.com/p8fc		
2017/2/28	P8FD-13	48	Malaysia Logistics Industry Executive Analysis	マレーシアにおける物流市場	この調査では、2014年から2020年までのマレーシアの物流市場の見通しを提供しています。物流業界の動向を拠点、輸送・倉庫業、物流サービスの観点から分析・理解することを目的としており、コネクティビティ、キャパシティ、物流市場における効率性についても分析、議論しています。具体的な内容としては、マレーシアの物流市場動向概要、取扱貨物量および主要貨物、主な市場成長要因と課題および改善点、第11次マレーシア計画 (2016~2020年) およびASEAN経済共同体 (AEC) がマレーシア物流市場に及ぼす影響、市場における成長機会についてまとめています。	http://www.frost.com/p8fd		
2017/2/21	K155-18	96	2017 Outlook of Global MD and HD Trucks Market	グローバルにおける中・大型トラック市場 (2017年)	2017年は世界の商用車市場で他に類を見ない年となるでしょう。電動化・コネクテッドトラック技術の普及により新たな物流ビジネスが生み出され、サービスとしての製品が市場の中心となる見込みです。さらに、世界経済と地政学的安定、BRICS諸国の強大化への懸念により事業戦略再編が必要となります。他方、環境にやさしく安全なコネクテッドトラック、すなわちスマートトラックの需要が増加するでしょう。自律走行車やデジタル貨物仲介技術への関心が業界で高まり、テレマティクス技術やビジネスモデルがこれらの変化に対応すると見られます。また低価格トラック部門の世界的な普及に伴い、2017年には製品と市場の大きな転換が起こることが予想されます。	http://www.frost.com/k155		
2017/2/15	9AB2-18_59	54	2017 North American International Auto Show Highlights	北米国際オートショー2017	本レポートでは1月8日から22日にデトロイトで開催された2017年北米国際自動車ショーについてまとめています。米国内でも重要な自動車関連イベントであるショーの1つとして、多くの主要自動車メーカーは新規モデルおよび投入予定モデル、コンセプトカーを展示しており、技術進歩やスタイリングに焦点が当てられました。レポートの内容として、主要および高級自動車メーカーの注目動向、100社以上のスタートアップ企業の製品ポートフォリオを展示した初めての技術交流イベントであるAutomobil-D展覧会、イベントで登場したトップテーマおよび2018年の見通しを提供しています。	http://www.frost.com/q297308895		
2017/2/15	K01E-18	69	Global HD Defense Trucks Market Trends, Forecasted to 2025	グローバルにおける軍用大型トラック市場 (~2025年)	紛争の激化や緊張の高まり、二極化の進行により世界中で防衛予算が増加しており、内戦やテロが軍用車両の需要を牽引しています。地域によって需要は異なりますが、アフリカ、APAC、中東が成長市場として有力と見られます。メーカーとTier1サプライヤーは技術進歩に焦点を当てており、ハイブリッド・電気自動車やデータのデジタル化などの潜在的な技術分野により、防衛産業は商用車を活用して軍用トラックの機能を近代化・強化していると見られます。自律走行トラック、コネクティビティ、車両性能向上技術、全体コスト削減のためのデータ活用が今後10年間で軍用トラック市場の中心となるでしょう。燃料コスト上昇による戦場で運用コストの上昇で車は長期的にハイブリッドや電動トラックに注目するようになる一方、短期的には既存の燃費関連技術の向上や自律走行車への移行により自動変速機 (AT) の普及が促進される見込みです。また、メンテナンスなどの車両の総保有コストを削減するためにコンポーネントの共通化が増加し、2025年以降はシャーシやボディなどの領域を超えて、テレマティクスサービスにまでモジュール化が拡大すると見られています。	http://www.frost.com/k01e		
2017/2/10	MC5A-18	210	Competitive Benchmarking of OEM Mobility Strategies	OEMのモビリティ戦略に関する比較分析	本レポートではOEMのモビリティ戦略に関する比較分析を提供しています。デジタル変革の動きは自動車業界でも革命を起こすと見られます。自動車の価値は個人消費から協調消費へと変化しており、OEMもこの動きに合わせ新たな収益源を探しつつあります。短・中期的には、OEM各社はこのようなサービスを提供するスタートアップ企業と提携し独自のモビリティサービスを開始する見込みです。次の大きな動きとしてはモビリティ関連の全事業を統合した、独自のモビリティブランドの立ち上げがあります。また中・長期的には、自律走行車やコネクテッドリフレクティブサービスを更に牽引すると見られます。	http://www.frost.com/mc5a		
2017/2/7	MC57-18	63	Global Automotive Vehicle-to-Everything (V2X) Communication Market	グローバルにおける車車間/路車間 (V2X) 通信市場	このレポートでは802.11pと携帯通信のいずれの技術もV2X (車車間/路車間) 通信に最も適しているかについて各技術やサプライヤーの詳細な分析を行い、主要OEMの評価についてまとめています。また、V2X技術が導入されている主要地域で実施された様々な実証実験の概要と地域別の結論、OEMの提供機能、サプライヤー能力、および各社の製品ポートフォリオの評価も提供しています。	http://www.frost.com/mc57		
2017/2/7	K14E-18	74	Mexican Diesel Engine Filters Aftermarket, Forecast to 2020	メキシコにおけるディーゼルエンジン用フィルタ製品アフターマーケット (~2020年)	本調査ではメキシコのディーゼルエンジンフィルターのアフターマーケットについて、セグメンテーション、市場台数・売上予測、チャネル分析、企業プロファイル、市場シェア、市場成長要因と阻害要因、および主要動向についてまとめています。同市場は米国や国内の経済改革によるGDP、鉱業、建設業、輸送業の増加に支えられ成長を遂げています。一方、国内企業とアジア製の廉価な輸入品との競争激化により、Tier1サプライヤーは市場シェア維持のための新たな戦略を再構築しており、メキシコフィルタ製造業者協会 (AMFFI) は関連会社とともに廉価廉価品の使用の危険性について消費者に警告するためのメディア・マーケティングキャンペーンを展開しています。フィルタ市場は成熟期にあるものの、主要市場参入企業は現在、最先端技術の開発やTier2およびTier3企業との差別化、ディーゼルエンジンの新技術開発に適應するために研究開発投資を行っています。	http://www.frost.com/k14e		
2017/1/26	NEE6-MT	202	The Future of the United States	米国の将来	本レポートではアメリカ国民やビジネスに影響を与えるメガトレンドについて2025年までの包括的な分析を実施しています。具体的な内容としては、社会、教育、政治、産業、健康、ウエルネス・ウェルビーイング、都市化、インフラ、モビリティ、エネルギー、安全保障・防衛、経済、コネクティビティ、新たな環境保全技術としてのスマート化といった分野のトレンドによりもたらされる成長機会と課題について、弊社分析をまとめています。今後10年間で社会的、技術的、政治・経済的要因により米国におけるビジネスや人々の生活パターンが変化すると見られており、ミレニアル世代が企業における管理業務や政府の役職に就くにつれて、アメリカ社会に重大な影響を及ぼすでしょう。結果として、組織は変化を顧客特性に対応するべく優先する競争範囲を検討し直すことになる見込みです。また、コネクティビティはモノのインターネット (IoT) を通じて産業や生活に浸透するでしょう。学生ローンの負担増加やインフラの老朽化といった課題はあるものの、スマートシティやセキユリティ技術の進化、自動化による新たな仕事の創出がアメリカンドリームを復活させると見られています。	http://www.frost.com/nee6		

FROST & SULLIVAN							フロスト&サリバン ジャパン株式会社 モビリティ関連発行レポート (2017年1月~2018年12月発行分)						
発行日	レポート番号	ページ数	タイトル (英語)	タイトル (日本語)	レポート概要 (日本語)	URL							
2017/1/24	K15B-CR	46	CEOs' Perspectives on Growth, Innovation, and Leadership in Asia, 2016	アジアにおける成長、革新、リーダーシップに関するCEOの展望 (2016年)	アジア経済は劇的な変化の真っ只中であり、デジタル変革や複雑性、変化する消費者の需要により新たなビジネスモデルや戦略的な対応が求められています。本レポートではCEOの方々へ今後の事業再構成についての見通しや独自の成長・革新機会を提供しています。フロスト&サリバンが毎年発行する「アジアにおける成長、革新、リーダーシップに関するCEOの展望」は、成長、革新、リーダーシップといったテーマに関し、多岐にわたる業界ビジネスリーダーに対し実施した詳細な調査をまとめたものです。本調査はアジアのビジネスリーダーがどのように変化に立ち向かい将来的な成長を遂げていくのかについての洞察を提供しており、持続可能な成長や破壊的革新、先見的リーダーシップの機会を生み出す新興技術、メガトレンド、ビジネスモデルに焦点を当てて分析しています。	http://www.frost.com/k15b							
2017/1/23	K189-18	73	Global Connected Truck Telematics Outlook, 2017	世界のコネクテッドトラックのテレマティクス市場見通し (2017年)	本レポートは2017年のグローバルにおけるコネクテッドトラック市場の見通しを分析しています。具体的な内容として、トラックのデジタル化、ティア1の製品からサービスへの移行などの市場動向や変化、地域別 (欧州、北米、南米、中国、南アフリカ、インド、ロシア、トルコ、豪州、日本) サービスソリューション動向、セグメント別の技術を中心とまとめています。また、本調査ではフルタイムマネジメントシステム(FMS)やデジタル貨物業者、自律走行トラック、ビッグデータおよびビデオ安全システムなどの収益機会にも着目し、2017年のベンチャー・地域別の成長性・収益性分析も行っています。グローバルにおけるテレマティクス導入台数、セグメント別のテレマティクス普及率および地域別の前年比成長率、新興企業のリストや潜在市場についてもまとめています。調査基準年は2016年とし、2017年~2025年までの予測を実施しています。	http://www.frost.com/k189							
2017/1/19	P941-18	130	Stringent Emission Regulations to Drive South Korean Powertrain Market, Forecast to 2025	排出規制厳格化による韓国パワートレイン市場への影響 (~2025年)	本調査では韓国におけるパワートレイン市場の概要および動向について、グリーンカー開発とそのインフラに焦点を当ててまとめています。具体的な内容として、マクロ経済指標を含む市場概況や補助金等のグリーンカー政策、EVおよび水素充電システムタイプと特徴、タイプ別充電インフラ、コスト分析についてのまとめや、セグメント別の車両・パワートレイン販売台数予測およびガソリン・ディーゼル車向け技術について予測を実施しています。また、現代・起亜、GM、ルノーサムスン、双環、BMW、テスラといった主要メーカーの技術ロードマップやCO2削減率の見通しについてもまとめています。調査基準年は2015年とし、2016年~2025年までの予測を実施しています。	http://www.frost.com/p941							
2017/1/10	9AB2-18_58	51	Automotive and Motorcycle Manufacturing Capabilities in Vietnam, 2015-2022	ベトナムの自動車および二輪車生産能力 (2015~2022年)	ベトナムにおける2015年の二輪車および四輪車の年間生産台数は前年比6.4%増加し、2015年~2022年の間に年平均成長率6.7%の安定した成長が見込まれています。ベトナムにおける二輪車製造業は、主に利用率の高さや市民の主要交通手段としての役割の点から成熟段階に達している一方、四輪車製造業はベトナムで現在急速に成長する新興産業です。このレポートは、ベトナムにおける二輪車および四輪車メーカーの製造能力について分析しています。調査基準年は2015年とし、完成車の組み立てや自動車部品・コンポーネントの製造といったベトナムにおける自動車製造業の発展に関する政府の方針についてもまとめています。また、二輪車・四輪車製造業の主な課題、主要工業団地および自動車メーカー部品サプライヤーの工場所在地、製造能力、地域別・メーカー別生産台数、SWOT分析、および2022年までの生産台数予測も提供しています。	http://www.frost.com/q297228169							
2017/1/5	MCA7-18	91	Competitive Profiling of Automotive Aftermarket eRetailers in Europe	欧州における自動車アフターマーケット向けオンライン販売企業	本レポートは、欧州における自動車アフターマーケットのオンライン小売企業の概要について分析しています。収益、ビジネスモデル、地理的優位性、対象製品などのさまざまな要因に基づいて、主要なオンライン小売企業をベンチマーク分析しています。具体的には、売上、事業戦略、戦略的ポジショニング、価値提案、SWOT分析、現在及び将来事業についての見通しを調査しています。アフターマーケットeリテールのOEMおよびサプライヤー活動、地域別のグローバルeリテール動向、地域別収益、自動車アフターマーケットeリテールの新興ビジネスモデルも対象としています。	http://www.frost.com/mca7							
2017/1/3	9AB2-18_57	38	RDE and WLTP Testing Requirements in Europe and Technology Roadmap for Compliance	欧州におけるRDEおよびWLTP試験準拠に向けた技術ロードマップ	ほぼすべての欧州連合 (EU) 市民が、世界保健機関 (WHO) がと考える健康に有害な水準の大気汚染にさらされ、早期死亡者数は41万人、欧州連合 (EU) への年間損失額は1兆ユーロになる見込みです。自動車の排出ガス規制 (ユーロ基準) はますます厳しくなっていますが、自動車メーカーが採用した時代遅れのテストや最適化、迂回戦略では、現実的な改善は実現していません。この状況を直すため欧州委員会は、新欧州ドライビングサイクル (NEDC) のダイナモメーター試験を補完するための新実走行条件下排出ガス (RDE) 試験を義務化しています。さらにEUはNEDC試験を、新たに導入された国際調和排出ガス・燃費試験方法 (WLTP) に置き換える予定です。このレポートは、技術ロードマップと採用してさまざまなパワートレインシステムや技術の普及見通しを提供しています。ガソリン、ディーゼル、ハイブリッド・プラグインハイブリッド、および燃料電池電気エンジンについてまとめており、MT、AT、CVT、DCTなど、さまざまなタイプのトランスミッションについても分析しています。	http://www.frost.com/q297198432							